

実施

施行条件明示書

工事名 令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事
工事場所 白石市大平中目字南田 地内

白石市

— 特記仕様書 —

施工条件明示書

工事番号		工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事		事務所名	宮城県白石市	
	項目	条件	内容		施工方法	備考	
1 共通仕様書の適用		本工事は、宮城県土木部制定「共通仕様書」を適用するほか、本特記仕様書により施工するものとする。仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。					
2 主任技術者及び監理技術者(以下、配置技術者という。)の配置							
(1) 現場施工に着手する日の指定 (配置技術者の配置要件の特例) ※平成25年4月1日以降適用「現場施工の着手日を指定した工事における配置技術者の配置要件の特例について」		<input type="radio"/>	契約工期初日以降、90日以内に着手 (手持ち工事が完了した場合や、制約条件がない場合等は、期日以前の着手も可能)				
(2) 請負者が着手日を選択出来る工事(フレックス工事)		<input type="radio"/>	契約工期初日以降、〇〇日以内に着手 土木工事共通特記仕様書第1編1-1-4によること。				
(3) 上記以外		<input checked="" type="radio"/>	請負者は、現場施工に着手する日の指定がない限り、原則として、契約工期初日以降、30日以内に現場施工に着手				
上記現場施工に着手する日の前日までの期間において、工事準備等を含め工事現場が不稼働であることが明確な場合は、配置技術者の工事現場への専任は要しない。 出納局契約課ホームページ参照のこと。http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/kk50.html							
3 専任特例の適用を受ける技術者の配置							
建設業法第26条第3項ただし書の規程(以下「専任特例」という。)の適用を受ける主任技術者又は監理技術者を配置する場合は、下記によるものとする。 1 専任特例の適用を受ける主任技術者又は監理技術者を配置する場合、適用要件について以下の出納局契約課ホームページを参照すること。 https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/kk50.html 2 本工事の主任技術者又は監理技術者が専任特例の適用を受ける場合、落札候補者となった際に確認事項兼誓約書を提出すること。 3 本工事において、専任特例の適用を受ける主任技術者又は監理技術者の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は適切にコリンズ(CORIINS)への登録を行うこと。							
4 積算基準及び設計単価の適用期日							
(1) 積算基準及び設計単価の適用について		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	積算基準及び設計単価は公告月と同月の基準及び単価としている。			
(2) 工事請負契約締結後における設計単価の変更		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	本工事は、当初工事請負契約締結後において、契約日を基準日として設計単価の設計変更を行うこととする。なお、設計変更の対象は、資材単価・労務単価及び機械単価等の全ての設計単価とする。ただし、災害に伴う応急仮工事など緊急を要す工事において、積算月と契約月が同月となる場合など、工事請負契約締結後における設計単価の変更が必要ないと判断される場合においては、適用「なし」を選択することも可能とし、その場合は下欄にその理由を記載する。			
		適用「なし」の理由		積算月と契約月が同月となるため			
5 工程関係							
(1) 関連工事による施工時期の調整		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	防災公園しろいし施設工事			
(2) 施工時期による制限		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				
(3) 関係機関等との協議の未成立		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				
(4) 関係機関等との協議結果、特定条件の付加		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				
6 公害対策関係							
(1) 施工方法、機械施設、作業時間等の制限		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	各関係法令、条例による			
7 安全対策関係							
(1) 交通安全施設等の指定		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	交通誘導員の設置			
(2) 占用埋設物との近接工事による 施工方法、作業時間の制限		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	周辺住民に配慮し作業時間は午前8時30分から午後5時を基本とする			
8 排水工関係							
(1) 濁水、湧水処理のための特別な対策の必要性		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				
9 建設副産物対策関係(建設発生土)							
(1) 建設発生土の処理・処分について		本工事の残土は、下記に運搬するものとする。なお、下記により難い場合が生じたときは、監督職員の指示によるものとし、設計変更の対象とする。					
		処理・処分する場所		処理・処分方法	距離	制限時間	備考
		名称		所在地			
(2) 建設発生土	処理・処分	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	毛無山		7 km	

10 建設副産物対策関係(建設発生土以外の建設副産物)																			
(1) 建設発生土以外の建設副産物の処理・処分について			下記の処理・処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、下記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理・処分に先立ち処分場等の受入れの可否を確認すること。なお、廃棄物の処理に当たっては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守すること(環境省または廃棄物対策課のHPを参照)。																
			処理・処分する場所	処理・処分方法	距離	制限時間													
工事現場内及び工事現場間で再利用する場合は、施工管理及び契約方法等について、施工計画打合せ時に監督職員と協議すること。																			
(2) 建設発生土以外の建設副産物	処理・処分	コンクリート塊	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			km	時	分	分									
		アスファルト塊	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			km	時	分	分									
		建設発生木材	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			km	時	分	分									
		建設汚泥	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			km	時	分	分									
		その他	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			km	時	分	分									
(3) 再生材の利用			<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない	種類・数量	再生クラッシュヤラン(RC-40)													
11 現場環境改善																			
(1) 現場環境改善費(率計上)について			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	<p>本工事は、現場環境改善費(率計上)を計上している工事である。下表の内容のうち原則として、各計上費目(仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携)ごとに1内容ずつ(ただし、いずれか1費目のみ2内容)の合計5つの内容を選択し、具体的な実施内容、実施期間については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">計上費目</th> <th style="width: 80%;">実施する内容(率計上)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設備関係</td> <td>1. 用水・電力等の供給設備、 2. 緑化・花壇、 3. ライトアップ設置、 4. 見学会及び椅子の設置、 5. 昇降設備の充実、 6. 遊戯負荷の軽減</td> </tr> <tr> <td>営繕関係</td> <td>1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む)、 2. 労働者の快適化、 3. デザインボックス(交通誘導警備員待機室)、 4. 現場休憩所の快適化、 5. 排水処理設備及び衛生設備の充実等</td> </tr> <tr> <td>安全関係</td> <td>1. 工事標板・照明等安全設備のイメージアップ(蛍光式標板等)、 2. 監視防止カメラ(監視器等)</td> </tr> <tr> <td>地域連携</td> <td>1. 完成予想図、2. 工事説明図、3. 工事工程表、 4. デザインワークブック(各工事現場毎)、 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む)、 6. 見学会(クイズラリー等)の設置及び管理運営、 7. イベントボックス・二重遊脚の設置、 8. 地域連携(連携行事等の経費を含む)、 9. 社会貢献</td> </tr> </tbody> </table>					計上費目	実施する内容(率計上)	仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、 2. 緑化・花壇、 3. ライトアップ設置、 4. 見学会及び椅子の設置、 5. 昇降設備の充実、 6. 遊戯負荷の軽減	営繕関係	1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む)、 2. 労働者の快適化、 3. デザインボックス(交通誘導警備員待機室)、 4. 現場休憩所の快適化、 5. 排水処理設備及び衛生設備の充実等	安全関係	1. 工事標板・照明等安全設備のイメージアップ(蛍光式標板等)、 2. 監視防止カメラ(監視器等)	地域連携	1. 完成予想図、2. 工事説明図、3. 工事工程表、 4. デザインワークブック(各工事現場毎)、 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む)、 6. 見学会(クイズラリー等)の設置及び管理運営、 7. イベントボックス・二重遊脚の設置、 8. 地域連携(連携行事等の経費を含む)、 9. 社会貢献
計上費目	実施する内容(率計上)																		
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、 2. 緑化・花壇、 3. ライトアップ設置、 4. 見学会及び椅子の設置、 5. 昇降設備の充実、 6. 遊戯負荷の軽減																		
営繕関係	1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む)、 2. 労働者の快適化、 3. デザインボックス(交通誘導警備員待機室)、 4. 現場休憩所の快適化、 5. 排水処理設備及び衛生設備の充実等																		
安全関係	1. 工事標板・照明等安全設備のイメージアップ(蛍光式標板等)、 2. 監視防止カメラ(監視器等)																		
地域連携	1. 完成予想図、2. 工事説明図、3. 工事工程表、 4. デザインワークブック(各工事現場毎)、 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む)、 6. 見学会(クイズラリー等)の設置及び管理運営、 7. イベントボックス・二重遊脚の設置、 8. 地域連携(連携行事等の経費を含む)、 9. 社会貢献																		
(2) 避暑(熱中症対策)・避寒対策費について			避暑(熱中症対策)・避寒対策を実施した場合、その費用を設計変更の対象とする。(共通仮設備の現場環境改善費(積み上げ分)として計上)実施に当たっては、対策内容がわかる資料により発注者と協議すること。費用については、注文書及び請求書、またはそれに代わる書類により協議すること。ただし、設計変更の上限額は、土木部標準積算基準書により算出した現場環境改善費(率計上)の50%とする。なお、設計変更の対象となる内容は、遮光設備や大型扇風機、製氷機の設置費用など現場の施設や設備に対する対策であり、空調服や経口保水液の購入費用など作業員個人に対する対策は対象外となる。																
(3) 快適トイレの設置費について			受注者が快適トイレを設置する場合、その費用を設計変更の対象とします。(共通仮設備(営繕費)の積み上げ分として計上)実施に当たっては、「快適トイレの設置費用に係る積算基準」(事業管理課HP-各種基準)を参照すること。																
12 品質証明																			
(1) 品質証明書および施工プロセス品質確認チェックリストの対象			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	請負工事費が、1億5千万円以上の工事および発注者が必要と認める工事、土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。														
(2) 施工プロセス品質確認チェックリストの対象			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	上記に該当せず、請負工事費が1億円以上の工事、土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。														
13 標準的な設計図書による発注方式																			
			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	土木工事共通特記仕様書第3編1-1-14によること。														
14 資材関係																			
(1) 生コンクリート			生コンクリートの使用に当たっては、「宮城県生コンクリート品質管理監査会議」が交付する「品質管理監査合格証」を有する工場の製品、又は同等以上の品質管理を行っていることが認められる工場の製品を使用すること。																
(2) 購入土			購入土を使用する場合は、材料承諾時に「採石法第33条による採取計画認可書の写し」、又は「砂利採取法第16条の採取計画認可書の写し」を提出すること。																
(3) 宮城県グリーン製品の利用			必須	1. 植生基盤材等、視線誘導標、型枠用合板は、原則として宮城県グリーン製品を用いること。															
「宮城県グリーン製品」利用推進指針によること。「宮城県グリーン製品」を使用した場合は、請負者は循環型社会推進課HPより「チェックリスト」をダウンロードし、使用材料や数量等を入力後、工事完了後に監督職員に提出(電子メール)すること。			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	2. 盛土材、埋め戻し材														
			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	3. その他()														
(4) 県内産製品の利用			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	本工事は、「県土木部発注工事における県内産製品優先使用の試行要領」の対象工事である。工事の施工にあたっては、試行要領に基づき適切に実施すること。事業管理課ホームページ参照 http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/kensanzai.html														
(5) 現場吹付法砕工			吹付モルタルにおける圧縮強度の規格値は、18N/mm2以上とする。																
15 設計変更の手続き																			
(1) 設計変更の手続きについて			<p>設計変更については、工事請負契約書第19条～第26条及び共通仕様書第1編1-1-1-14～1-1-1-16に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「工事請負契約における設計変更ガイドライン」(宮城県土木部)によることとする。</p> <p>詳細については、以下のホームページ「設計変更ガイドライン【土木工事,建設関連業務】」を参考とすること。 https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/henkou-guideline.html トップページ > しごと・産業 > 土木・建築・不動産業 > 建設業 > 設計変更ガイドライン【土木工事,建設関連業務】</p>																

16 その他		
(1) 舗装の下請制限について	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない 土木工事共通特記仕様書第1編1-1-3によること。
(2) 「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象の有無	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない 本工事は「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象工事であり、請負者は、調査票等に必要事項を正確に記入し発注者に提出する他、ダンプ土砂運搬等下請負契約に関する関係書類を提出すること。 請負者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負者は、当該工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む)も同様の義務を負う旨を周知すること。
(3) 三者会議の対象の有無	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない 本工事は、工事着手前等に当該工事の発注者、施工者、詳細設計等を担当した設計者が参加して、設計図書と現場の整合性の確認及び設計意図の伝達等を行う「三者会議」を設置する対象工事である。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-5によること。
(4) 貸与資料の有無	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない 本仕様書によるものほか工事施工に関して必要な資料として工事契約後下記の資料を貸与する。 貸与資料()
(5) 発注者支援(工事監督支援業務)対象の有無	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない 工事監督支援業務の受注者が現場監督支援する場合、工事請負者に対し「工事打合せ簿」により担当技術者(所属会社等名・氏名)の通知を行うこと。
(6) 法定外の労災保険の付保について	本工事では、法定外の労災保険加入にかかる保険料を予定価格に反映しているため、本工事において受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。なお、加入後受注者は、工事請負契約書第62条に基づき、証券又はこれに代わるものを直ちに発注者に提示すること。	
(7) 熱中症対策に資する現場管理費補正の試行の有無	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない 本工事は熱中症対策に資する現場管理費率の補正の試行対象工事である。本運用による設計変更を希望する場合は、別途定める「熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領」に基づき、発注者に協議すること。
(8) 盛土規制法について	本工事において、盛土規制法の規制対象となる行為を行う場合は、事前に手続き方法等について発注者と協議すること。 詳細については、以下のホームページを参考とすること。 https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kentaku/morido.html	

働き方改革・生産性向上に関する事項

項 目	条 件	内 容
17 総合評価落札方式における「ICT施工・3次元化等の活用提案」の適用の有無		
(1) 「ICT施工・3次元化等の活用提案」の適用工事	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外	1. 下記①, ②, ③に該当する工事のうち、発注者が適用対象とした工事が対象となる。 ① 一定の箇所にICT建設機械で施工可能な土工数量1,000m ³ 以上ある工事 ② 一定の箇所にICT建設機械で施工可能な新設する路盤数量又は切削面積3,000m ² 以上ある工事 ③ ICT土工、ICT舗装以外の工種で「ICT活用工事実施要領」(国土交通省)が定められている工種を含む工事 2. 活用する技術については、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に基づき選択すること。 3. ICT施工・3次元化等の活用提案の適用の有無に係らず、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に記載の技術は、施工計画・技術提案等(いわゆる作文)の評価対象外とする。※簡易型(施工計画型)、標準型(施工計画型)、標準型(技術提案型)、高度型、技術提案チャレンジ型、簡易型(施工計画型、試行型)の場合 なお、「ICT施工・3次元化等の活用提案」の対象外工事の場合も、同様の取扱いとする。 4. 設計変更の積算手法については、総合評価落札方式の手引きのとおりとし、受発注者協議により決定した技術を設計変更の対象とする。なお、受発注者協議により、活用提案を実施しないこととなった場合、「ICT施工・3次元化等の活用提案」は履行されたものとして取り扱い、履行確認を行う。
18 BIM/CIMの活用の有無		
(1) BIM/CIM活用工事の対象	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外	1. 本工事は、BIM/CIM活用工事の対象工事である。実施にあたっては「BIM/CIM適用工事実施要領」に基づき行うこと。 2. BIM/CIM適用工事実施要領を適用する工事で、発注方法に総合評価落札方式の簡易型(施工計画型)、標準型(施工計画型)、標準型(技術提案型)、高度型、技術提案チャレンジ型、簡易型(施工計画型、試行型)を適用する工事は「施工計画等」や「技術提案等」(いわゆる作文)に関する評価項目において、BIM/CIMに関する提案を評価の対象外とする。
(2) BIM/CIM活用工事の発注型式	<input type="radio"/> 発注者指定型 <input checked="" type="radio"/> 受注者希望型	【受注者希望型】 前段階で作成した3次元モデルは以下のとおりである。(前段階で作成した3次元モデルが存在する場合に記載) 作成した3次元モデル:地形モデル、構造物モデル 3次元モデルの詳細度:200程度 3次元モデルに付した属性情報:部材名称、部材寸法 BIM/CIMの活用を希望する場合は、工事受注後、監督職員と目的、活用内容、仕様及び費用等について協議すること。 費用については、受発注者で協議し、発注者が活用効果等を確認のうえ、計上する。
19 業務効率化		
(1) 工事情報共有システムの活用	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外	本工事は、情報共有システムの活用対象工事であり、請負者は「工事着手時に別途定める「事前協議チェックシート」により、必要事項について監督職員と協議を行うこと。実施にあたっては「土木工事・業務の情報共有システム実施要領」及び「土木工事・業務の情報共有システムの活用ガイドライン」に基づき行うこと。
(2) 工事書類の簡素化の試行について	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	本工事は、工事書類の簡素化を目的とした試行対象工事である。実施にあたっては「宮城県土木部における工事書類簡素化の試行要領」に基づき行うこと。
(3) ウィークリースタンス等の推進	本工事は、受発注者協力のもと、建設業の魅力創出を図ることを目的にウィークリースタンス等の推進を図ることとし、「ウィークリースタンス等実施要領」に基づき、取組内容を受発注者間で協議及び共有し、工事を進めていくこととする。 詳細については、宮城県土木部事業管理課のホームページを参照すること。(http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/weekly.html)	
20 週休2日工事の適用の有無		
(1) 週休2日工事	<input checked="" type="radio"/> 対象 <input type="radio"/> 実施困難工事	1. 週休2日対象工事の場合は、宮城県土木部「週休2日工事」実施要領に基づき、行うこととする。 なお、週休2日工事の種別及び区分については、下記(2)、(3)のとおりとする。 2. 改正労働基準法(平成30年6月成立)による罰則付きの時間外労働規制が建設業に適用されたことを踏まえ、週休2日の確保を目指し、「週休2日工事」での発注を原則とする。ただし、応急復旧工事など緊急工事の場合は、例外的に週休2日対象工事としないことも可能とする。その場合は「実施困難工事」として、下欄にその理由を記載する。
(2) 週休2日工事の種別	<input checked="" type="radio"/> 現場閉所型 <input type="radio"/> 交替制	現場閉所型:巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて、1日を通して現場や現場事務所を閉所する。 交 替 制 :現場閉所を行うことが困難な工事について、技術者及び技能労働者が交替しながら休日確保の取組を行う。
(3) 週休2日工事の区分	当初発注においては、月単位の週休2日で積算している。	

21 女性活躍推進工事の適用の有無			
(1) 女性活躍推進工事	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	実施に当たっては、宮城県土木部「女性活躍推進工事」実施要領に基づき行うものとする。 実施要領は、宮城県ホームページ(https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/)で確認のこと。
22 下請承認事務簡素化モデル工事の適用の有無			
(1) 下請承認事務簡素化モデル工事	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	実施に当たっては、宮城県土木部「下請承認事務簡素化モデル工事」実施要領に基づき、行うこととする。

東日本大震災に伴う特例制度

項目	条件	内容	施行方法	備考
23 被災地以外からの労働者確保に要する間接費の設計変更の運用				
(1) 労働者確保に関する積算方法の試行工事	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	<p>1 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」という。)について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終積算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の工事」である。</p> <p>営繕費:労働者送迎費、宿泊費、借上費 労務管理費:募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用</p> <p>2 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(宮城県土木部においては、土木工事標準積算基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費の割合は次のとおりである。</p> <p>1) 共通仮設費(率分)に占める実績変更対象間接費(労働者送迎費、宿泊費、借上費)の割合: 9.19% 2) 現場管理費に占める実績変更対象間接費(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用)の割合: 1.24%</p> <p>3 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。</p> <p>4 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めによる増加費用については、設計変更の対象としない。</p> <p>5 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。</p> <p>6 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。</p> <p>7 受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。</p>	
(2) 労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	<p>本工事は、「労働者宿舍設置に関する試行要領」(以下試行要領)の対象工事である。 労働者宿舍の設置を希望する場合については、「試行要領」に基づき監督職員と事前に協議すること。</p>	
24 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更				
(1) 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	<p>下記の建設資材は、通常地域内から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。また、購入費及び輸送費に要した費用については、証明書類(契約書及び納品書等)を添付するものとする。なお、添付する証明書類(契約書及び納品書等)は原本を提示(写しの提出)とし、受注者名、納品者名、使用資材名、規格・形状、使用(納品)日、使用(納品)数量等が記載されている物を監督員に提出し、その費用について設計変更することとする。</p> <p>購入費の対象は、生コンクリート・アスファルト合材・石材等(山砂、碎石、捨石、被覆石等)とする。 輸送費の対象は、仮設材(鋼矢板等)とする。</p>	<p>受注者は、購入費及び輸送費を変更したい場合は、「工事打合せ簿」に次の事項を記載し発注者に提出し協議するものとする。</p> <p>1 地域内及び基地に、建設資材がないことを証明する資料(打合せメモ等) 2 遠隔地から購入及び輸送する建設資材の名称・規格及び製造・生産工場の名称(使用材料の建設資材名及び規格・形状等の証明資料「品質証明」) 3 遠隔地から建設資材を購入及び輸送する理由 4 製造・生産工場を選定した理由 5 見積り書 6 その他、必要と思われる事項</p>
25 施工箇所が点在する工事の間接費の積算				
(1) 施工箇所が点在する工事積算方法の対象工事	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	<p>本工事は、施工箇所が点在する工事であり、共通仮設費及び現場管理費について標準積算と施工実態に乖離が考えられるため、「○○地区(施工箇所○○、○○)、△△地区(施工箇所○○)、□□地区(施工箇所○○)」(以下、対象地区という)ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事積算方法」の対象工事である。</p>	<p>本工事における共通仮設費の金額は、対象地区毎に算出した共通仮設費を合計した金額とする。また、現場管理費の金額も同様に、対象地区毎に算出した現場管理費を合計した金額とする。なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正(大都市、施工地域等)については、対象地区毎に設定する。</p>
26 その他				
(1) 土砂等建設資材を供給元で引取る場合の積算の取扱	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	<p>・本工事の施工において、調達(購入)する予定の○○の設計単価は、現場持込価格(単価)としている。ただし、契約後、施工計画に基づき、○○の調達条件について異なる場合は、監督職員と協議すること。 ・資材搬入において、標準作業以外の作業(現場外の仮置き等)が生じる場合は、監督職員と協議すること。</p>	
(2) 東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行について	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	<p>間接工事費(共通仮設費及び現場管理費)について、工事量の増大による資材やダンプトラック等の不足による作業効率の低下等により現場の実支出が増大し、積算基準による積算と乖離が生じていることが確認されたため、積算基準書等により各工種区分に従って対象額ごとに求めた共通仮設費率及び現場管理費率に、それぞれ以下の補正係数を乗じている。</p> <p>補正係数 共通仮設費:1.3 現場管理費:1.1</p>	

特記事項

1 追加事項1			
(1) 追加 安全管理	現道上の作業であるため、使用材料等の落下・飛散・流出等により通行車両や歩行者、河川に影響を与えないよう対策を講じ施工すること。また、工事区域から一般道への出入りに当たっては通行車両や自転車及び歩行者に十分注意すること。		
(2) 追加 交通誘導員配置	現地の交通状況等により、交通誘導員が必要と判断される場合は、関係資料を整理し事前に監督職員と協議すること。		
(3) 追加 段階確認・立会い事項等	共通仕様書に記載のある事項のほか、完成時に不可視となるものについては、事前に監督職員と協議のうえ実施内容を決定すること。	具体的な内容と回数について、施工計画書に記載すること。	
(4) 追加 事前調査	事前測量を早め実施し、数量について監督職員と協議を行うこと。	監督員と協議	
(5) 追加 現地調査	現地調査によって工法及び施工方法の設計変更の可能性があり、協議により実施内容を決定すること。		
(6) 追加 規制区画について	規制延長が過度に大きくならないよう配慮するとともに、住民や道路利用者への安全が確保した施行体制をとるように努めること。		
(7) 追加 住民への周知	施工に着手する2週間前には住民に周知すること。		
(8) 追加 暴力団等の排除について	<p>(1) 受注者が、この契約の履行期間中に白石市入札契約暴力団等排除措置要綱(平成20年白石市告示第83号。以下「排除要綱」という。)別表1各号に該当すると認められたときは、契約を解除することがある。</p> <p>(2) 受注者は、排除要綱別表1各号に該当し、本市から入札参加除外措置を受けている者にこの契約の全部又は一部を下請負させ、若しくは受託させてはならない。また、この契約の下請負若しくは受託をさせた者が、排除要綱別表1各号に該当すると認められるときは、当該下請契約等の解除を求めることがある。</p> <p>(3) 受注者は、この契約の履行に当たり暴力団員又は暴力団関係者(以下「暴力団員等」という。)から不当要求又は妨害を受けたときは、速やかに警察への通報を行い、捜査上必要な協力を行うとともに、発注者へ報告すること。また、この契約の下請負若しくは受託をさせた者が、暴力団員等から不当要求又は妨害を受けたときは、同様の措置を行うよう指導すること。</p> <p>なお、暴力団員等から不当要求又は妨害を受け、警察への通報、捜査協力及び発注者への報告が適切に行われた場合で、これにより、履行遅滞等が発生するおそれがあると認められるときは、必要に応じて、工程の調整、工期の延長等の措置を講じる。</p>		
(9) 追加 白石市基準点管理保全要綱について	<p>(1) 基準点の破損や機能喪失の防止について 受注者は、工事施工箇所若しくはその付近に白石市基準点管理保全要綱(平成29年白石市告示第47号以下「管理保全要綱」という。)第2条各号の定める基準点(以下「基準点」という。)が設置されているか否かを確認し設置されている場合は管理保全要綱第6条第4項に定める協議の実施を速やかに要請すること。</p> <p>(2) 費用負担について 受注者は、上記の協議をしていない、または協議の回答に反して滅失、き損した基準点を復旧するための費用を負担しなければならない。</p> <p>(3) 工事施工箇所付近基準点について 基準点の構造物が、掘削底面端から45度以上の線に入る場合、その基準点は掘削工事の付近にあるものとする。</p>		
(10) 追加 工程表について	進捗状況を把握するため、週間工程表を提出すること。		
(11) 追加 工事実績情報システム(コリンズ)登録について	請負者は、工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し登録申請を行うこと。		
(12) 追加			
(13) 追加			
(14) 追加			
(15) 追加			
(16) 追加			
(17) 追加			
(18) 追加			
(19) 追加			
(20) 追加			
(21) 追加			
(22) 追加			
(23) 追加			
(24) 追加			
(25) 追加			
(26) 追加			
(27) 追加			
(28) 追加			
(29) 追加			
(30) 追加			
(31) 追加			
(32) 追加			

参 考 明 細 書

令和 8 年度

実 施 設 計 書

白石市
作成日 令和 8年 月 日

決 裁											
工 事 名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事										
工 事 場 所	白石市大平中目字南田 地内										
工 事 概 要	<p>(第1工区)</p> <p>市道(仮称)白石中央スマートインター線 A-1ランプ</p> <p>1.路体盛土工 V=3,200m³</p> <p>2.盛土補強工 A=1,370m²</p> <p>3.プレキャストカルバート工(B2000-H1600) L=28.6m</p> <p>(第2工区)</p> <p>市道(仮称)白石中央工業団地線</p> <p>1.掘削工 V=8,800m³</p> <p>2.路体盛土工 V=740m³</p> <p>3.下層路盤工 A=3,020m²</p> <p>4.大型フォーム工(B2000-H1600,B2000-H1900) L=100.6m</p>										
工 期	自 契約締結日の翌日から 至 令和 9 年 2 月 19 日										

令和8年度 市道（仮称）白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事

総 括 表

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
工事費	1	式				
本工事費	1	式				
市道（仮称）白石中央スマートインター線 A-1ランプ	1	式				
市道（仮称）白石中央工業団地線	1	式				
合計	1	式				

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
市道（仮称）白石中央スマートインター線 A-1ランプ	1	式				
道路土工	1	式			明 1 号	
地盤改良工	1	式			明 2 号	
法面工	1	式			明 3 号	
排水構造物工	1	式			明 4 号	
踏掛版工	1	式			明 5 号	
直接工事費計						
共通仮設費計	1	式				
共通仮設費(率化)	1	式				
共通仮設費率分	1	式				
純工事費	1	式				
現場管理費	1	式				

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明 細 単 価 番 号	基 準
工事原価	1	式				
一般管理費等	1	式				
工事価格	1	式				
消費税等相当額	1	式				
合計	1	式				

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明 細 単 価 番 号	基 準
市道（仮称）白石中央工業団地線	1	式				
道路土工	1	式			明 6 号	
舗装工	1	式			明 7 号	
法面工	1	式			明 8 号	
排水構造物工	1	式			明 9 号	
直接工事費計						
共通仮設費計						
共通仮設費(率化)	1	式				
共通仮設費率分	1	式				
純工事費						
現場管理費	1	式				
工事原価	1	式				

令和8年度 市道（仮称）白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事

【 第 1 号 明細書 】						
道路土工						
1 式 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
掘削工	1	式				
掘削 オープンカット 土砂 5,000m3以上10,000m3未満	40	m3			P 1 号	
路体盛土工	1	式				
路体(築堤)盛土 4.0m以上 20,000m3未満 障害無し	3,200	m3			P 2 号	
路床盛土工	1	式				
路床盛土 4.0m以上 20,000m3未満 障害無し	1,400	m3			P 3 号	
法面整形工	1	式				
法面整形 盛土部 粘質土、砂及び砂質土、粘性土	530	m2			P 4 号	
計						

令和8年度 市道（仮称）白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事

【 第 2 号 明細書 】						
地盤改良工						1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
盛土補強工	1	式				
軟弱地盤安定補強材【敷設費】	1,370	m2			施 1 号	
軟弱地盤安定補強材【材料費】	1,370	m2				
軟弱地盤安定補強材【敷設治具】	1	式				
計						

令和8年度 市道（仮称）白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事

【 第 3 号 明細書 】

法面工

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
植生工	1	式				
種子散布工 施工規模1000m2以上	530	m2			施 2 号	
計						

令和8年度 市道（仮称）白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事

【 第 4 号 明細書 】						
排水構造物工						1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
作業土工	1	式				
床掘り 土砂 標準	61	m3			P 5 号	
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	33	m3			P 6 号	
側溝工	1	式				
U型側溝据付け B300-H300 L=2000mm 1000kg/個以下	59	m			施 3 号	
U型側溝据付け B450-H450 L=2000mm 1000kg/個以下	52	m			施 4 号	
集水柵工	1	式				
現場打ち集水柵・街渠柵(本体) 人力打設 0.28m3を超え0.30m3以下	1	箇所			P 7 号	
現場打ち集水柵・街渠柵(本体) 人力打設 0.43m3を超え0.46m3以下	2	箇所			P 8 号	
蓋版据付け B500用 コンクリート鋼製 40kg/枚以下	1	枚			施 5 号	
蓋版据付け B700用 コンクリート鋼製 40kg/枚以下	2	枚			施 6 号	
縦排水工	1	式				

【 第 4 号 明細書 】

（続 き）

排水構造物工

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
U型側溝据付け B240-H240 L=2000mm 1000kg/個以下	11	m			施 7 号	
蓋版据付け 1種240 33×4.5×60	6	枚			施 8 号	
プレキャストカルバート工	1	式				
ボックスカルバート RCB-B2000-H1600（耐震型）	1	式			単 1 号	
マンホール工	1	式				
矩形マンホール No.2	1	箇所			単 2 号	
矩形マンホール No.3	1	箇所			単 3 号	
計						

【 第 5 号 明細書 】						
踏掛版工						1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
踏掛版工	1	式				
踏掛版設置 コム支承有り	108	m3			P 9 号	
鉄筋工 加工・組立 一般構造物 SD345 D29～32	7.6	t			施 9 号	
鉄筋工 加工・組立 一般構造物 SD345 D16～25	6.6	t			施 10 号	
鉄筋工 加工・組立 一般構造物 SD345 D13	1.5	t			施 11 号	
計						

令和8年度 市道（仮称）白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事

【 第 6 号 明細書 】						
道路土工						1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
掘削工	1	式				
掘削 オープンカット 土砂 5,000m3以上10,000m3未満	8,800	m3			P 1 号	
土砂等運搬 標準 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂	4,000	m3			P 10 号	
整地 残土受入れ地での処理	4,000	m3			P 11 号	
路体盛土工	1	式				
路体(築堤)盛土 4.0m以上 20,000m3未満 障害無し	420	m3			P 2 号	
路床盛土工	1	式				
路床盛土 4.0m以上 20,000m3未満 障害無し	270	m3			P 3 号	
路体外盛土工	1	式				
路体外盛土 4.0m以上	50	m3			施 12 号	
法面整形工	1	式				
法面整形 切土部 埴質土、砂及び砂質土、粘性土	510	m2			P 12 号	

令和8年度 市道（仮称）白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事

【 第 7 号 明細書 】						
舗装工						1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
舗装準備工	1	式				
不陸整正	3,200	m2			P 13 号	
アスファルト舗装工	1	式				
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚710mm 4層施工	2,100	m2			P 14 号	
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚370mm 2層施工	920	m2			P 15 号	
路側材 RC-40	87	m3			単 4 号	
計						

【 第 8 号 明細書 】						
法面工						1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
植生工	1	式				
種子散布工 施工規模1000m2以上	610	m2			施 2 号	
計						

令和8年度 市道（仮称）白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事

【 第 9 号 明細書 】						
排水構造物工						1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
作業土工	1	式				
床掘り 土砂 標準	1,020	m3			P 5 号	
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	480	m3			P 6 号	
水路工	1	式				
大型フリューム B2000-H1600	82.6	m			単 5 号	
大型フリューム B2000-H1900	18	m			単 6 号	
計						

【 第 1 号 単価表 】						
ボックスカルバート RCB-B2000-H1600（耐震型）						1 式 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
ボックスカルバート 据付 2.0m/個 1.25<B≤2.5 1.25<H≤2.5	28.6	m			P 16 号	
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	8.7	m ²			P 17 号	
コンクリート 人力打設 無筋・鉄筋構造物 18-8-40	11.6	m ³			P 18 号	
プレキャストボックスカルバート RCB-B2000-H1600-L2000	12	本				
プレキャストボックスカルバート RCB-B2000-H1600-L1915	1	本				
プレキャストボックスカルバート RCB-B2000-H1600-L1720/959	1	本				
プレキャストボックスカルバート RCB-B2000-H1600-L1588/890	1	本				
計						
単位当たり						

令和8年度 市道（仮称）白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事

【 第 2 号 単価表 】						
矩形マンホール No.2						1 箇所 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
マンホール設置	1	箇所				
鉄蓋 φ900*600 T-25 白石市型	1	枚				
頂版付直壁 H1200	1	個				
底版付管取付壁 H=1200	1	個				
足掛金具	8	個				
コンクリート基礎 18-8-40	1	m3			単 7 号	
再生クラッシャーラン RC-40	2	m3				
計						
単位当たり						

【 第 3 号 単価表 】						
矩形マンホール No.3						1 箇所 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
マンホール設置	1	箇所				
鉄蓋 φ900*600 T-25 白石市型	1	枚				
頂版付直壁 H=900	1	個				
直壁 H1500	1	個				
底版付管取付壁 H1500	1	個				
足掛金具	12	個				
コンクリート基礎 18-8-40	1	m3			単 7 号	
再生クラッシャーラン RC-40	2	m3				
計						
単位当たり						

令和8年度 市道（仮称）白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事

【 第 5 号 単価表 】						
大型フリューム B2000-H1600						82.6 m 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
U型側溝据付け L=2000mm 2000超2900kg/個以下	82.6	m			施 13 号	
大型フリューム B2000-H1600-L2000	35	本				
大型フリューム B2000-H1600-L1000	2	本				
大型フリューム B2000-H1600-L1011	1	本				
大型フリューム B2000-H1600-L1900/1211	1	本				
大型フリューム B2000-H1600-L1149/771	1	本				
大型フリューム B2000-H1600-L1344/971	2	本				
大型フリューム B2000-H1600-L1049/673	1	本				
大型フリューム B2000-H1600-L988/657	1	本				
大型フリューム B2000-H1600-L1835/1918	1	本				
大型フリューム B2000-H1600-L986	1	本				
型枠 一般型枠 均シコンクリート	8.26	m2			P 19 号	

令和8年度 市道（仮称）白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事

【 第 6 号 単価表 】						
大型フリューム B2000-H1900						10 m 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
U型側溝据付け L=2000mm 2000超2900kg/個以下	10	m			施 14 号	
大型フリューム B2000-H1900-L2000	5	本				
型枠 一般型枠 均シコンクリート	1	m2			P 19 号	
コンクリート 人力打設 無筋・鉄筋構造物 18-8-40	1	m3			P 18 号	
計						
単位当たり						

令和8年度 市道（仮称）白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事

【 第 7 号 単価表 】

コンクリート基礎 18-8-40

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
コンクリート 人力打設 無筋・鉄筋構造物 18-8-40	1	m3			P 18 号	
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	1	m2			P 17 号	
計						
単位当たり						

令和8年度 市道（仮称）白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事

【 第 1 号 施工単価表 】						
軟弱地盤安定補強材【敷設費】						
2,000 m2 当り						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役	1	人				
普通作業員	2	人				
バラピン 0.1本/m2	200	本				
接続金具 0.023個/m2	46	個				
バックホウ運転 クローラ型 山積0.8m3(平積0.6)	1	日				
ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊	0.13	日				
諸経費 白線用石灰等	1	%				
計						
単位当たり						

【 第 2 号 施工単価表 】

種子散布工 施工規模1000m2以上

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
法面工 種子散布	1	m2				
計						
単位当たり						

令和8年度 市道（仮称）白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事

【 第 3 号 施工単価表 】

U型側溝据付け B300-H300 L=2000mm 1000kg/個以下

10 m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
U型側溝 L2000 1000kg以下 昼 無	10	m				
U型側溝 US1-B300-H300-L2000	5	本				
再生クラッシャーラン RC-40	0.6	m ³				
計						
単位当たり						

【 第 4 号 施工単価表 】

U型側溝据付け B450-H450 L=2000mm 1000kg/個以下

10 m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
U型側溝 L2000 1000kg以下 昼 無	10	m				
U型側溝 US1-B450-H450	5	本				
再生クラッシャーラン RC-40	0.78	m3				
計						
単位当たり						

【 第 6 号 施工単価表 】

蓋版据付け B700用 コンクリート鋼製 40kg/枚以下

1 枚 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
蓋版コンクリート・鋼製 40kg以下 昼 無	1	枚				
蓋版 B700用 鋼製グレーチング蓋（人荷重）	1	枚				
計						
単位当たり						

令和8年度 市道（仮称）白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事

【 第 7 号 施工単価表 】

U型側溝据付け B240-H240 L=2000mm 1000kg/個以下

10 m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
U型側溝 L2000 1000kg以下 昼 無	10	m				
計						
単位当たり						

令和8年度 市道（仮称）白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事

【 第 9 号 施工単価表 】

鉄筋工 加工・組立 一般構造物 SD345 D29～32

1 t 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
鉄筋工		人				
普通作業員		人				
ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊		日				
鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D29～32	1.03	t				
諸 雑 費 (率+丸め)		%				
土木一般世話役		人				
鉄筋工		人				
普通作業員		人				
ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊		日				
諸 雑 費 (率+丸め)		%				
計						

令和8年度 市道（仮称）白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事

【 第 10 号 施工単価表 】

鉄筋工 加工・組立 一般構造物 SD345 D16～25

1 t 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
鉄筋工		人				
普通作業員		人				
ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊		日				
鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D16～25	1.03	t				
諸 雑 費 (率+丸め)		%				
土木一般世話役		人				
鉄筋工		人				
普通作業員		人				
ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊		日				
諸 雑 費 (率+丸め)		%				
計						

令和8年度 市道（仮称）白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事

【 第 11 号 施工単価表 】						
鉄筋工 加工・組立 一般構造物 SD345 D13						1 t 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
土木一般世話役		人				
鉄筋工		人				
普通作業員		人				
ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊		日				
鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13	1.03	t				
諸 雑 費 (率+丸め)		%				
土木一般世話役		人				
鉄筋工		人				
普通作業員		人				
ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊		日				
諸 雑 費 (率+丸め)		%				
計						

令和8年度 市道（仮称）白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事

【 第 12 号 施工単価表 】						
路体外盛土 4.0m以上						1 m3 当り
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
路体(築堤)盛土 4.0m以上 20,000m3未満 障害無し	1	m3			P 2 号	
計						
単位当たり						

【 第 14 号 施工単価表 】

U型側溝据付け L=2000mm 2000超2900kg/個以下

10 m 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
U型側溝 L2000 2900kg以下 昼 無	10	m				
U型側溝 各種	5	個				
再生クラッシャーラン RC-40	2.82	m ³				
計						
単位当たり						



凡例

①工事

②工事

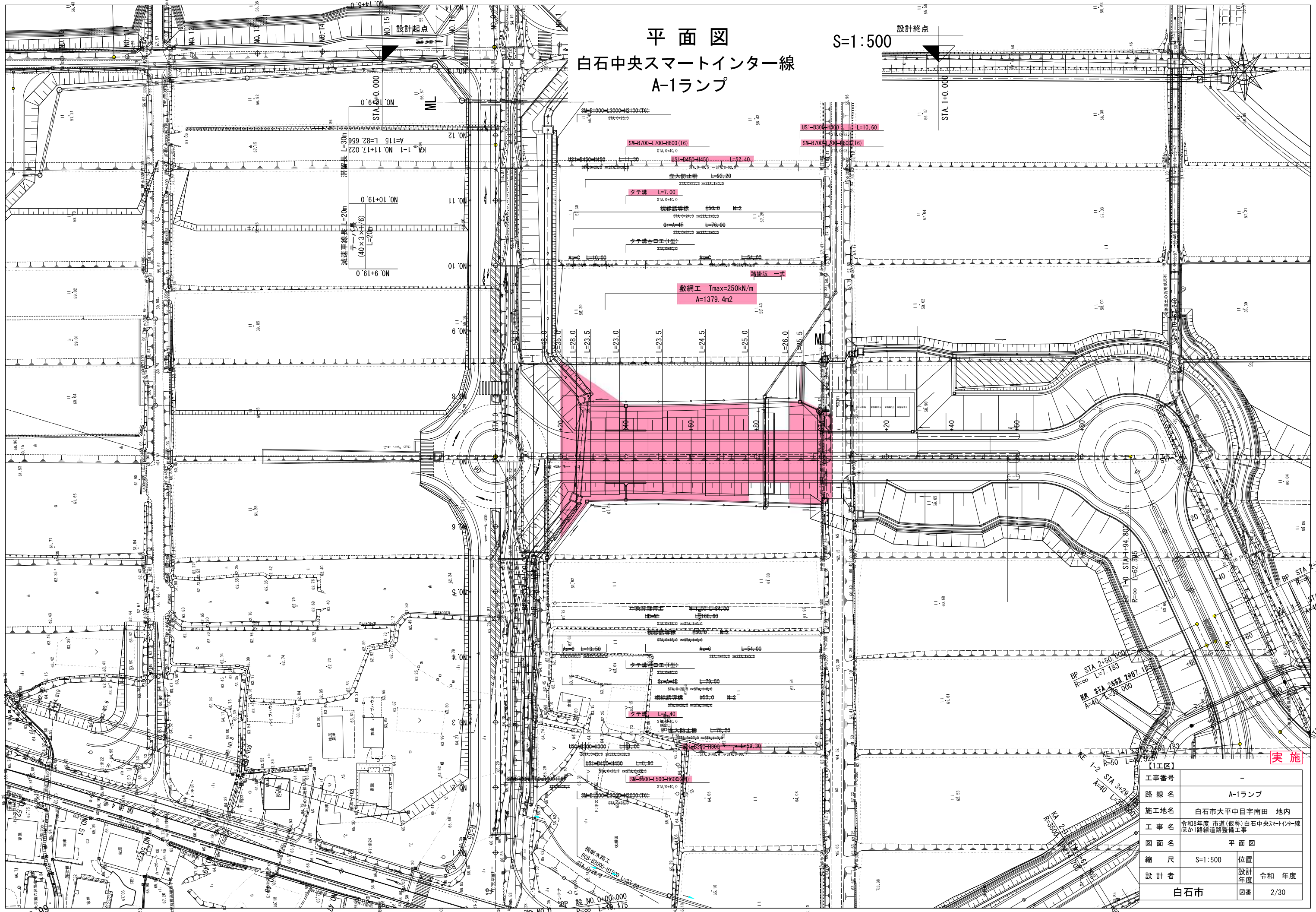
実施

工事番号	-		
路線名	-		
施工地名	白石市大平中目字南田 地内		
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線 ほか1路線道路整備工事		
図面名	位置図		
縮尺	位置		
設計者	設計 年度	令和	年度
白石市	図番	1/30	

平面図 白石中央スマートインター線 A-1ランプ

S=1:500

設計終点



【1工区】		
工事番号	-	
路線名	A-1ランプ	
施工地名	白石市大平中目字南田 地内	
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線 ほか1路線道路整備工事	
図面名	平面図	
縮尺	S=1:500	位置
設計者	白石市	設計年度
		令和 年度
		図番
		2/30

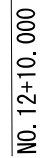
実施

平面図

市道白石中央工業団地線

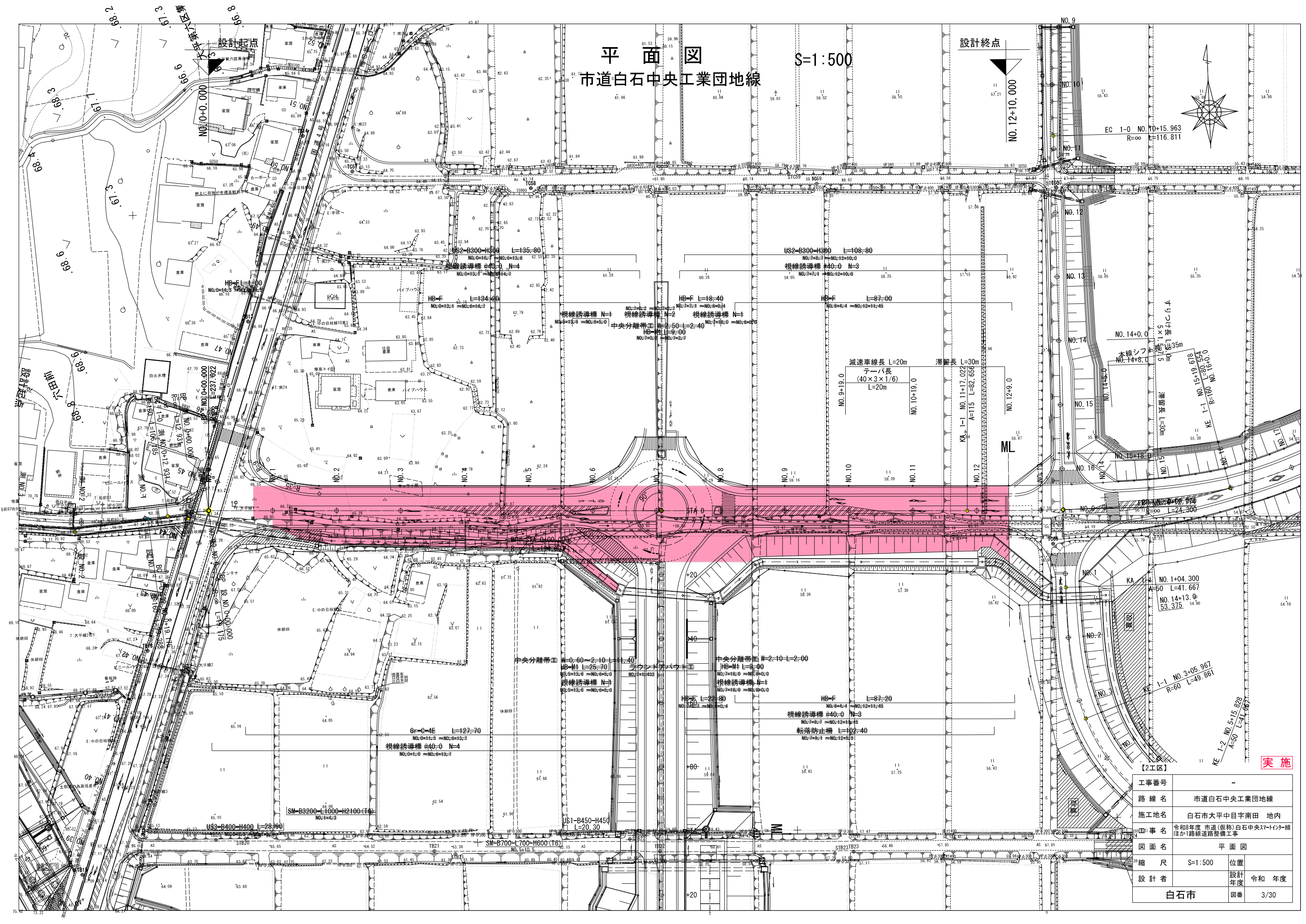
S=1:500

設計終点



NO. 12+10.000

EC 1-0 NO. 10+15.963
R=∞ L=116.811



【2工区】

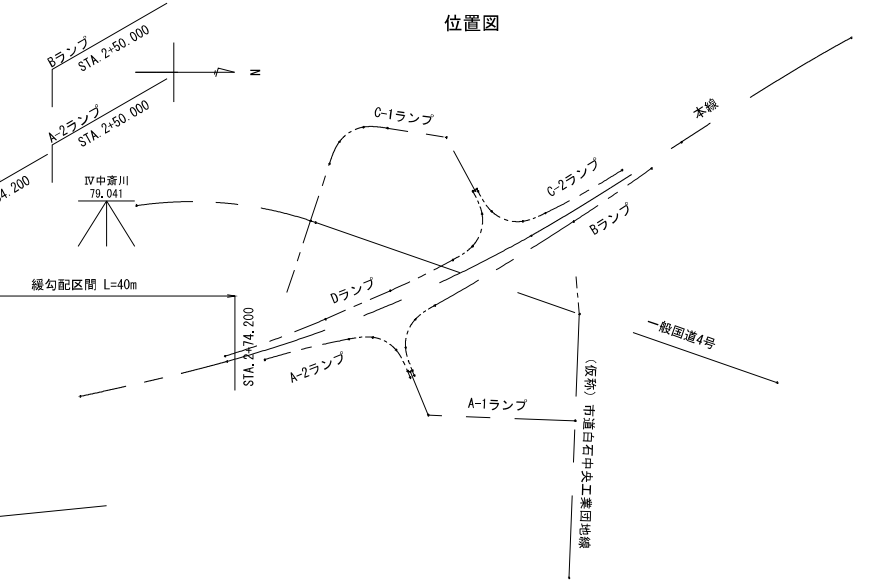
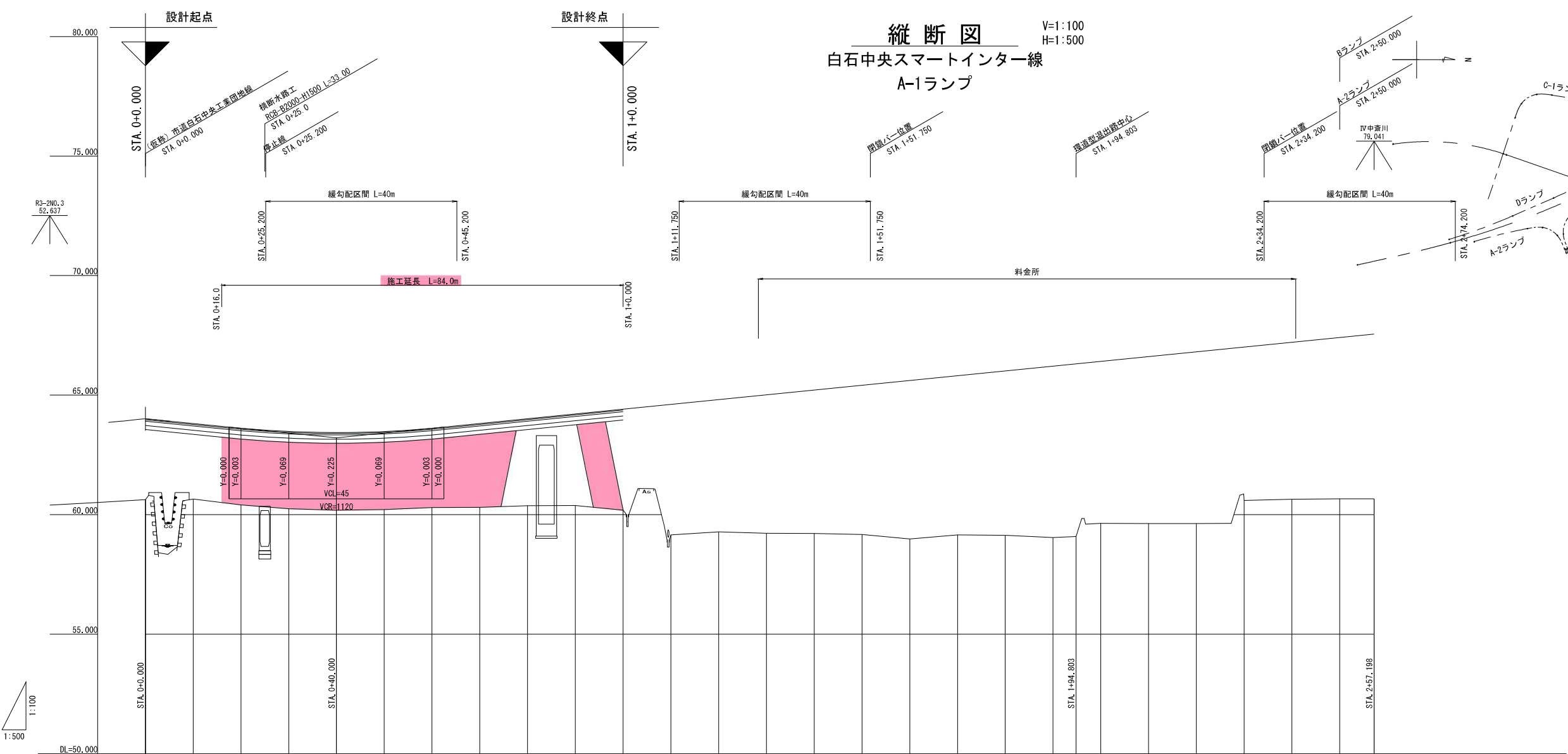
工事番号	-
路線名	市道白石中央工業団地線
施工地名	白石市大平中目字南田 地内
事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線 ほか1路線道路整備工事
図面名	平面図
縮尺	S=1:500
位置	白石市
設計年度	令和 年度
図番	3/30

実施

縦断図

白石中央スマートインター線 A-1ランプ

V=1:100
H=1:500



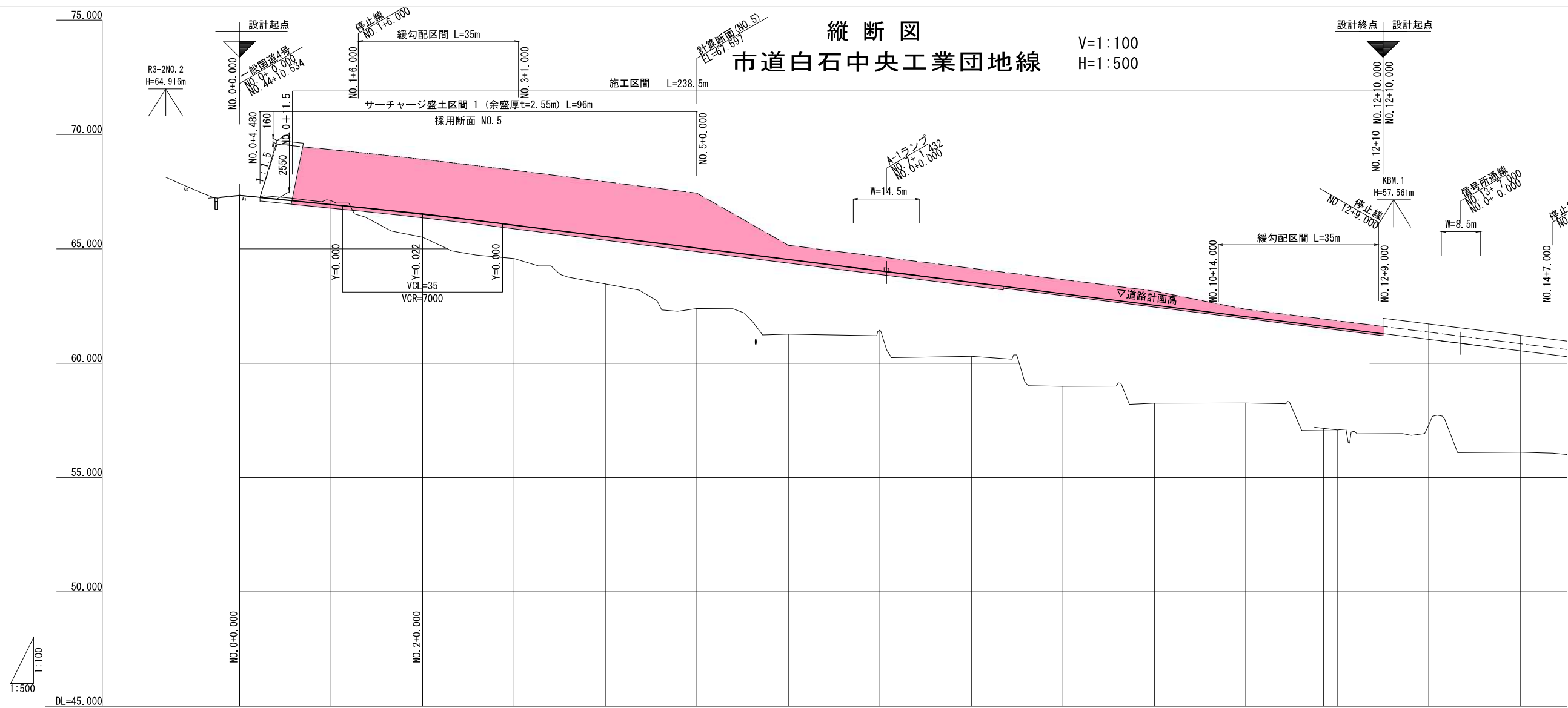
配	勾	64.011	$i=2.000\%$ $L=40.000$	63.211	$i=2.000\%$ $L=154.803$	66.307	$i=2.000\%$ $L=82.395$	67.555																						
土	盛	3.381	3.161	3.204	3.230	3.246	3.267	3.321	3.368	3.638	3.828	4.228	5.460	5.529	5.789	5.999	6.239	6.629	6.659	6.679	7.169	7.225	6.773	6.883	7.183	6.413	6.563	6.553	6.897	
土	切																													
計	面	64.011	63.811	63.614	63.480	63.438	63.460	63.614	63.811	64.011	64.211	64.411	64.611	64.811	65.011	65.211	65.411	65.611	65.811	66.011	66.211	66.307	66.411	66.611	66.811	67.011	67.211	67.411	67.555	
地	盛	60.630	60.650	60.410	60.250	60.190	60.213	60.293	60.303	60.373	60.383	60.183	59.151	59.282	59.222	59.212	59.172	58.982	59.152	59.132	59.042	59.082	59.638	59.628	59.628	60.598	60.648	60.658	60.658	
累	加	0.000	10.000	20.000	30.000	40.000	50.000	60.000	70.000	80.000	90.000	100.000	110.000	120.000	130.000	140.000	150.000	160.000	170.000	180.000	190.000	194.803	200.000	210.000	220.000	230.000	240.000	250.000	257.198	
単	距	0.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	4.803	5.197	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	7.198		
測	点	BP	+10.000	+20.000	+30.000	+40.000	+50.000	+60.000	+70.000	+80.000	+90.000	STA.1	+10.000	+20.000	+30.000	+40.000	+50.000	+60.000	+70.000	+80.000	+90.000	EC I-0	STA.2	+10.000	+20.000	+30.000	+40.000	+50.000	EP	
曲	半												$R=194.803$								$R=194.803$									
配	寸																													

【1工区】		実施	
工事番号	-		
路線名	A-1ランプ		
施工地名	白石市大平中目字南田 地内		
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線 ほか1路線道路整備工事		
図面名	縦断図		
縮尺	V=1:100 H=1:500	位置	
設計者		設計年度	令和 年度
白石市	図番	4/30	

※本図の標高は世界測地系(測地成果2011)を基準とした。

縦断図 市道白石中央工業団地線

V=1:100
H=1:500

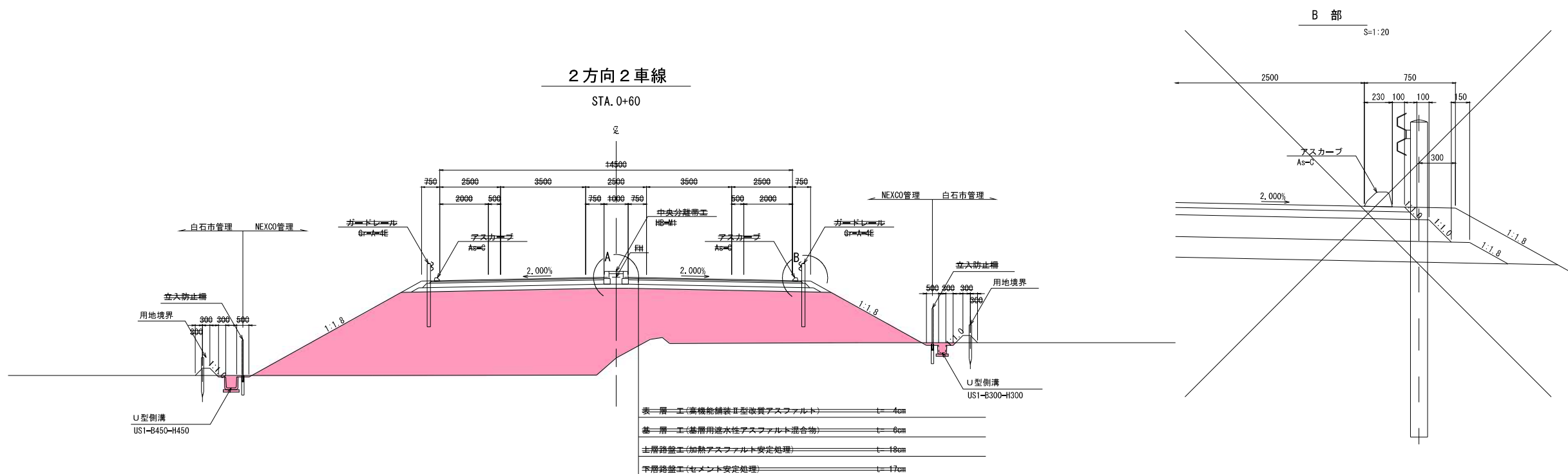


配	勾	盛土高	切土高	計画高	サーチャージ盛土標高	地盤高	累加距離	単距離	測点	率	曲	片勾配
	67.347	0.022		67.347	67.325	67.000	0.000	0.000	BP			
			0.163	66.947	67.110	67.000	20.000	20.000	NO. 1			
	66.547	1.012		66.525	65.513	65.000	40.000	20.000	NO. 2			
		1.472		66.047	64.575	64.000	60.000	20.000	NO. 3			
		2.079		65.547	63.468	63.000	80.000	20.000	NO. 4			
		2.657		65.047	62.390	62.000	100.000	20.000	NO. 5			
		3.277		64.547	61.270	61.000	120.000	20.000	NO. 6			
		2.603		64.047	61.444	61.000	140.000	20.000	NO. 7			
		3.248		63.547	60.299	60.000	160.000	20.000	NO. 8			
		4.057		63.047	58.990	58.000	180.000	20.000	NO. 9			
		4.300		62.547	58.247	58.000	200.000	20.000	NO. 10			
		3.792		62.047	58.255	58.000	220.000	20.000	NO. 11			
		4.470		61.621	57.151	57.000	237.022	17.022	KA 1-1			
		4.469		61.547	57.078	57.000	240.000	2.978	NO. 12			
		3.756		61.047	57.291	57.000	260.000	20.000	NO. 13			
		4.445		60.547	56.102	56.000	280.000	20.000	NO. 14			

【2工区】 実施

工事番号	-		
路線名	市道白石中央工業団地線		
施工地名	白石市大平中目字南田 地内		
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線 ほか1路線道路整備工事		
図面名	縦断図		
縮尺	V=1:100 H=1:500	位置	
設計者	白石市	設計年度	令和 年度
	図番	5/30	

標準横断面図 S=1:100
白石中央スマートインター線
A-1ランプ



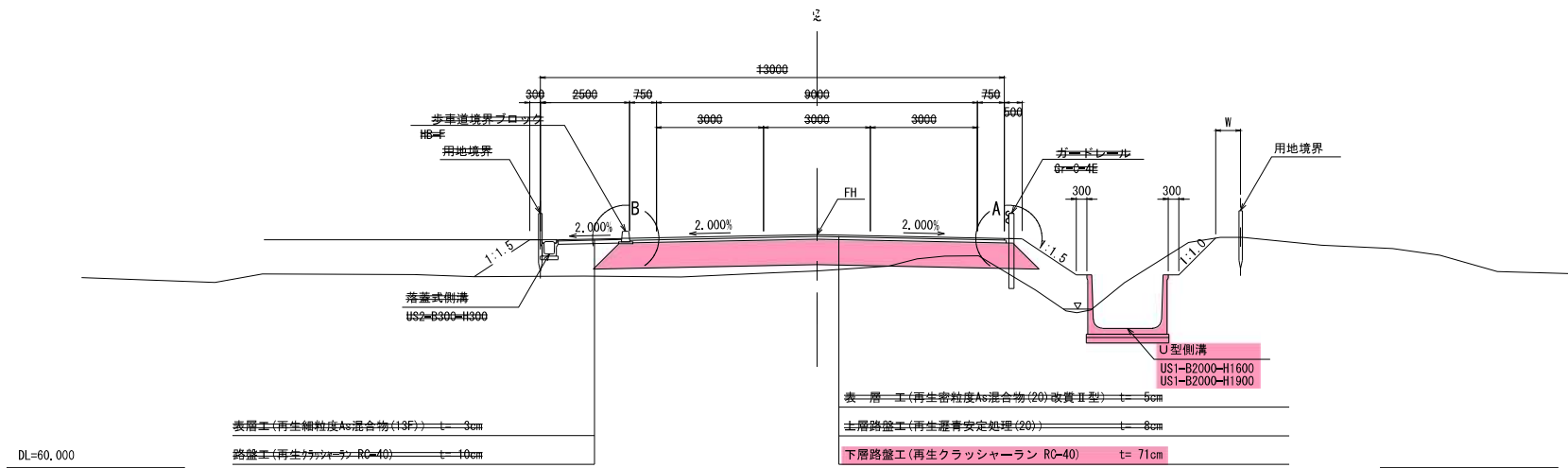
実施

【1工区】			
工事番号	-		
路線名	A-1ランプ		
施工地名	白石市大平中目字南田 地内		
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線 ほか1路線道路整備工事		
図面名	標準断面図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	令和 年度
白石市	図番	6/30	

標準横断図(1) S=1:100
市道白石中央工業団地線
NO. 0~NO. 8+7.0

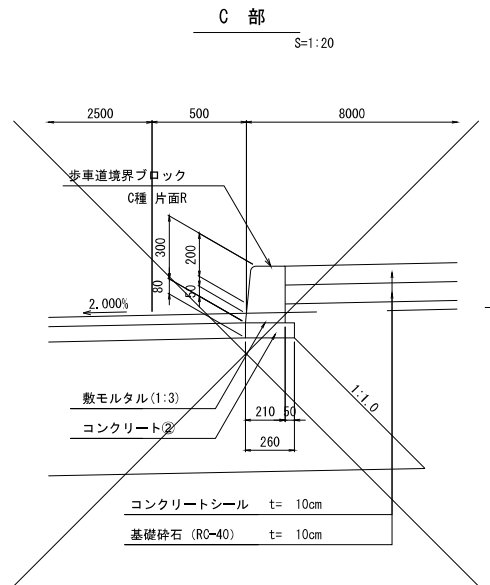
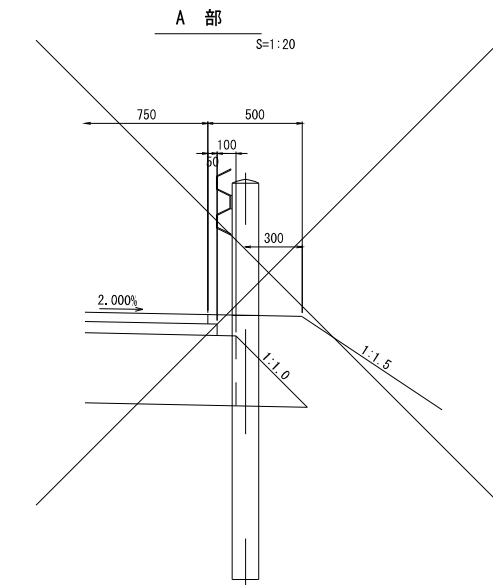
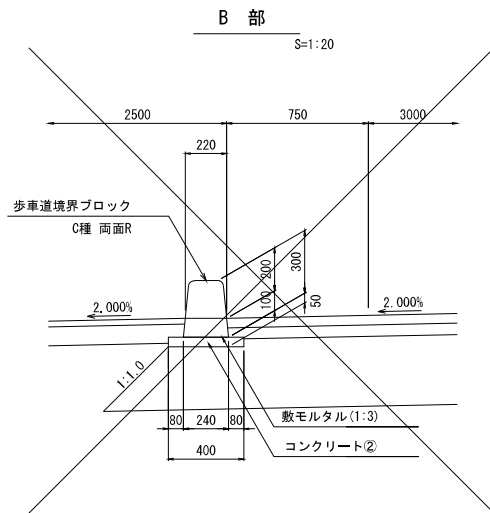
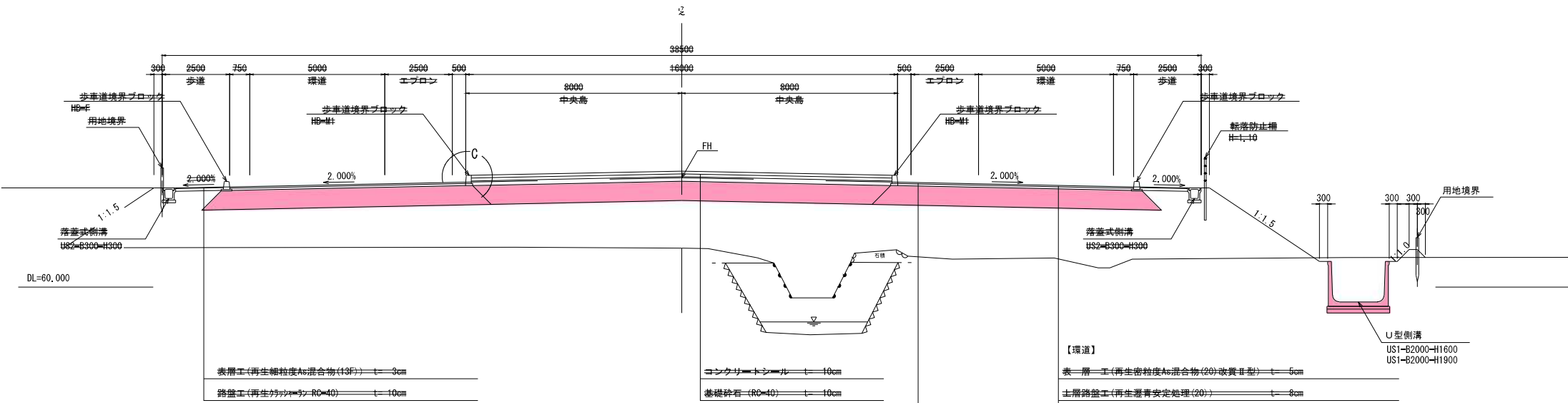
片側歩道交差点部

NO. 2



ラウンドアバウト部

NO. 7



【2工区】

工事番号	-
路線名	市道白石中央工業団地線
施工地名	白石市大平中目字南田 地内
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線 ほか1路線道路整備工事
図面名	標準横断図(1)
縮尺	S=1:100
位置	
設計年度	令和 年度
白石市	図番 7/30

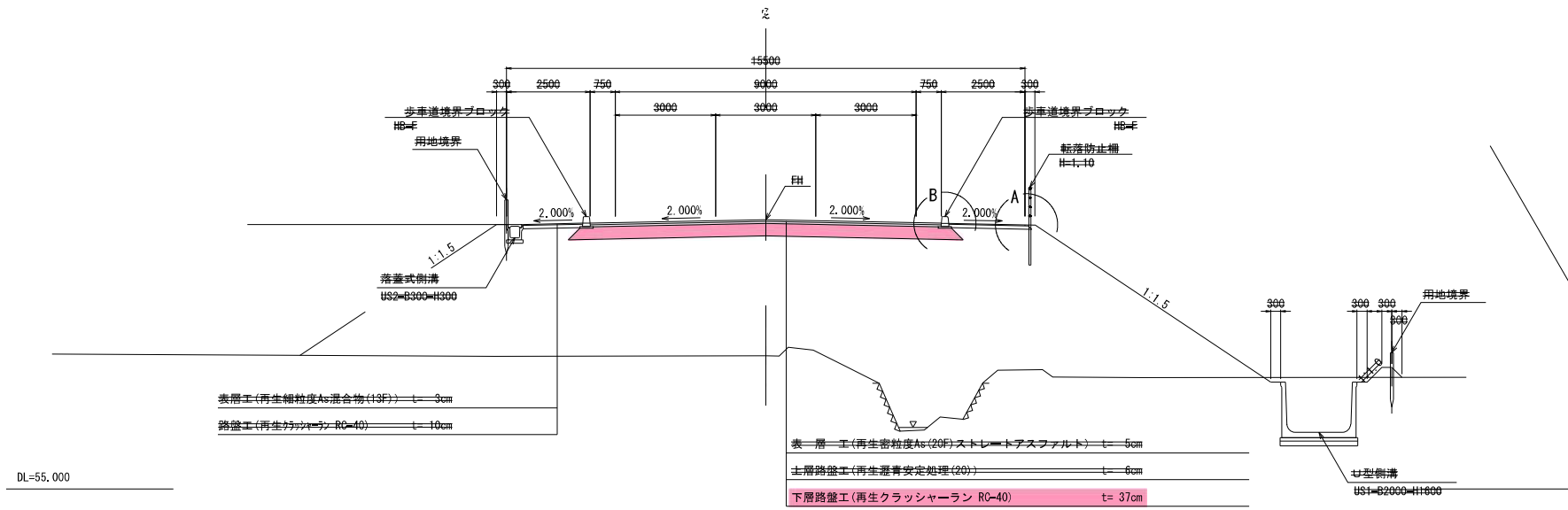
実施

標準横断面図(2) S=1:100

市道白石中央工業団地線
NO. 8+7.0~NO. 12+10.0

両側歩道交差点部

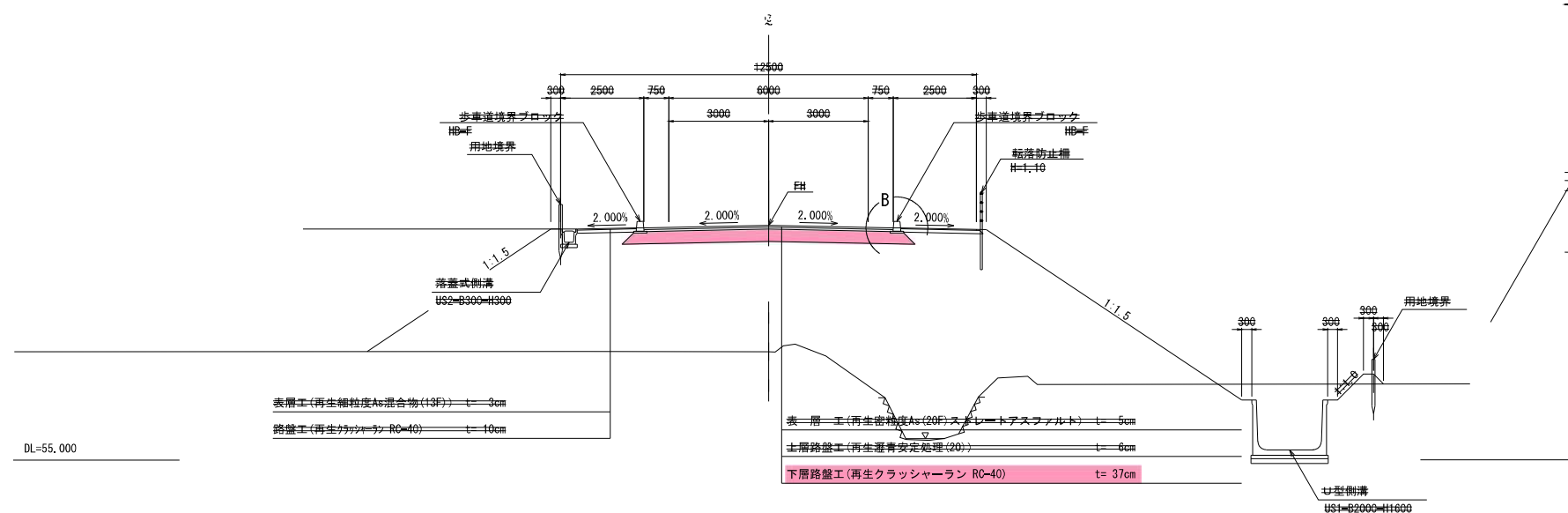
NO. 9



DL=55,000

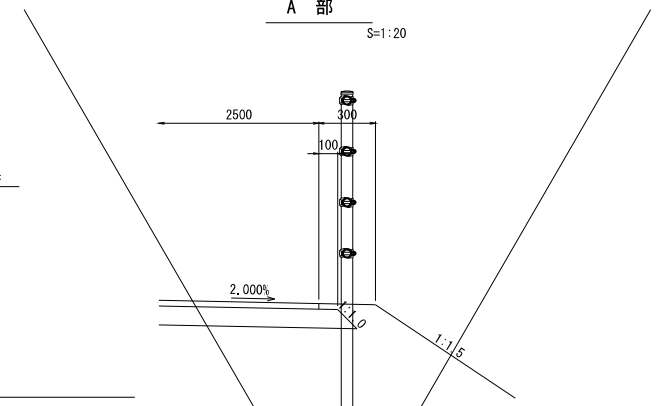
両側歩道一般部

NO. 11

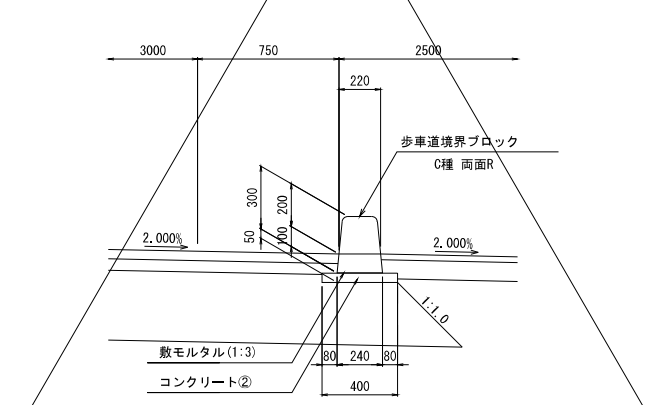


DL=55,000

A部 S=1:20



B部 S=1:30



【2工区】

工事番号	-		
路線名	市道白石中央工業団地線		
施工地名	白石市大平中目字南田 地内		
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートライン線 ほか1路線道路整備工事		
図面名	標準横断面図(2)		
縮尺	S=1:100	位置	
設計者		設計年度	令和 年度
白石市	図番	8/30	

実施

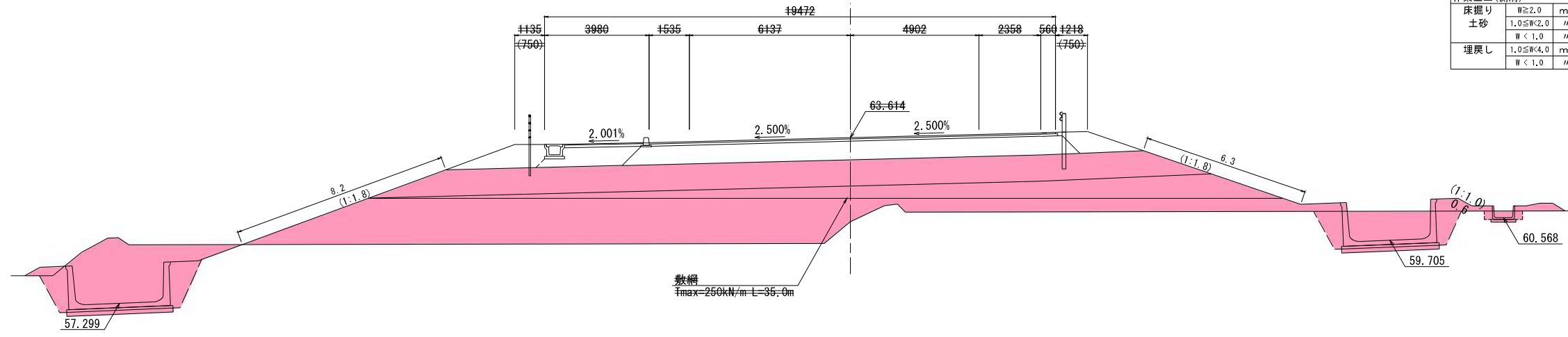
横断図 (1) S=1:100

A1STA. 0+20

GH=60.410 CA= 4.0
FH=63.614 BA= 96.3

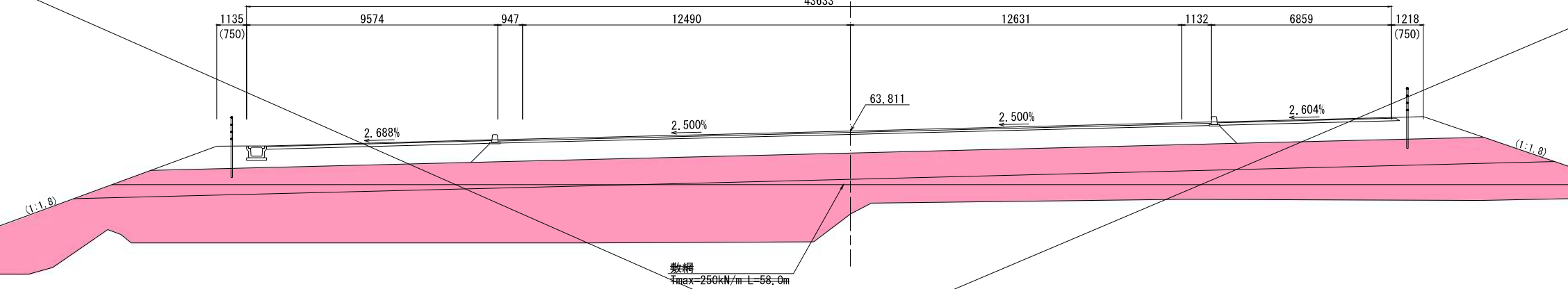
内訳	単位	数量
作業土工(削溝)		
床掘り	m ²	17.3
土砂	m ²	0.6
埋戻し	m ²	-
	m ²	4.5

内訳	単位	数量
掘削(土砂)	m ²	4.0
路体盛土	m ²	59.7
路床盛土	m ²	29.3
歩道盛土	m ²	-
路肩盛土	m ²	-
畦畔盛土	m ²	-
路体外盛土	m ²	-
法面切土工(土砂)	m	-
整形工	m	14.5
法面工	m	14.5



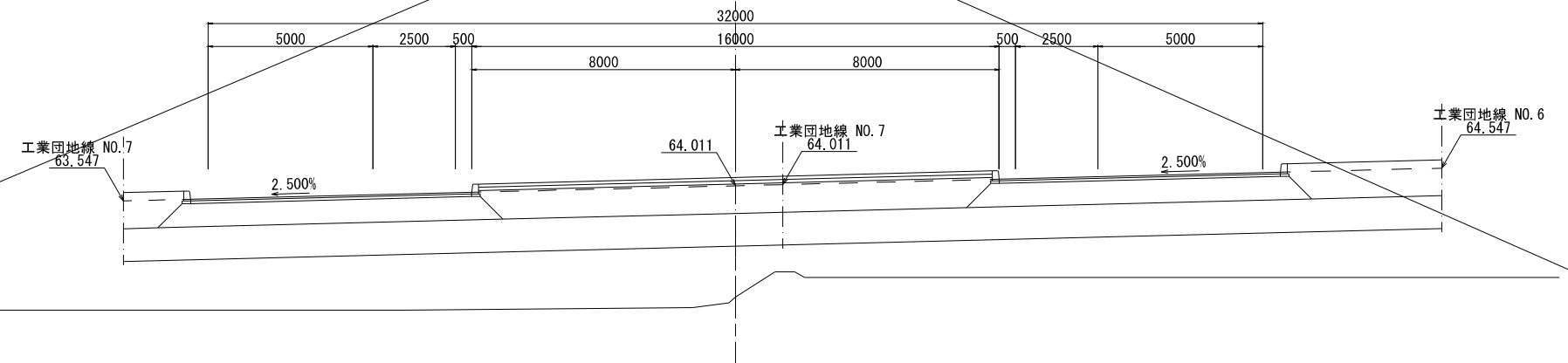
A1STA. 0+10

GH=60.650
FH=63.811



A1BP

GH=60.630
FH=64.011

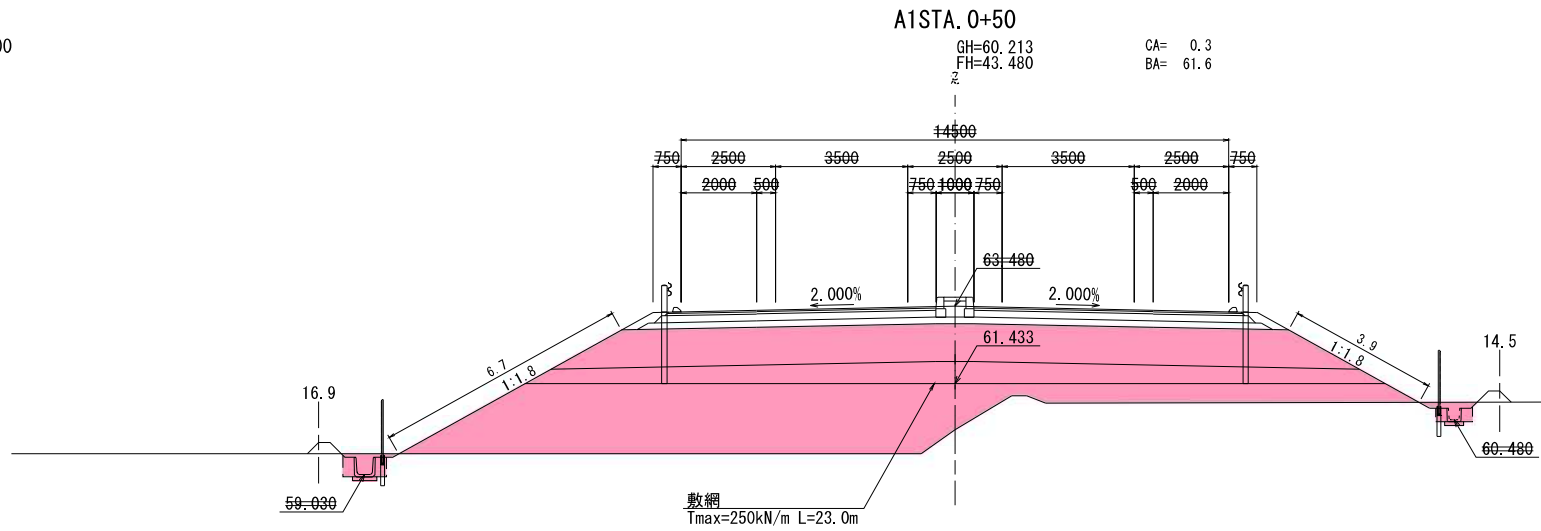


実施

【1工区】	
工事番号	-
路線名	A-1ランプ
施工地名	白石市大平中目字南田 地内
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線 ほか1路線道路整備工事
図面名	横断図 (1)
縮尺	S=1:100
設計者	位置
設計年度	令和 年度
白石市	図番 9/30

※本図の標高は世界測地系(測地成果2011)を基準とした。

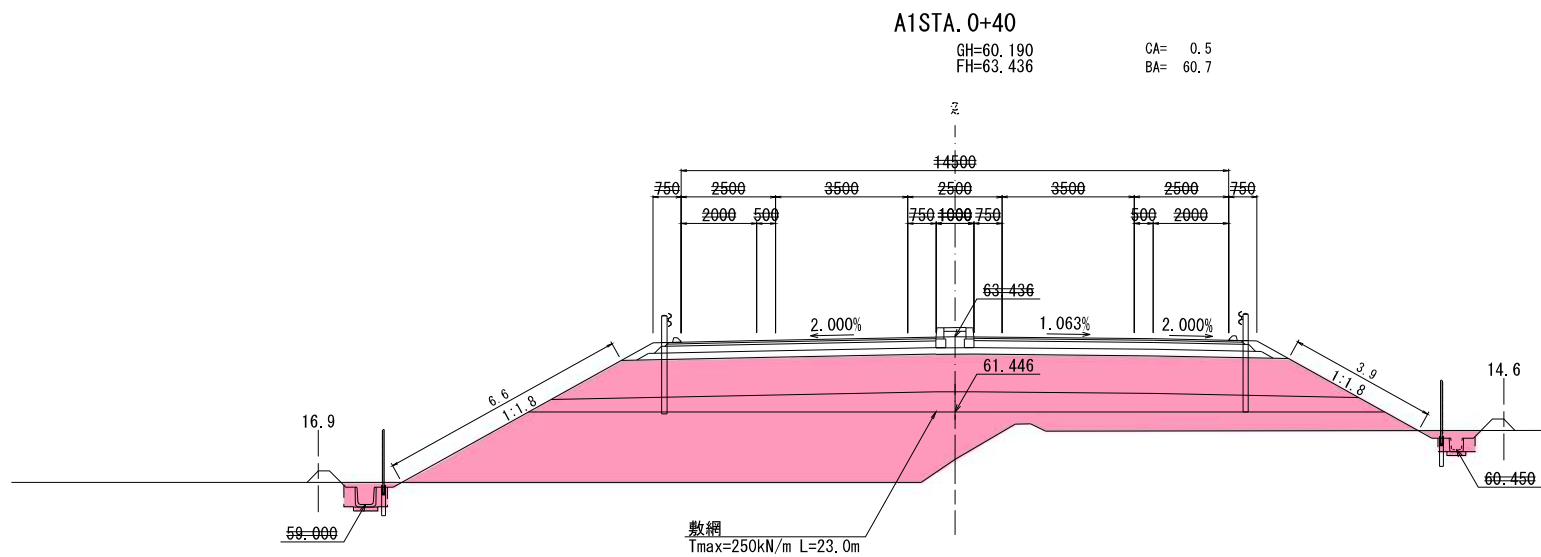
横断図 (2) S=1:100



内訳	単位	数量
作業土工(側溝)		
床掘り	W \geq 2.0	m2
土砂	1.0 \leq W \leq 2.0	1.1
	W < 1.0	-
埋戻し	1.0 \leq W \leq 4.0	m2
	W < 1.0	0.6

内訳	単位	数量
掘削(土砂)	切土部	m
	盛土部	10.6
路面	切土	m
整形工	盛土	10.6
路面工	切土	m
	盛土	10.6

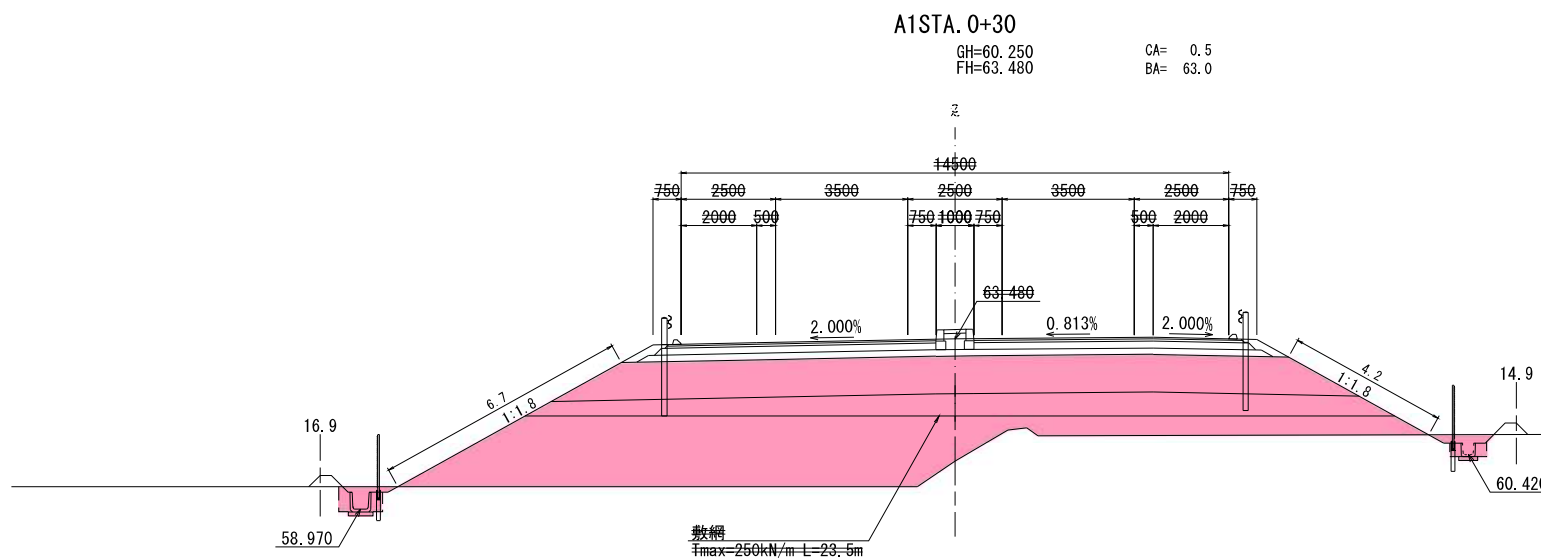
DL=55.000



内訳	単位	数量
作業土工(側溝)		
床掘り	W \geq 2.0	m2
土砂	1.0 \leq W \leq 2.0	1.1
	W < 1.0	-
埋戻し	1.0 \leq W \leq 4.0	m2
	W < 1.0	0.6

内訳	単位	数量
掘削(土砂)	切土部	m
	盛土部	10.5
路面	切土	m
整形工	盛土	10.5
路面工	切土	m
	盛土	10.5

DL=55.000



内訳	単位	数量
作業土工(側溝)		
床掘り	W \geq 2.0	m2
土砂	1.0 \leq W \leq 2.0	1.1
	W < 1.0	-
埋戻し	1.0 \leq W \leq 4.0	m2
	W < 1.0	0.6

内訳	単位	数量
掘削(土砂)	切土部	m
	盛土部	10.9
路面	切土	m
整形工	盛土	10.9
路面工	切土	m
	盛土	10.9

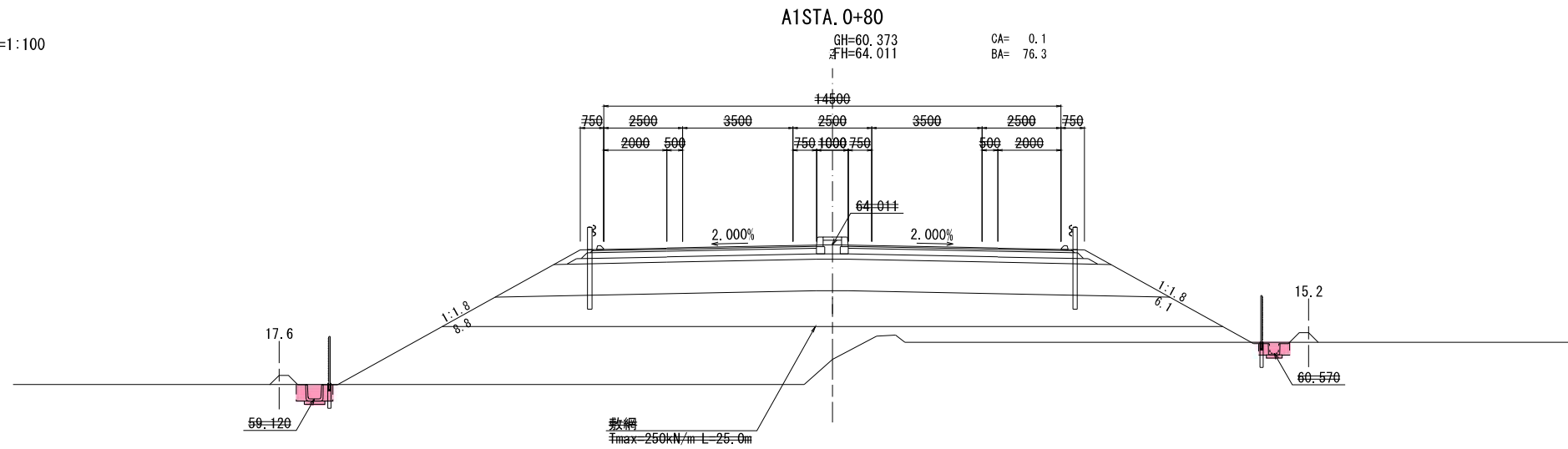
DL=55.000

【1工区】	
工事番号	-
路線名	A-1ランプ
施工地名	白石市大平中目字南田 地内
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線 ほか1路線道路整備工事
図面名	横断図 (2)
縮尺	S=1:100
設計者	令和 年度
白石市	図番 10/30

実施

※本図の標高は世界測地系(測地成果2011)を基準とした。

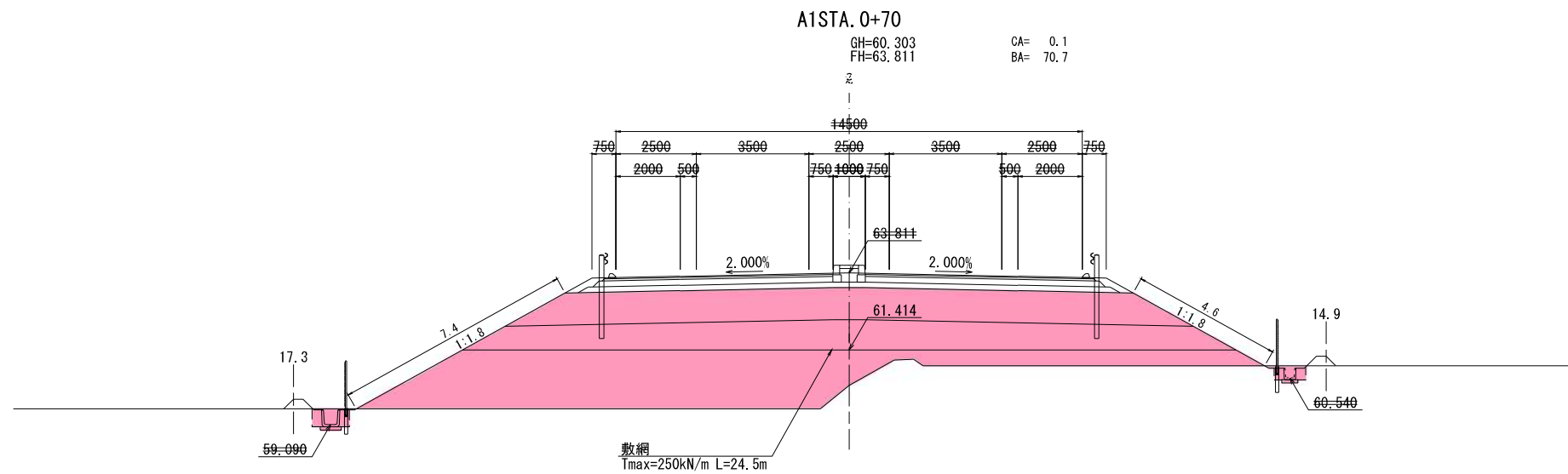
横断図 (3) S=1:100



内訳	単位	数量
作業土工(側溝)		
床掘り	W \geq 2.0	m2 -
土砂	1.0 \leq W \leq 2.0	// 1.1
	W < 1.0	// -
埋戻し	1.0 \leq W \leq 4.0	m2 -
	W < 1.0	// 0.6

内訳	単位	数量
掘削(土砂)	切土部	m 0.1
路体盛土	W \geq 4.0	m2 -
	2.5 \leq W \leq 4.0	// -
	W < 2.5	// -
路床盛土	W \geq 4.0	m2 -
	2.5 \leq W \leq 4.0	// -
	W < 2.5	// -
歩道盛土	W \geq 4.0	m2 -
	2.5 \leq W \leq 4.0	// -
	W < 2.5	// -
路肩盛土	W < 2.5	m2 -
畦畔盛土	W < 2.5	m2 -
路体外盛土	W \geq 4.0	m2 -
	2.5 \leq W \leq 4.0	// -
	W < 2.5	// -
法面	切土部(土砂)	m -
整形工	盛土部	// -
法面工	切土	m -
	盛土	// -

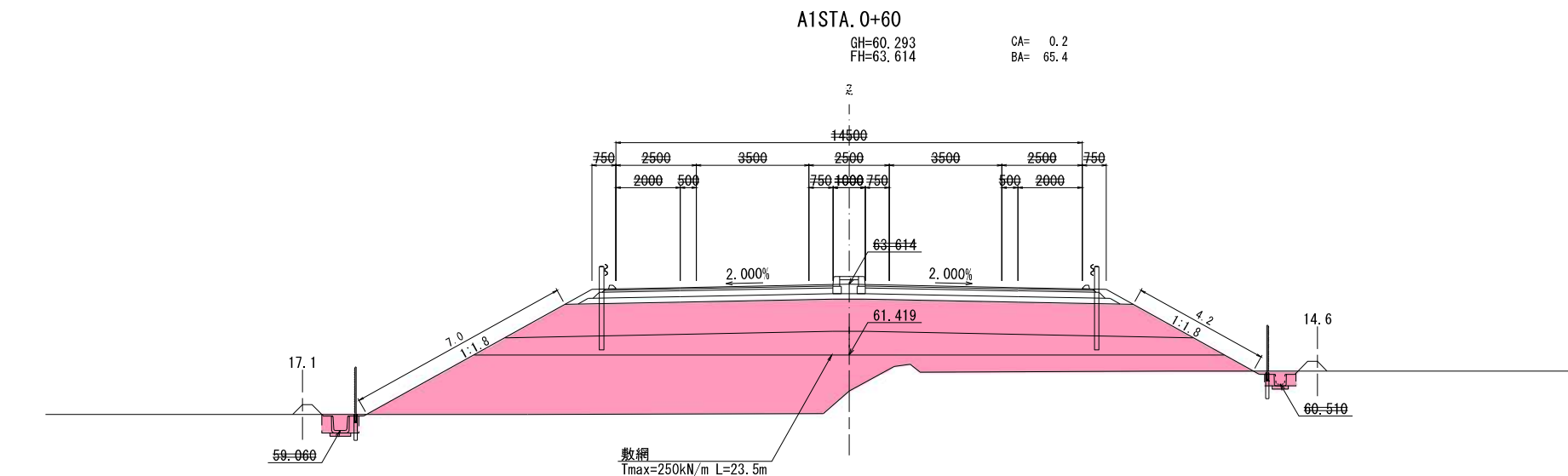
DL=55.000



内訳	単位	数量
作業土工(側溝)		
床掘り	W \geq 2.0	m2 -
土砂	1.0 \leq W \leq 2.0	// 1.1
	W < 1.0	// -
埋戻し	1.0 \leq W \leq 4.0	m2 -
	W < 1.0	// 0.6

内訳	単位	数量
掘削(土砂)	切土部	m 0.1
路体盛土	W \geq 4.0	m2 50.2
	2.5 \leq W \leq 4.0	// -
	W < 2.5	// -
路床盛土	W \geq 4.0	m2 19.5
	2.5 \leq W \leq 4.0	// -
	W < 2.5	// -
歩道盛土	W \geq 4.0	m2 -
	2.5 \leq W \leq 4.0	// -
	W < 2.5	// -
路肩盛土	W < 2.5	m2 -
畦畔盛土	W < 2.5	m2 -
路体外盛土	W \geq 4.0	m2 -
	2.5 \leq W \leq 4.0	// -
	W < 2.5	// -
法面	切土部(土砂)	m -
整形工	盛土部	// 12.0
法面工	切土	m -
	盛土	// 12.0

DL=55.000



内訳	単位	数量
作業土工(側溝)		
床掘り	W \geq 2.0	m2 -
土砂	1.0 \leq W \leq 2.0	// 1.1
	W < 1.0	// -
埋戻し	1.0 \leq W \leq 4.0	m2 -
	W < 1.0	// 0.6

内訳	単位	数量
掘削(土砂)	切土部	m 0.2
路体盛土	W \geq 4.0	m2 44.9
	2.5 \leq W \leq 4.0	// -
	W < 2.5	// -
路床盛土	W \geq 4.0	m2 19.5
	2.5 \leq W \leq 4.0	// -
	W < 2.5	// -
歩道盛土	W \geq 4.0	m2 -
	2.5 \leq W \leq 4.0	// -
	W < 2.5	// -
路肩盛土	W < 2.5	m2 -
畦畔盛土	W < 2.5	m2 -
路体外盛土	W \geq 4.0	m2 -
	2.5 \leq W \leq 4.0	// -
	W < 2.5	// -
法面	切土部(土砂)	m -
整形工	盛土部	// 11.2
法面工	切土	m -
	盛土	// 11.2

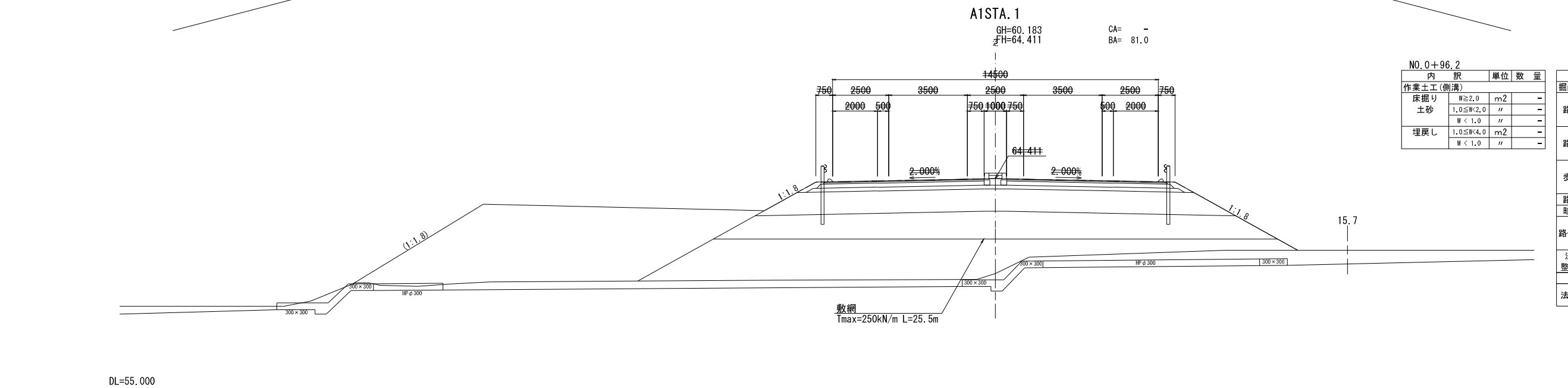
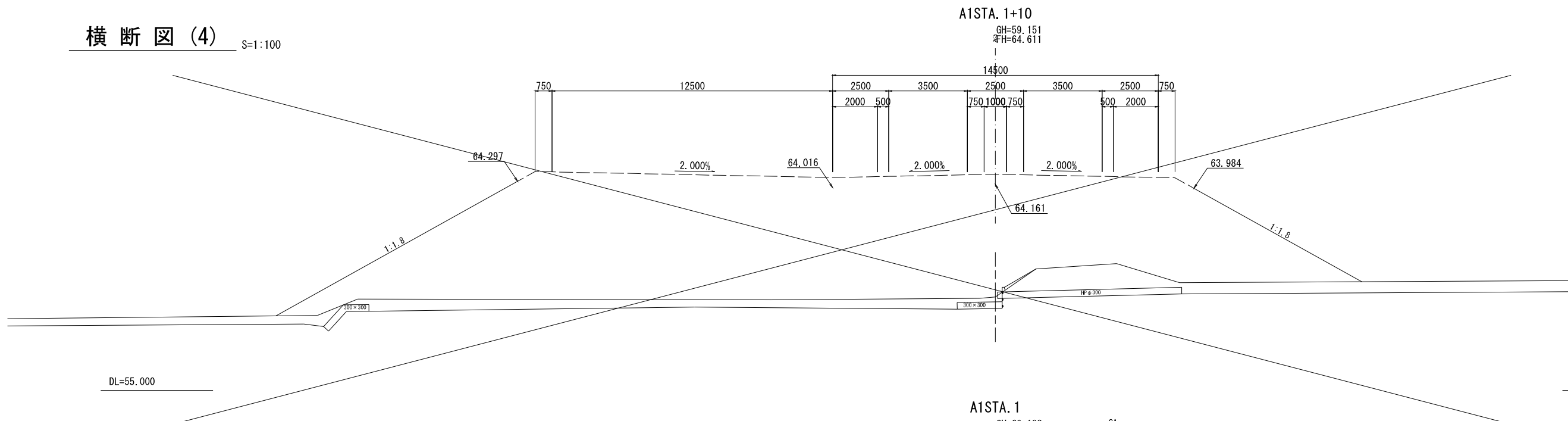
DL=55.000

※本図の標高は世界測地系(測地成果2011)を基準とした。

【1工区】	
工事番号	-
路線名	A-1ランプ
施工地名	白石市大平中目字南田 地内
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線 ほか1路線道路整備工事
図面名	横断図 (3)
縮尺	S=1:100
設計者	令和 年度
白石市	図番 11/30

実施

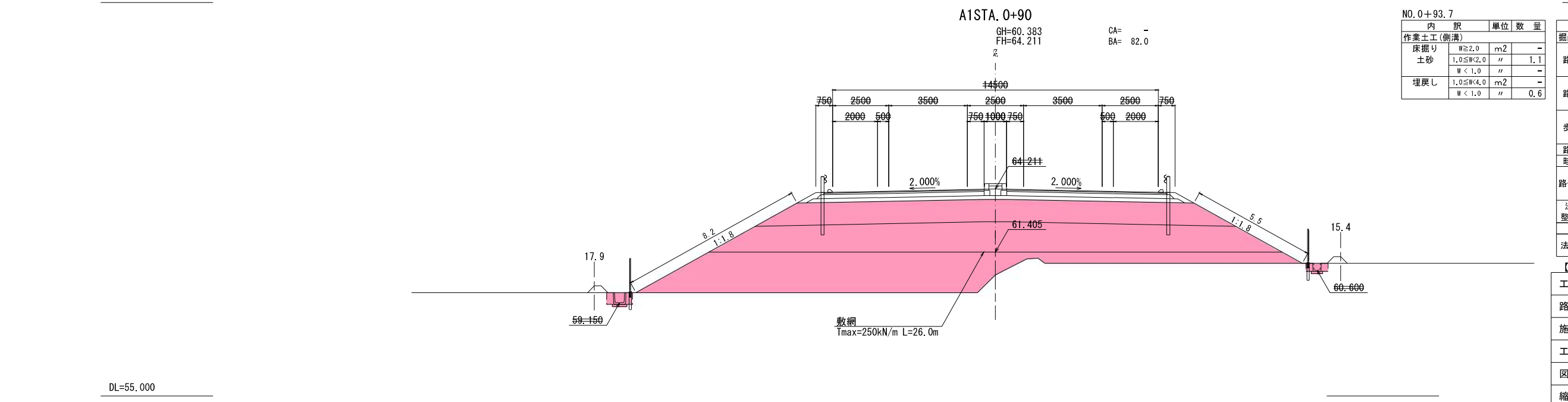
横断図 (4) S=1:100



NO. 0+96.2

内訳	単位	数量
作業土工(削溝)		
床掘り	W≧2.0 m2	-
土砂	1.0≦W<2.0 "	-
	W<1.0 "	-
埋戻し	1.0≦W<4.0 m2	-
	W<1.0 "	-

内訳	単位	数量
掘削(土砂)	削溝	m2
路体盛土	W≧4.0	m2
	2.5≦W<4.0	m2
	W<2.5	m2
路床盛土	W≧4.0	m2
	2.5≦W<4.0	m2
	W<2.5	m2
歩道盛土	W≧4.0	m2
	2.5≦W<4.0	m2
	W<2.5	m2
路肩盛土	W<2.5	m2
畦畔盛土	W<2.5	m2
路体外盛土	W≧4.0	m2
	2.5≦W<4.0	m2
	W<2.5	m2
法面	切土部(土砂)	m
整形工	盛土部	m
法面工	切土	m
	盛土	m



NO. 0+93.7

内訳	単位	数量
作業土工(削溝)		
床掘り	W≧2.0 m2	-
土砂	1.0≦W<2.0 "	1.1
	W<1.0 "	-
埋戻し	1.0≦W<4.0 m2	-
	W<1.0 "	0.6

内訳	単位	数量
掘削(土砂)	削溝	m2
路体盛土	W≧4.0	m2
	2.5≦W<4.0	m2
	W<2.5	m2
路床盛土	W≧4.0	m2
	2.5≦W<4.0	m2
	W<2.5	m2
歩道盛土	W≧4.0	m2
	2.5≦W<4.0	m2
	W<2.5	m2
路肩盛土	W<2.5	m2
畦畔盛土	W<2.5	m2
路体外盛土	W≧4.0	m2
	2.5≦W<4.0	m2
	W<2.5	m2
法面	切土部(土砂)	m
整形工	盛土部	m
法面工	切土	m
	盛土	m

【1工区】

工事番号	-
路線名	A-1ランプ
施工地名	白石市大平中目字南田 地内
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線 ほか1路線道路整備工事
図面名	横断図 (4)
縮尺	S=1:100
位置	
設計年度	令和 年度
白石市	図番 12/30

実施

※本図の標高は世界測地系(測地成果2011)を基準とした。

横断図 (1)

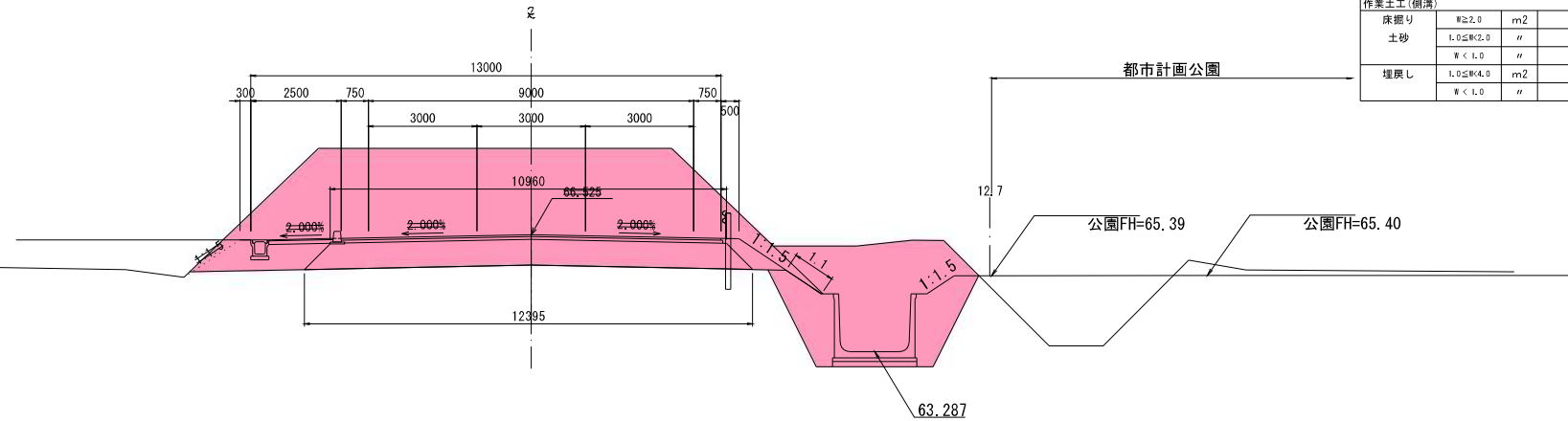
S=1:100

NO. 2
GH=65.513 CA= 4.6
FH=66.525 BA= 6.6

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土路体1 (W≧4.0)	m2	B1	-
サーチャージ盛土路体2 (W≧4.0)	m2	B2	-
サーチャージ盛土路体2 (2.5≦W<4.0)	m2	B3	-
サーチャージ盛土路体2 (W<2.5)	m2	B4	-
路体盛土 (サンドマット)	m2	B5	-
サーチャージ盛土路床 (W≧4.0)	m2	B6	-
路体外盛土 (W≧4.0)	m2	B7	-
法面整形工 盛土部 (左)	m	BL1	-
法面整形工 盛土部 (右)	m	BL2	-

※その他盛土は完成形数量にて計上

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土撤去	m2	C1	-



内訳	単位	数量
作業土工 (側溝)		
床掘り	m2	7.0
土砂	m2	-
埋戻し	m2	2.8

内訳	単位	数量
掘削 (土砂)	m2	4.6
路体盛土	m2	-
路床盛土	m2	-
歩道盛土	m2	-
路肩盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	-
路体外盛土	m2	-
法面整形工	m	-
法面工	m	-

DL=60.000

NO. 1+0.0

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土路体1 (W≧4.0)	m2	B1	-
サーチャージ盛土路体2 (W≧4.0)	m2	B2	-
サーチャージ盛土路体2 (2.5≦W<4.0)	m2	B3	-
サーチャージ盛土路体2 (W<2.5)	m2	B4	-
路体盛土 (サンドマット)	m2	B5	-
サーチャージ盛土路床 (W≧4.0)	m2	B6	-
路体外盛土 (W≧4.0)	m2	B7	-
法面整形工 盛土部 (左)	m	BL1	-
法面整形工 盛土部 (右)	m	BL2	-

※その他盛土は完成形数量にて計上

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土撤去	m2	C1	-

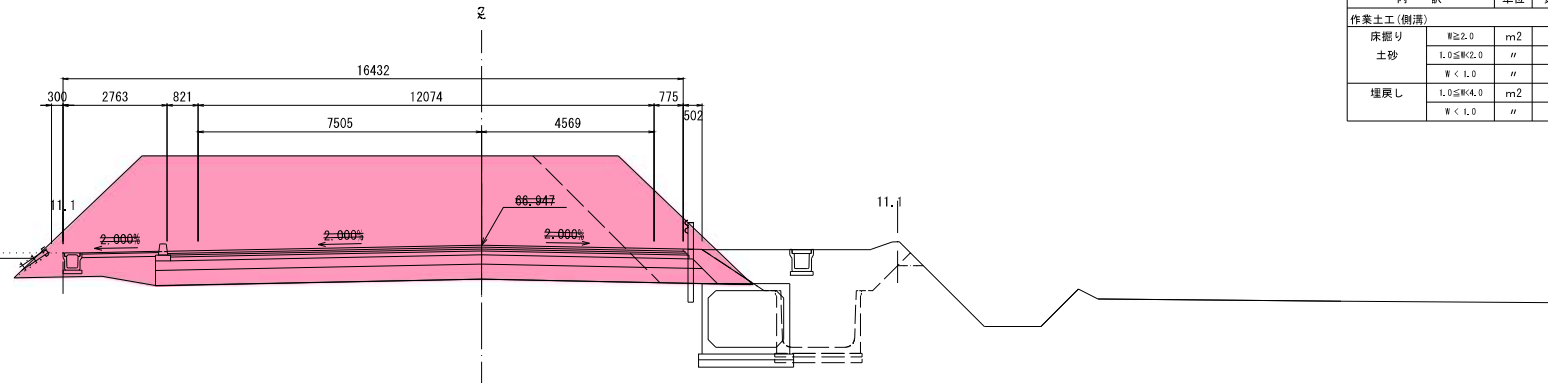
NO. 0+14.0

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土路体1 (W≧4.0)	m2	B1	-
サーチャージ盛土路体2 (W≧4.0)	m2	B2	-
サーチャージ盛土路体2 (2.5≦W<4.0)	m2	B3	-
サーチャージ盛土路体2 (W<2.5)	m2	B4	-
路体盛土 (サンドマット)	m2	B5	-
サーチャージ盛土路床 (W≧4.0)	m2	B6	-
路体外盛土 (W≧4.0)	m2	B7	-
法面整形工 盛土部 (左)	m	BL1	-
法面整形工 盛土部 (右)	m	BL2	-

※その他盛土は完成形数量にて計上

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土撤去	m2	C1	-

NO. 1 (NO. 0+14.0)
GH=67.110 CA= 9.0
FH=66.947 BA= 5.4

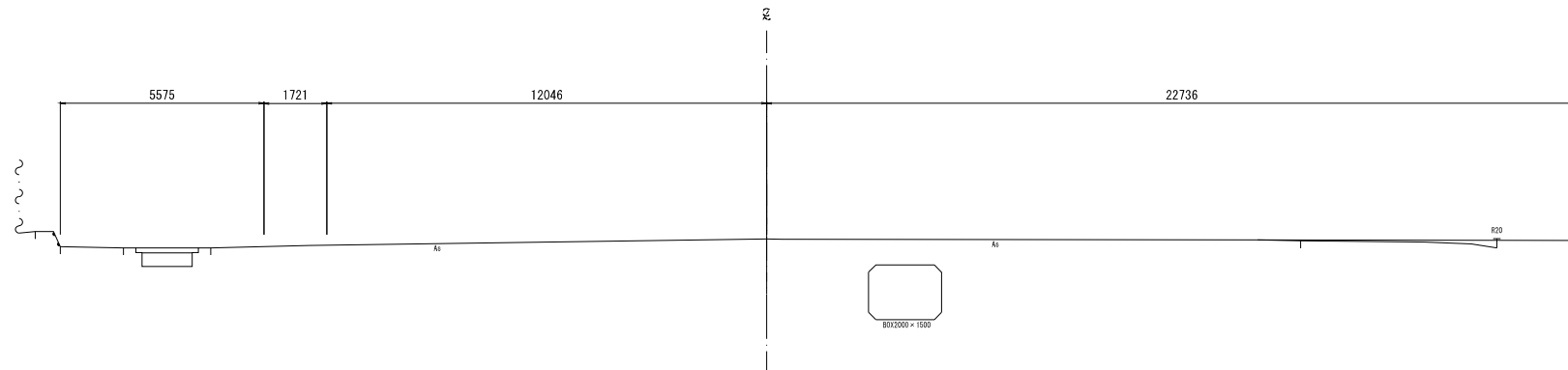


内訳	単位	数量
作業土工 (側溝)		
床掘り	m2	-
土砂	m2	0.9
埋戻し	m2	0.6

内訳	単位	数量
掘削 (土砂)	m2	9.0
路体盛土	m2	-
路床盛土	m2	-
歩道盛土	m2	-
路肩盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	-
路体外盛土	m2	-
法面整形工	m	-
法面工	m	-

DL=60.000

BP
GH=67.325



内訳	単位	数量
作業土工 (側溝)		
床掘り	m2	-
土砂	m2	-
埋戻し	m2	-

内訳	単位	数量
掘削 (土砂)	m2	-
路体盛土	m2	-
路床盛土	m2	-
歩道盛土	m2	-
路肩盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	-
路体外盛土	m2	-
法面整形工	m	-
法面工	m	-

DL=60.000

【2工区】			
工事番号	-		
路線名	市道白石中央工業団地線		
施工地名	白石市大平中目字南田 地内		
工事名	令和8年度 市道 (仮称) 白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事		
図面名	横断図 (1)		
縮尺	S=1:500	位置	
設計者		設計年度	令和 年度
白石市	図番	13/30	

実施

横断図 (2)

S=1:100

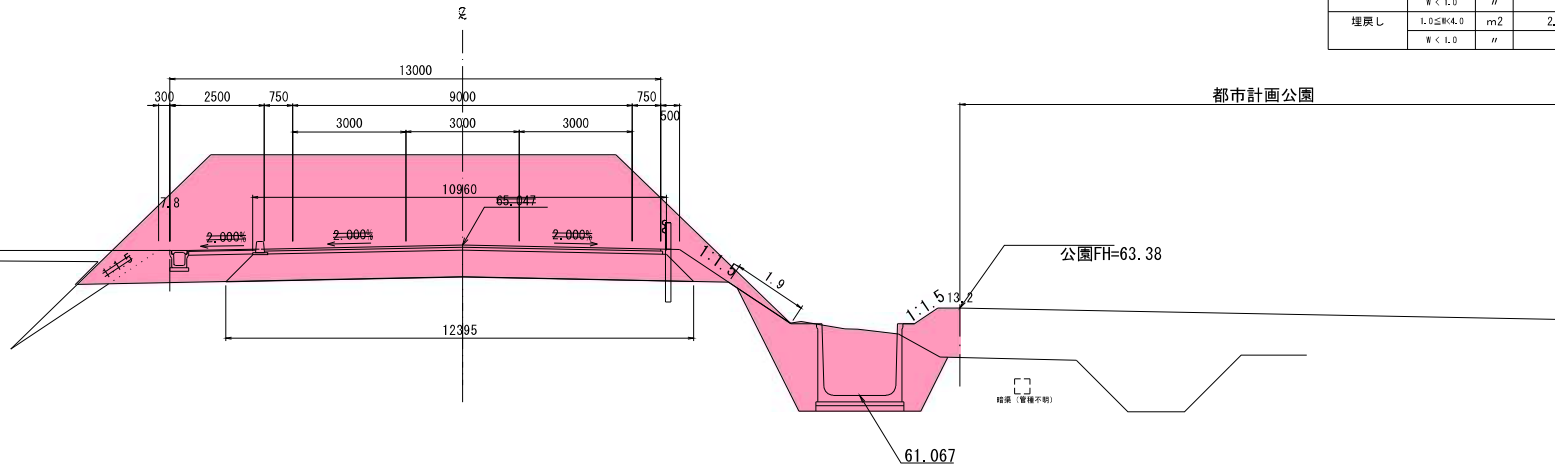
NO. 5
GH=62.390
FH=65.047
CA= 0.8
BA= 35.0

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土路体1 (W≧4.0)	m2	B1	-
サーチャージ盛土路体2 (W≧4.0)	m2	B2	-
サーチャージ盛土路体2 (2.5≦W<4.0)	m2	B3	-
サーチャージ盛土路体2 (W<2.5)	m2	B4	-
路体盛土 (サンドマット)	m2	B5	-
サーチャージ盛土路床 (W≧4.0)	m2	B6	-
路体外盛土 (W≧4.0)	m2	B7	-
法面整形工 盛土部 (左)	m	BL1	-
法面整形工 盛土部 (右)	m	BL2	-

※その他盛土は完成形数量にて計上

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土撤去	m2	C1	47.1

DL=60.000



内訳	単位	数量
作業土工 (側溝)		
床掘り	m2	6.9
土砂	m2	-
埋戻し	m2	2.7

内訳	単位	数量
掘削 (土砂)	m2	0.8
路体盛土	m2	11.2
路床盛土	m2	1.6
歩道盛土	m2	17.9
路肩盛土	m2	-
路体外盛土	m2	-
法面整形工	m	1.0
盛土部	m	3.6
法面工	m	4.6

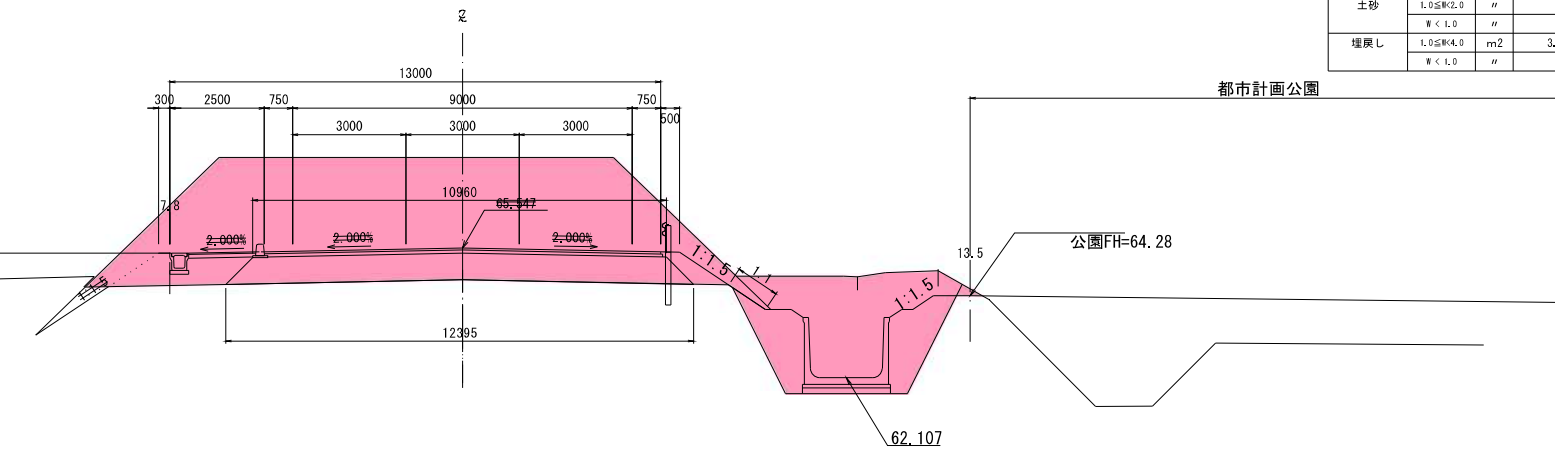
NO. 4
GH=63.468
FH=65.547
CA= 3.9
BA= 18.3

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土路体1 (W≧4.0)	m2	B1	-
サーチャージ盛土路体2 (W≧4.0)	m2	B2	-
サーチャージ盛土路体2 (2.5≦W<4.0)	m2	B3	-
サーチャージ盛土路体2 (W<2.5)	m2	B4	-
路体盛土 (サンドマット)	m2	B5	-
サーチャージ盛土路床 (W≧4.0)	m2	B6	-
路体外盛土 (W≧4.0)	m2	B7	-
法面整形工 盛土部 (左)	m	BL1	-
法面整形工 盛土部 (右)	m	BL2	-

※その他盛土は完成形数量にて計上

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土撤去	m2	C1	46.0

DL=60.000



内訳	単位	数量
作業土工 (側溝)		
床掘り	m2	7.8
土砂	m2	-
埋戻し	m2	3.5

内訳	単位	数量
掘削 (土砂)	m2	3.9
路体盛土	m2	2.8
路床盛土	m2	12.4
歩道盛土	m2	0.5
路肩盛土	m2	1.2
路体外盛土	m2	1.4
法面整形工	m	2.7
盛土部	m	2.6
法面工	m	3.7

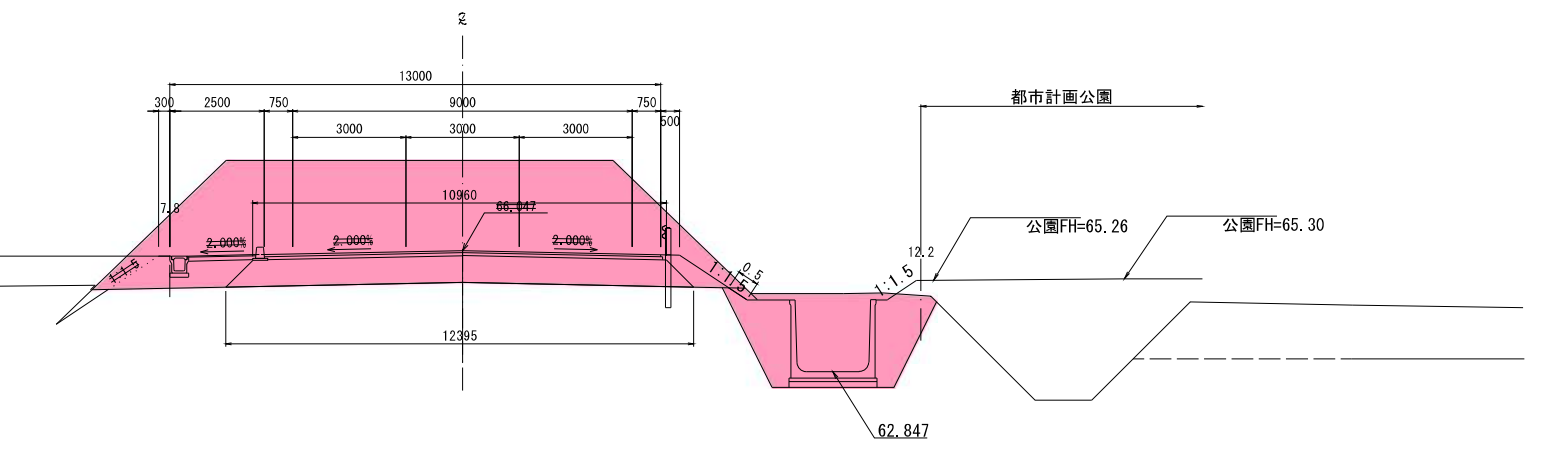
NO. 3
GH=64.575
FH=66.047
CA= 1.3
BA= 11.8

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土路体1 (W≧4.0)	m2	B1	-
サーチャージ盛土路体2 (W≧4.0)	m2	B2	-
サーチャージ盛土路体2 (2.5≦W<4.0)	m2	B3	-
サーチャージ盛土路体2 (W<2.5)	m2	B4	-
路体盛土 (サンドマット)	m2	B5	-
サーチャージ盛土路床 (W≧4.0)	m2	B6	-
路体外盛土 (W≧4.0)	m2	B7	-
法面整形工 盛土部 (左)	m	BL1	-
法面整形工 盛土部 (右)	m	BL2	-

※その他盛土は完成形数量にて計上

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土撤去	m2	C1	45.5

DL=60.000



内訳	単位	数量
作業土工 (側溝)		
床掘り	m2	6.8
土砂	m2	-
埋戻し	m2	2.7

内訳	単位	数量
掘削 (土砂)	m2	1.3
路体盛土	m2	-
路床盛土	m2	8.1
歩道盛土	m2	1.1
路肩盛土	m2	1.2
路体外盛土	m2	1.4
法面整形工	m	0.8
盛土部	m	2.8
法面工	m	2.8

【2工区】

工事番号	-		
路線名	市道白石中央工業団地線		
施工地名	白石市大平中目字南田 地内		
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線 ほか1路線道路整備工事		
図面名	横断図 (2)		
縮尺	S=1:500	位置	
設計者		設計年度	令和 年度
白石市	図番	14/30	

実施

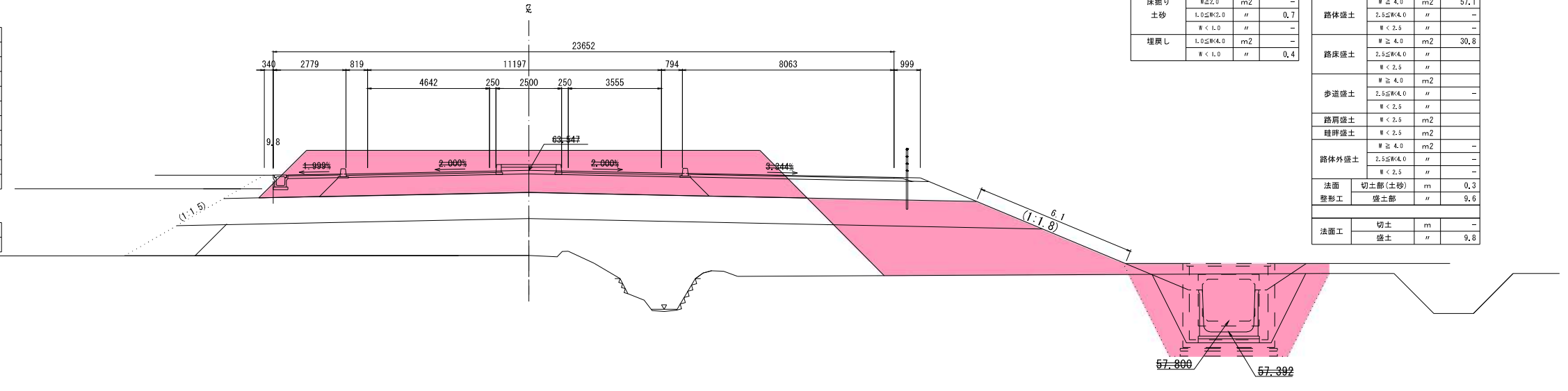
横断図 (3) S=1:100

NO. 8
GH=60.299
FH=63.547
CA= 0.3
BA= 100.7

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土路体1 (W≧4.0)	m2	B1	-
サーチャージ盛土路体2 (W≧4.0)	m2	B2	-
サーチャージ盛土路体2 (2.5≦W<4.0)	m2	B3	-
サーチャージ盛土路体2 (W<2.5)	m2	B4	-
路体盛土 (サンドマット)	m2	B5	-
サーチャージ盛土路床 (W≧4.0)	m2	B6	-
路体外盛土 (W≧4.0)	m2	B7	-
法面整形工 盛土部(左)	m	BL1	-
法面整形工 盛土部(右)	m	BL2	-

※その他盛土は完成形数量にて計上

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土撤去	m2	C1	-



内訳	単位	数量
作業土工 (側溝)		
床掘り	m2	-
土砂	m2	0.7
埋戻し	m2	-
	m2	0.4

内訳	単位	数量
掘削(土砂)	m2	0.3
路体盛土	m2	57.1
路床盛土	m2	30.8
歩道盛土	m2	-
路肩盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	-
路体外盛土	m2	-
法面整形工	m	0.3
盛土部	m	9.6
法面工	m	-
切土	m	-
盛土	m	9.8

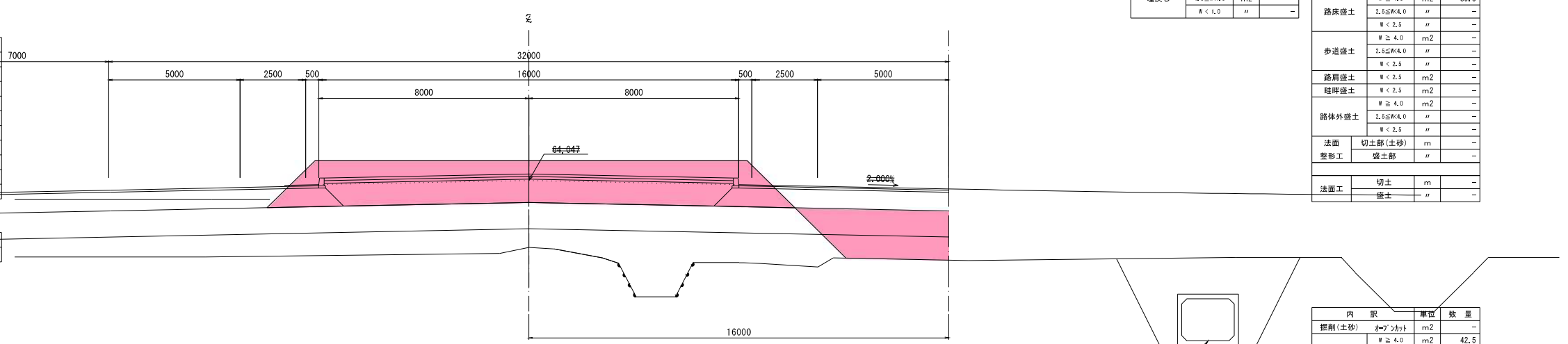
DL=55.000

NO. 7
GH=61.444
FH=64.047
CA= -
BA= 81.4

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土路体1 (W≧4.0)	m2	B1	-
サーチャージ盛土路体2 (W≧4.0)	m2	B2	-
サーチャージ盛土路体2 (2.5≦W<4.0)	m2	B3	-
サーチャージ盛土路体2 (W<2.5)	m2	B4	-
路体盛土 (サンドマット)	m2	B5	-
サーチャージ盛土路床 (W≧4.0)	m2	B6	-
路体外盛土 (W≧4.0)	m2	B7	-
法面整形工 盛土部(左)	m	BL1	-
法面整形工 盛土部(右)	m	BL2	-

※その他盛土は完成形数量にて計上

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土撤去	m2	C1	-



内訳	単位	数量
作業土工 (側溝)		
床掘り	m2	-
土砂	m2	-
埋戻し	m2	-
	m2	-

内訳	単位	数量
掘削(土砂)	m2	-
路体盛土	m2	38.7
路床盛土	m2	1.8
歩道盛土	m2	1.9
路肩盛土	m2	39.0
畦畔盛土	m2	-
路体外盛土	m2	-
法面整形工	m	-
切土部(土砂)	m	-
盛土部	m	-
法面工	m	-
切土	m	-
盛土	m	-

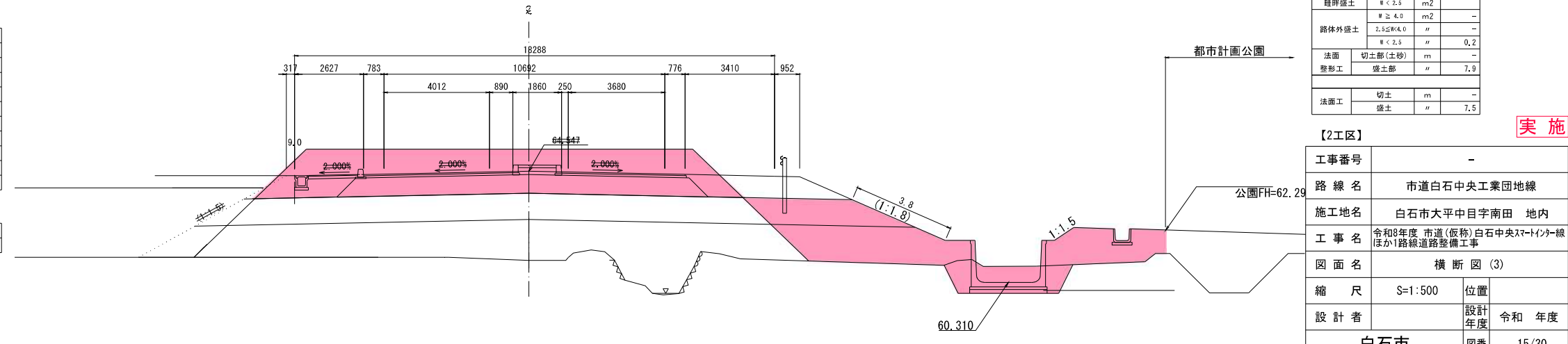
DL=60.000

NO. 6
GH=61.270
FH=64.547
CA= -
BA= 74.6

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土路体1 (W≧4.0)	m2	B1	-
サーチャージ盛土路体2 (W≧4.0)	m2	B2	-
サーチャージ盛土路体2 (2.5≦W<4.0)	m2	B3	-
サーチャージ盛土路体2 (W<2.5)	m2	B4	-
路体盛土 (サンドマット)	m2	B5	-
サーチャージ盛土路床 (W≧4.0)	m2	B6	-
路体外盛土 (W≧4.0)	m2	B7	-
法面整形工 盛土部(左)	m	BL1	-
法面整形工 盛土部(右)	m	BL2	-

※その他盛土は完成形数量にて計上

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土撤去	m2	C1	-



内訳	単位	数量
作業土工 (側溝)		
床掘り	m2	6.5
土砂	m2	0.7
埋戻し	m2	-
	m2	2.0
	m2	0.4

内訳	単位	数量
掘削(土砂)	m2	-
路体盛土	m2	42.5
路床盛土	m2	25.3
歩道盛土	m2	-
路肩盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	-
路体外盛土	m2	-
法面整形工	m	0.2
切土部(土砂)	m	-
盛土部	m	7.9
法面工	m	-
切土	m	-
盛土	m	7.5

DL=60.000

【2工区】	
工事番号	-
路線名	市道白石中央工業団地線
施工地名	白石市大平中目字南田 地内
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事
図面名	横断図 (3)
縮尺	S=1:500
位置	
設計年度	令和 年度
白石市	図番 15/30

※本図の標高は世界測地系(測地成果2011)を基準とした。

実施

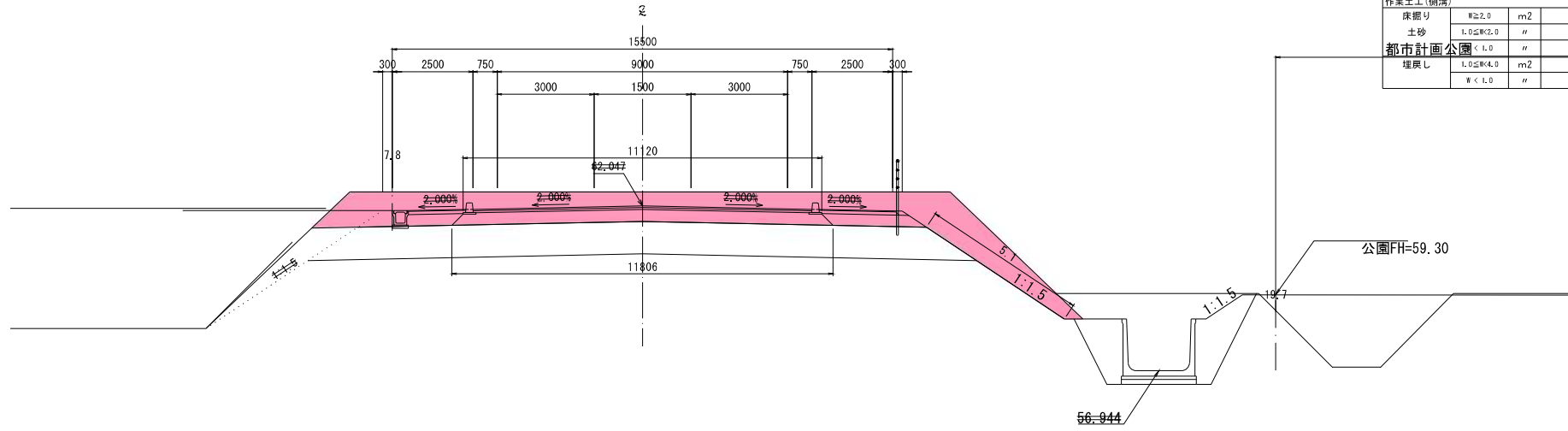
横断図 (4) S=1:100

NO. 11
GH=58.255 CA= 1.7
FH=62.047 BA= 89.2

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土路体1 (W≧4.0)	m2	B1	-
サーチャージ盛土路体2 (W≧4.0)	m2	B2	-
サーチャージ盛土路体2 (2.5≦W<4.0)	m2	B3	-
サーチャージ盛土路体2 (W<2.5)	m2	B4	-
路体盛土 (サンドマット)	m2	B5	-
サーチャージ盛土路床 (W≧4.0)	m2	B6	-
路体外盛土 (W≧4.0)	m2	B7	-
法面整形工 盛土部(左)	m	BL1	-
法面整形工 盛土部(右)	m	BL2	-

※その他盛土は完成形数量にて計上

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土撤去	m2	C1	-



内訳	単位	数量
作業土工(削溝)		
床掘り	m2	7.6
土砂	m2	-
埋戻し	m2	3.4

内訳	単位	数量
掘削(土砂)	m2	1.7
路体盛土	m2	63.4
路床盛土	m2	2.4
歩道盛土	m2	1.9
路肩盛土	m2	19.1
路体外盛土	m2	-
法面整形工	m	8.3
法面工	m	-

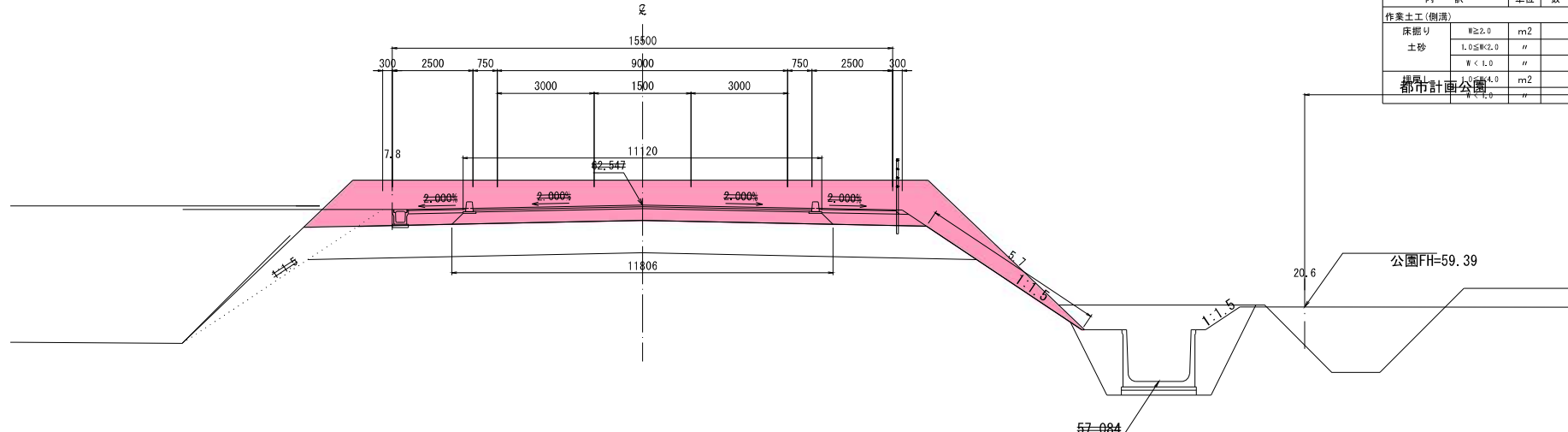
DL=55.000

NO. 10
GH=58.247 CA= 5.6
FH=62.547 BA= 91.5

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土路体1 (W≧4.0)	m2	B1	-
サーチャージ盛土路体2 (W≧4.0)	m2	B2	-
サーチャージ盛土路体2 (2.5≦W<4.0)	m2	B3	-
サーチャージ盛土路体2 (W<2.5)	m2	B4	-
路体盛土 (サンドマット)	m2	B5	-
サーチャージ盛土路床 (W≧4.0)	m2	B6	-
路体外盛土 (W≧4.0)	m2	B7	-
法面整形工 盛土部(左)	m	BL1	-
法面整形工 盛土部(右)	m	BL2	-

※その他盛土は完成形数量にて計上

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土撤去	m2	C1	-



内訳	単位	数量
作業土工(削溝)		
床掘り	m2	8.1
土砂	m2	-
埋戻し	m2	3.8

内訳	単位	数量
掘削(土砂)	m2	5.6
路体盛土	m2	67.2
路床盛土	m2	0.9
歩道盛土	m2	1.9
路肩盛土	m2	19.1
路体外盛土	m2	-
法面整形工	m	7.1
法面工	m	-

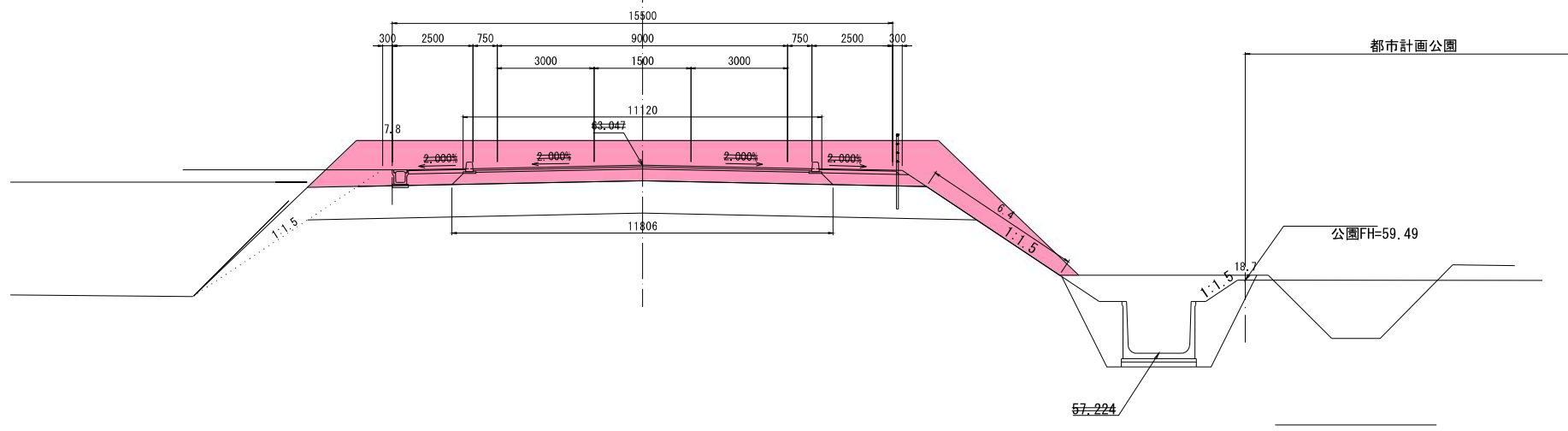
DL=55.000

NO. 9
GH=58.990 CA= 0.4
FH=63.047 BA= 92.1

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土路体1 (W≧4.0)	m2	B1	-
サーチャージ盛土路体2 (W≧4.0)	m2	B2	-
サーチャージ盛土路体2 (2.5≦W<4.0)	m2	B3	-
サーチャージ盛土路体2 (W<2.5)	m2	B4	-
路体盛土 (サンドマット)	m2	B5	-
サーチャージ盛土路床 (W≧4.0)	m2	B6	-
路体外盛土 (W≧4.0)	m2	B7	-
法面整形工 盛土部(左)	m	BL1	-
法面整形工 盛土部(右)	m	BL2	-

※その他盛土は完成形数量にて計上

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土撤去	m2	C1	-



内訳	単位	数量
作業土工(削溝)		
床掘り	m2	7.2
土砂	m2	-
埋戻し	m2	3.0

内訳	単位	数量
掘削(土砂)	m2	0.4
路体盛土	m2	66.5
路床盛土	m2	2.7
歩道盛土	m2	1.4
路肩盛土	m2	19.1
路体外盛土	m2	-
法面整形工	m	8.2
法面工	m	-

DL=55.000

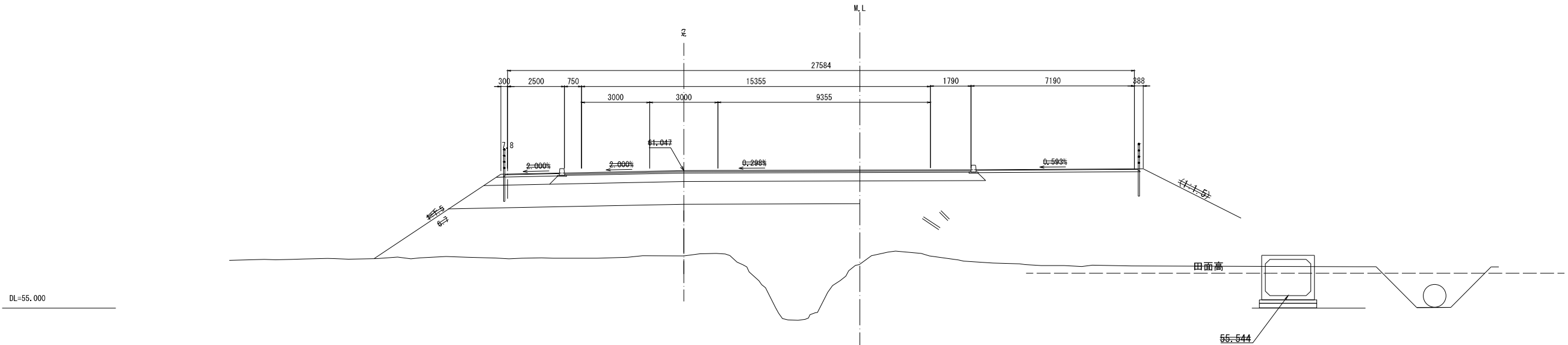
※本図の標高は世界測高系(測地成果2011)を基準とした。

【2工区】	
工事番号	-
路線名	市道白石中央工業団地線
施工地名	白石市大平中目字南田 地内
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線 ほか1路線道路整備工事
図面名	横断図(4)
縮尺	S=1:500
設計者	令和 年度
白石市	図番 16/30

実施

横断図 (5) S=1:100

NO. 13
GH=57.291
FH=61.047
CA= -
BA= -



DL=55.000

NO. 12
GH=57.078
FH=61.547
CA= -
BA= 103.7

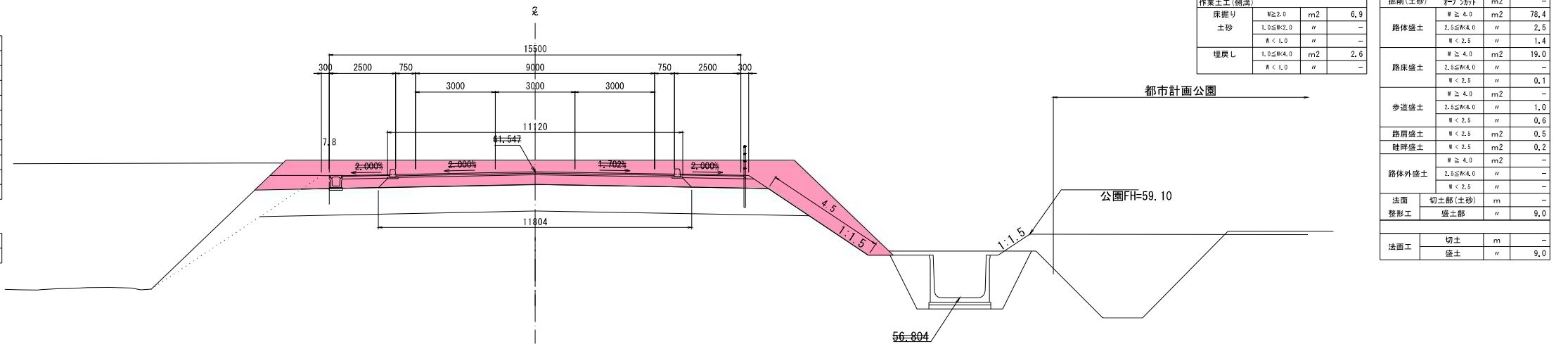
種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土路体1 (W≧4.0)	m2	B1	-
サーチャージ盛土路体2 (W≧4.0)	m2	B2	-
サーチャージ盛土路体2 (2.5≦W<4.0)	m2	B3	-
サーチャージ盛土路体2 (W<2.5)	m2	B4	-
路体盛土 (サンドマット)	m2	B5	-
サーチャージ盛土路床 (W≧4.0)	m2	B6	-
路体外盛土 (W≧4.0)	m2	B7	-
法面整形工 盛土部 (左)	m	BL1	-
法面整形工 盛土部 (右)	m	BL2	-

※その他盛土は完成形数量にて計上

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土撤去	m2	C1	-

DL=55.000

NO. 11
GH=57.151
FH=61.621
CA= -
BA= 105.6



KA 1-1 (NO. 11+17.022)
GH=57.151
FH=61.621
CA= -
BA= 105.6

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土路体1 (W≧4.0)	m2	B1	-
サーチャージ盛土路体2 (W≧4.0)	m2	B2	-
サーチャージ盛土路体2 (2.5≦W<4.0)	m2	B3	-
サーチャージ盛土路体2 (W<2.5)	m2	B4	-
路体盛土 (サンドマット)	m2	B5	-
サーチャージ盛土路床 (W≧4.0)	m2	B6	-
路体外盛土 (W≧4.0)	m2	B7	-
法面整形工 盛土部 (左)	m	BL1	-
法面整形工 盛土部 (右)	m	BL2	-

※その他盛土は完成形数量にて計上

種別	単位	記号	数量
サーチャージ盛土撤去	m2	C1	-

DL=55.000

内訳	単位	数量
作業土工 (側溝)		
床掘り	m2	6.9
土砂	m3	-
埋戻し	m3	2.6

内訳	単位	数量
掘削 (土砂)	m3	-
路体盛土	m2	78.4
路床盛土	m2	2.5
歩道盛土	m2	1.4
路肩盛土	m2	19.0
路体外盛土	m2	-
歩道盛土	m2	0.1
路肩盛土	m2	-
路体盛土	m2	1.0
路肩盛土	m2	0.6
路体盛土	m2	0.5
路肩盛土	m2	0.2
路体外盛土	m2	-
法面整形工	m	-
切土部 (土砂)	m	-
盛土部	m	9.0
法面工	m	-
切土	m	-
盛土	m	9.0

内訳	単位	数量
作業土工 (側溝)		
床掘り	m2	6.6
土砂	m3	-
埋戻し	m3	2.5

内訳	単位	数量
掘削 (土砂)	m3	-
路体盛土	m2	80.0
路床盛土	m2	3.1
歩道盛土	m2	-
路肩盛土	m2	19.1
路体外盛土	m2	-
歩道盛土	m2	1.0
路肩盛土	m2	0.6
路体盛土	m2	1.0
路肩盛土	m2	0.5
路体盛土	m2	0.2
路体外盛土	m2	-
法面整形工	m	-
切土部 (土砂)	m	-
盛土部	m	9.0
法面工	m	-
切土	m	-
盛土	m	9.0

【2工区】

工事番号	-
路線名	市道白石中央工業団地線
施工地名	白石市大平中目字南田 地内
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事
図面名	横断図 (5)
縮尺	S=1:500
設計年度	令和 年度
白石市	図番 17/30

※本図の標高は世界測地系(測地成果2011)を基準とした

実施

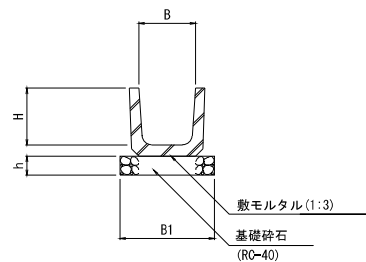
排水工詳細図

白石中央スマートインター線 A-1ランプ

A-1ランプ

U型側溝

US1-B()-H()

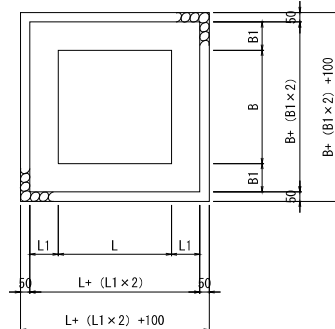


寸法表

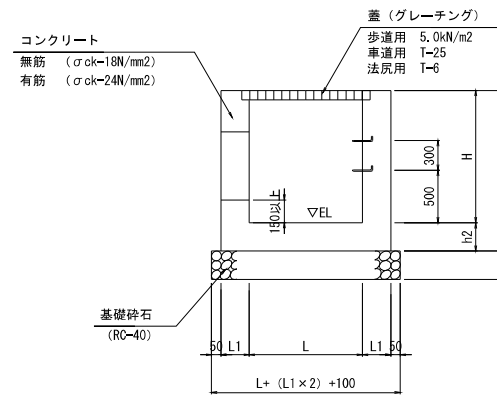
種別	B	H	B1	h	摘要
US1-B240-H240	240	240	-	-	タテ溝
US1-B300-H300	300	300	500	100	
US1-B450-H450	450	450	650	100	

集水樹

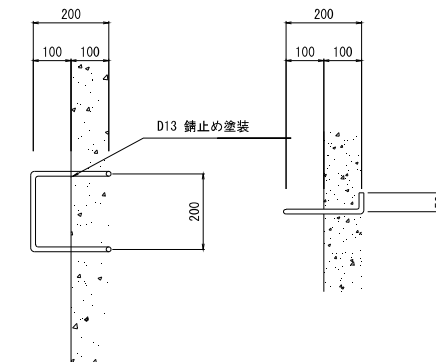
平面図



断面図



足掛金具詳細図



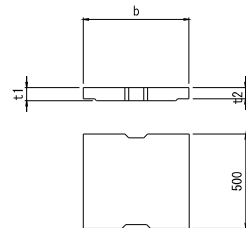
※ 足掛金具はH \geq 1.0mの場合に設置する。

集水樹一覧表

形状	B	L	H	B1	L1	h1	h2	足掛金具	摘要
SM-B500-L500-H600	500	500	600	150	150	150	150	-	
SM-B700-L700-H600	700	700	600	150	150	150	150	-	
SM-B1000-L3000-H2000	1000	3000	2000	200	200	200	200	5	有筋
SM-B1000-L3000-H2100	1000	3000	2100	200	200	200	200	6	有筋

U型側溝ふた

US1-B()

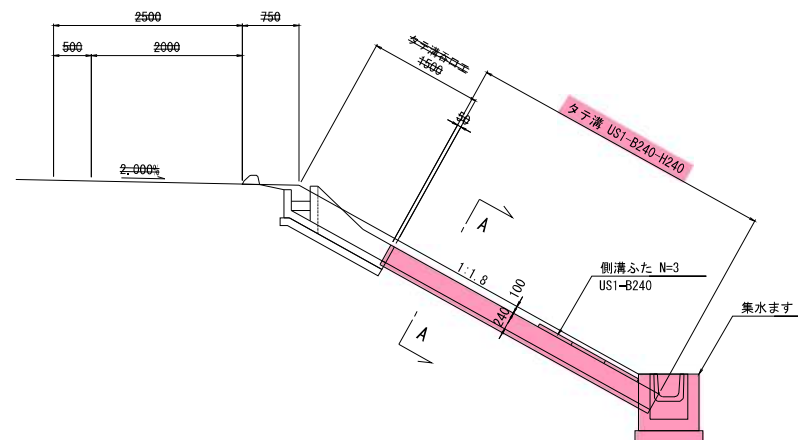


寸法表

種別	b	t1	t2	摘要
US1-B240	330	45	40	

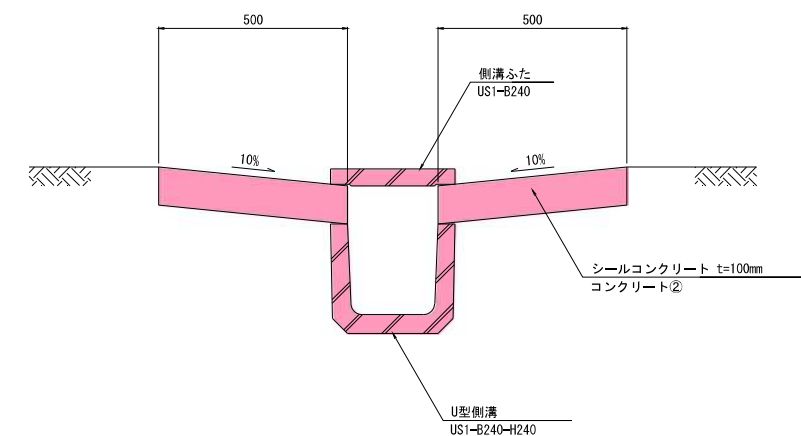
タテ溝工

側面図



A-A

S=1:10



設置一覧表

測点	LR	タテ溝 US1-B240-H240 (m)	側溝ふた US1-B240 (枚)	備考
1 STA. 0+40.0	L	7.00	3	
2 STA. 0+40.0	R	4.40	3	
合計		11.40	6	

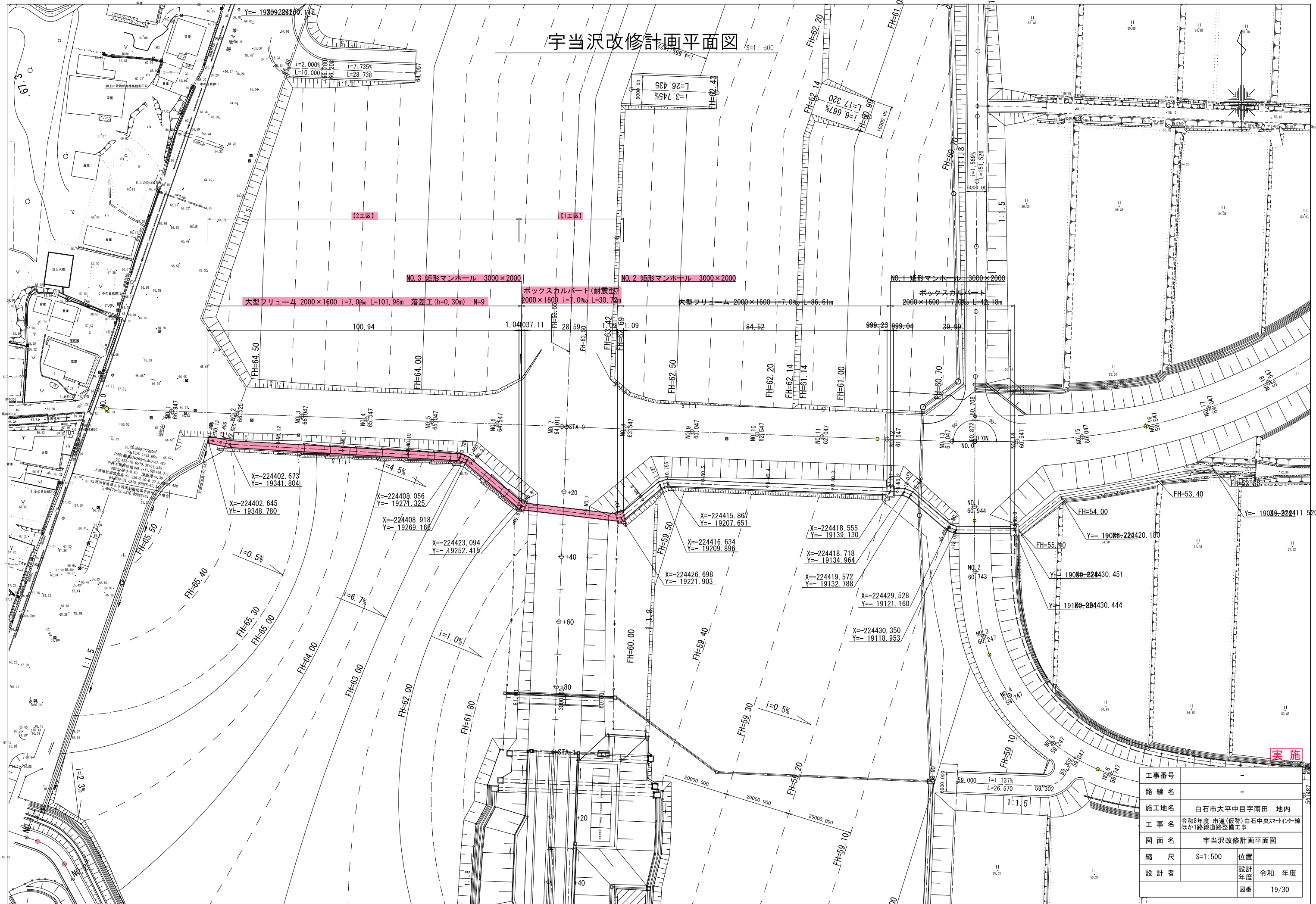
【1工区】

工事番号	-		
路線名	A-1ランプ		
施工地名	白石市大平中目字南田 地内		
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線 ほか1路線道路整備工事		
図面名	排水工詳細図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	令和 年度
白石市	図番	18/30	

実施

宇当沢改修計画平面図

S=1:500

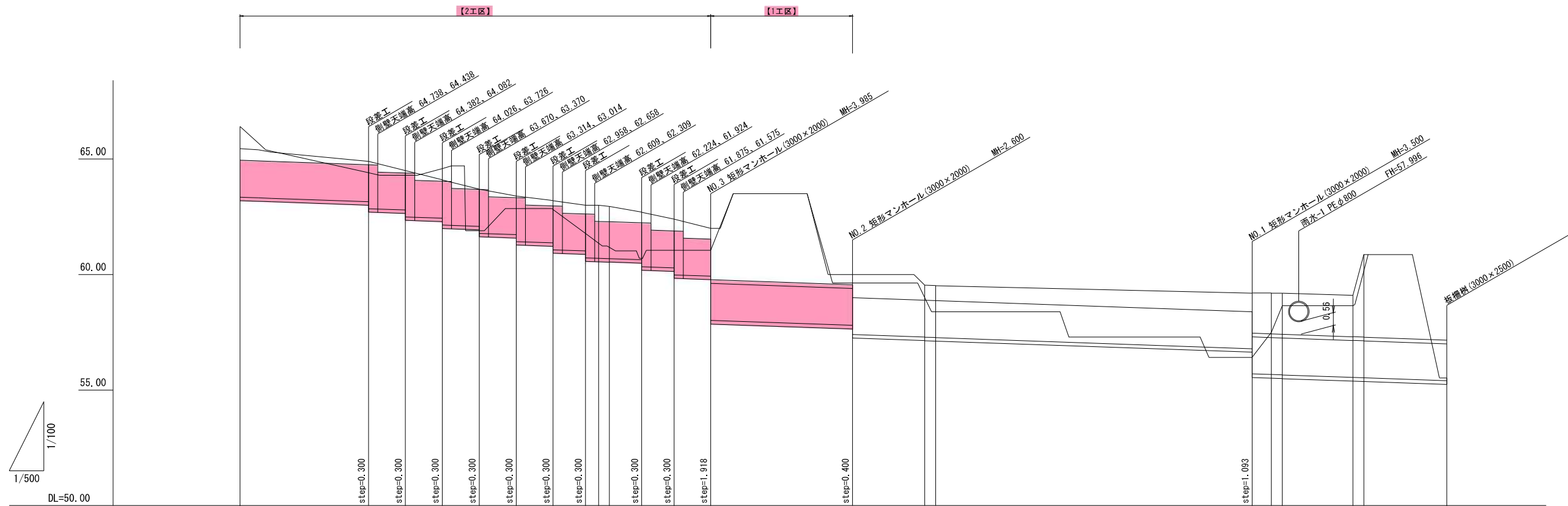


工事番号	-
路線名	-
施工地名	白石市大平中目字南田 地内
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スタートライン線ほか1路線道路整備工事
図面名	宇当沢改修計画平面図
縮尺	S=1:500
設計者	位置
設計年度	令和 年度
図番	19/30

実施

宇当沢改修計画縦断図

V=1:100 (A1) V=1: 200 (A3)
H=1:500 (A1) H=1:1000 (A3)

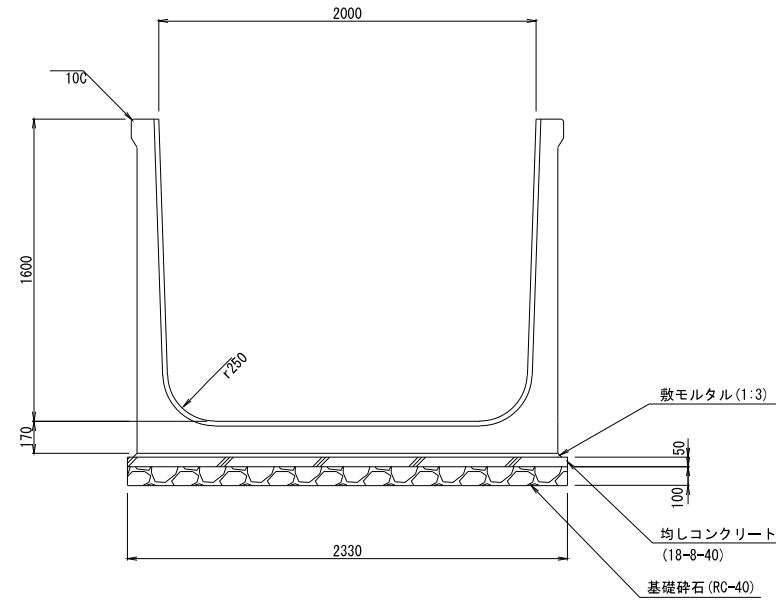


実施

工事番号	-		
路線名			
施工地名	白石市大平中目字南田 地内		
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線 ほか1路線道路整備工事		
図面名	宇当沢改修計画縦断図		
縮尺	V=1:100 H=1:500	位置	
設計者		設計年度	令和 年度
白石市	図番	20/30	

宇当沢大型フリーム標準図 S=1:20

(B) 2000 × (H) 1600



設計条件 (タイプ別)

内空幅	B = 2.000 m	
内空高	H = 1.600 m	
盛土	壁からの離れ	0.735 m
	盛土高	4.100 m
	法勾配	1 : 1.50
基礎形式	直接基礎	
地盤支持力度	qmax = 28 kN/m ²	

設計条件 (各タイプ共通)

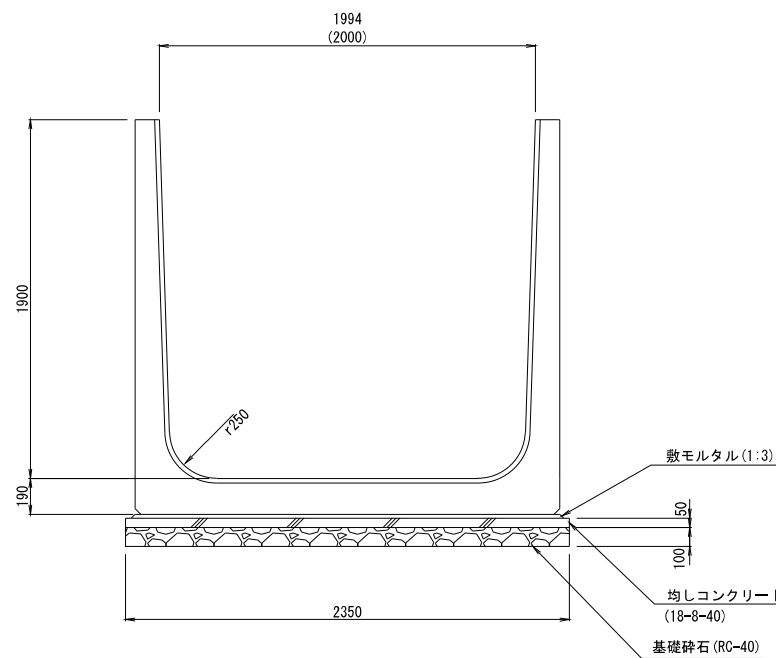
単位体積重量	湿潤土	19.0 kN/m ³
	水中土	10.0 kN/m ³
	水	9.8 kN/m ³
	鉄筋コンクリート	24.5 kN/m ³
	土の内部摩擦角	30°
	壁の傾斜角	90°
	土の傾斜角	0°
壁面摩擦角	20°	
主働土圧係数	クーロン土圧公式	
上載荷重	自動車荷重	10.0 kN/m ²
	群集荷重	5.0 kN/m ²
	雪荷重	考慮しない
主たる適用基準	土地改良事業計画設計基準 設計「水路工」基準書・技術書 (農林水産省農村振興局 平成26年 3月)	

※ 施工時に平板載荷試験等を行い、支持地盤が必要地耐力を有することを確認すること。

許容応力度 (各タイプ共通) 単位 (N/mm²)

コンクリートの許容圧縮応力度	σ_{ca}	11
鉄筋許容引張応力度 (SD295A)	σ_{sa}	157
鉄筋許容引張応力度 (SR235)	σ_{sa}	137
せん断応力度	τ_a	0.50
付着応力度	τ_{oa}	1.8

(B) 2000 × (H) 1900



設計条件 (タイプ別)

内空幅	B = 2.000 m	
内空高	H = 1.900 m	
盛土	壁からの離れ	0.700 m
	盛土高	1.965 m
	法勾配	1 : 1.50
基礎形式	直接基礎	
地盤支持力度	qmax = 34 kN/m ²	

設計条件 (各タイプ共通)

単位体積重量	湿潤土	19.0 kN/m ³
	水中土	10.0 kN/m ³
	水	9.8 kN/m ³
	鉄筋コンクリート	24.5 kN/m ³
	土の内部摩擦角	30°
	壁の傾斜角	90°
	土の傾斜角	0°
壁面摩擦角	20°	
主働土圧係数	クーロン土圧公式	
上載荷重	自動車荷重	10.0 kN/m ²
	群集荷重	5.0 kN/m ²
	雪荷重	考慮しない
主たる適用基準	土地改良事業計画設計基準 設計「水路工」基準書・技術書 (農林水産省農村振興局 平成26年 3月)	

※ 施工時に平板載荷試験等を行い、支持地盤が必要地耐力を有することを確認すること。

許容応力度 (各タイプ共通) 単位 (N/mm²)

コンクリートの許容圧縮応力度	σ_{ca}	11
鉄筋許容引張応力度 (SD295A)	σ_{sa}	157
鉄筋許容引張応力度 (SR235)	σ_{sa}	137
せん断応力度	τ_a	0.50
付着応力度	τ_{oa}	1.8

【2工区】

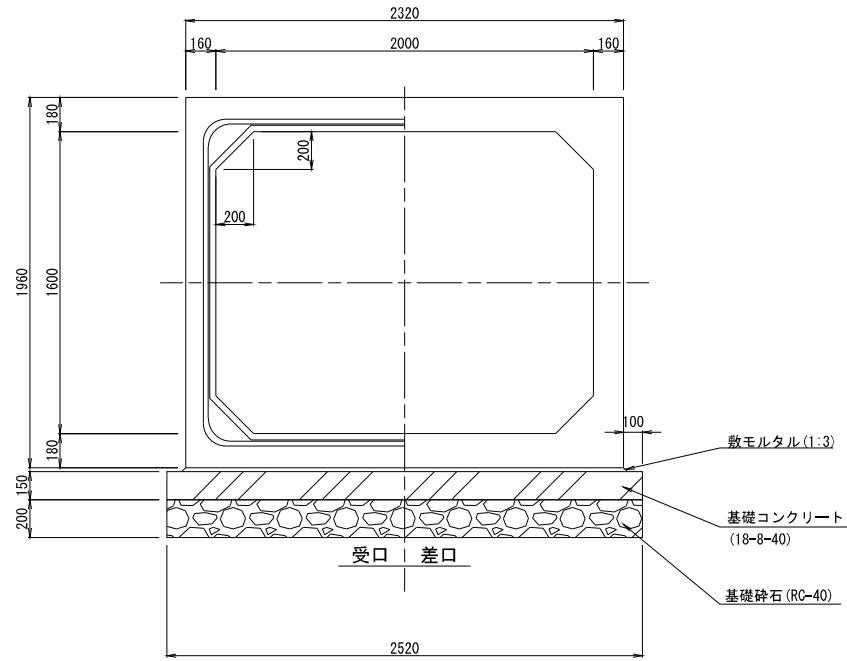
実施

工事番号	-		
路線名	-		
施工地名	白石市大平中目字南田 地内		
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線 ほか1路線道路整備工事		
図面名	宇当沢大型フリーム標準図		
縮尺	S=1:20	位置	
設計者		設計年度	令和 年度
白石市	図番	21/30	

宇当沢ボックスカルバート標準図

S=1:20 (A1) S=1:40 (A3)

【1工区】
(B) 2000 × (H) 1600 S=1:20



設計条件 (タイプ別)

内空幅	B = 2.000 m	
内空高	H = 1.600 m	
基礎形式	直接基礎	
設計土被り厚	h = 0.420 m	h = 3.846 m
最大地盤反力度	qmax = 73 kN/m ²	qmax = 112 kN/m ²

設計条件 (各タイプ共通)

鉛直荷重	土 圧	鉛直土圧係数 α=1.0
	活 荷 重	T-25荷重
水平荷重	土 圧	静止土圧係数 ko=0.5
	過 載 荷 重	q = 10 kN/m ²
単位体積重量	土 砂	19.0 kN/m ³
	鉄筋コンクリート	24.5 kN/m ³
	アスファルト舗装	22.5 kN/m ³
	水	9.8 kN/m ³
衝撃係数	i = 0.3 (h < 4m)	
温度変化	頂版は考慮する	
雪 荷 重	考慮しない	
耐震レベル	1.2	
主たる適用基準	(常時) 土工指針(H21) (地震時) 下水道施設2014	

※ 施工時に平板載荷試験等を行い、支持地盤が必要地耐力を有することを確認すること。

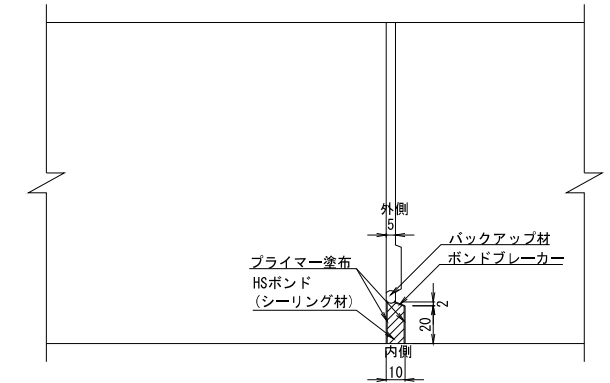
材料強度 (各タイプ共通) 単位(N/mm²)

コンクリート	常 時	地震時
設計基準強度	σ _{ck}	35.0
許容曲げ圧縮応力度	σ _{ca}	11.67
許容軸圧縮応力度	σ _{ca}	9.92
許容せん断応力度	τ _{a1}	0.258
	τ _{a2}	2.150
許容付着応力度	τ _{oa}	1.900

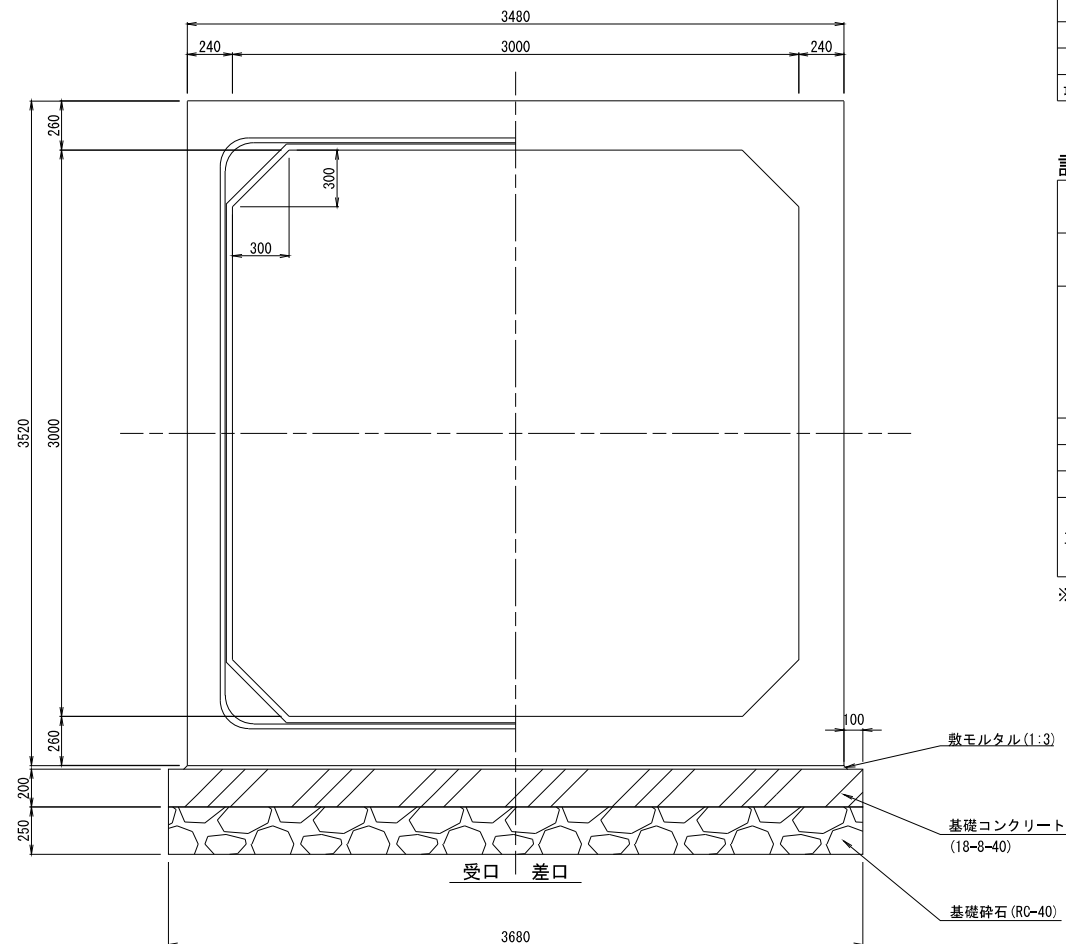
※ τ_{a1}: コンクリートのみでせん断力を負担する場合
※ τ_{a2}: 斜引張鉄筋と共同して負担する場合

鉄 筋 (SD295)	常 時	地震時
許容引張応力度	σ _{sa}	160.0
許容圧縮応力度	σ _{sa}	160.0

耐震継手詳細図 S=1:2



【2工区】
(B) 3000 × (H) 3000 S=1:20



設計条件 (タイプ別)

内空幅	B = 3.000 m	
内空高	H = 3.000 m	
基礎形式	直接基礎	
設計土被り厚	h = 0.000 m	
最大地盤反力度	qmax = 54 kN/m ²	

設計条件 (各タイプ共通)

鉛直荷重	土 圧	鉛直土圧係数 α=1.0~1.6
	群 集 荷 重	q = 5 kN/m ²
水平荷重	土 圧	静止土圧係数 k=0.5
	過 載 荷 重	q = 5 kN/m ²
単位体積重量	土(地下水位以上)	19.0 kN/m ³
	土(地下水位以下)	10.0 kN/m ³
	鉄筋コンクリート	24.5 kN/m ³
	アスファルト舗装	22.5 kN/m ³
	水	9.8 kN/m ³
衝撃係数	i = 0.3 (h < 4m)	
温度変化	考慮しない	
雪 荷 重	考慮しない	
主たる適用基準	土木構造物標準設計第1巻解説書(H12) コンクリート標準示方書(2002)構造性能照査編 道路土工・カルバート工指針(H22)	

※ 施工時に平板載荷試験等を行い、支持地盤が必要地耐力を有することを確認すること。

許容応力度 (各タイプ共通) 単位(N/mm²)

主鉄筋許容引張応力度(SD295A)	σ _{sa}	160.0
コンクリートの許容圧縮応力度	σ _{ca}	14.0

実施

工事番号	-		
路線名	-		
施工地名	白石市大平中目字南田 地内		
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事		
図面名	宇当沢ボックスカルバート標準図		
縮 尺	図 示	位置	
設計者		設計年度	令和 年度
白石市	図番	22/30	

NO.2 宇当沢マンホール(矩形3000×2000)構造図 S=1:30

設計条件 (タイプ別)

内空幅	3000×2000 mm
内空高	2740 mm
基礎形式	直接基礎
設計土被り厚	H' = 0.060 m
底板反力	57 kN/m ²

設計条件 (各タイプ共通)

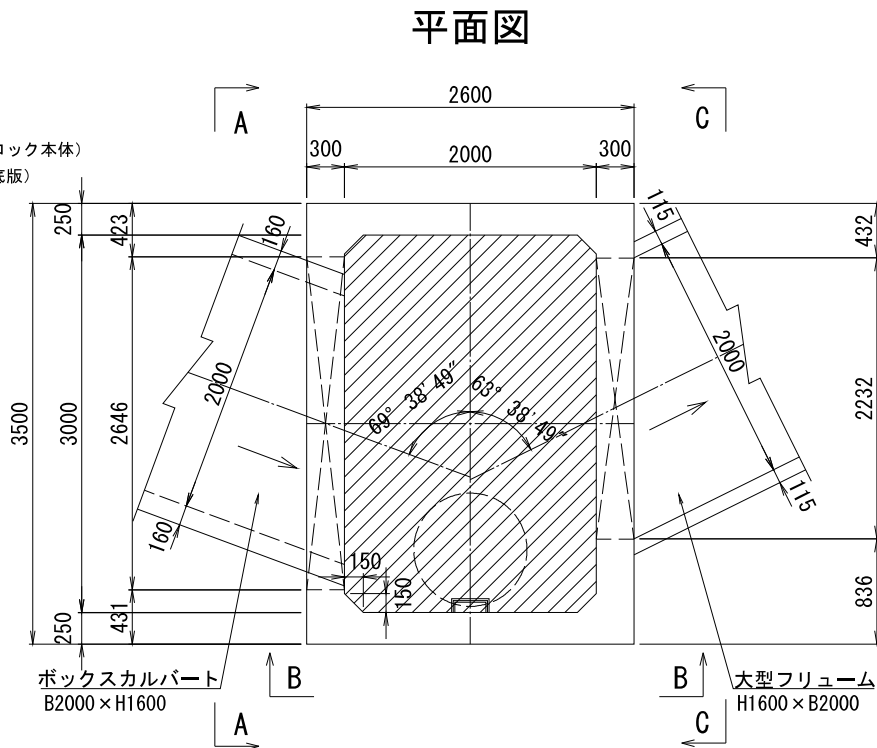
鉛直荷重	土圧	鉛直土圧係数 α=1.0
	活荷重	T-25荷重
水平荷重	土圧	静止土圧係数 Ka=0.5
	過載荷重	q = 10 kN/m ²
単位体積重量	湿潤土	19.0 kN/m ³
	水中土	10.0 kN/m ³
	鉄筋コンクリート	24.5 kN/m ³
	水	10.0 kN/m ³
衝撃係数	i = 0.3 (h<4m)	

※ 施工時に平板載荷試験等を行い、支持地盤が必要耐力を有することを確認すること。

材料強度 (各タイプ共通) 単位 (N/mm²)

コンクリート		
設計基準強度	σ _{ck}	40
許容圧縮応力度	σ _{ca}	14
基準の許容せん断応力度	τ _{a1}	0.27
許容せん断応力度	τ _a	0.55
鉄筋 (SD295)		
許容引張応力度	σ _{sa}	160

(角形ブロック本体)
(頂版、底板)



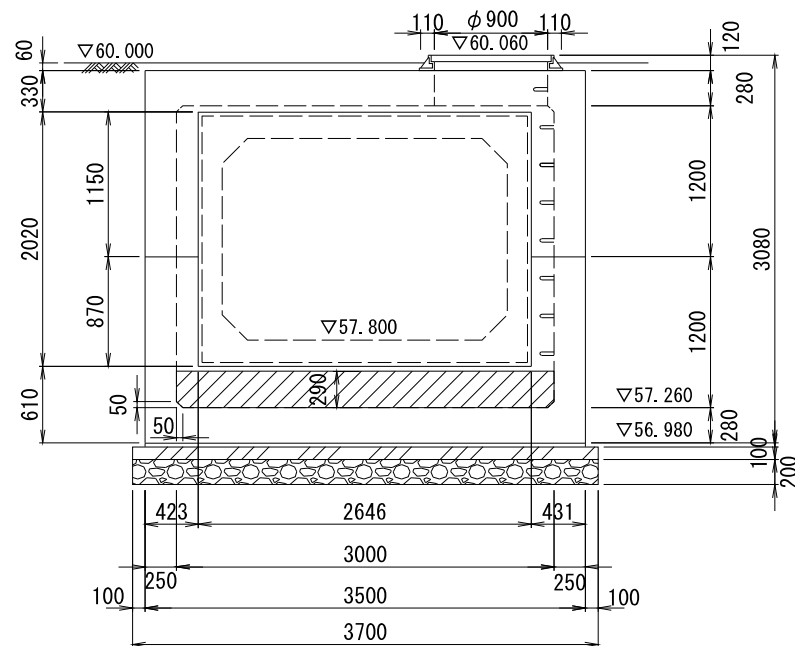
地下水位: 考慮しない (地下水位位置▽55.530)

※ 流入・流出管の角度はCADより

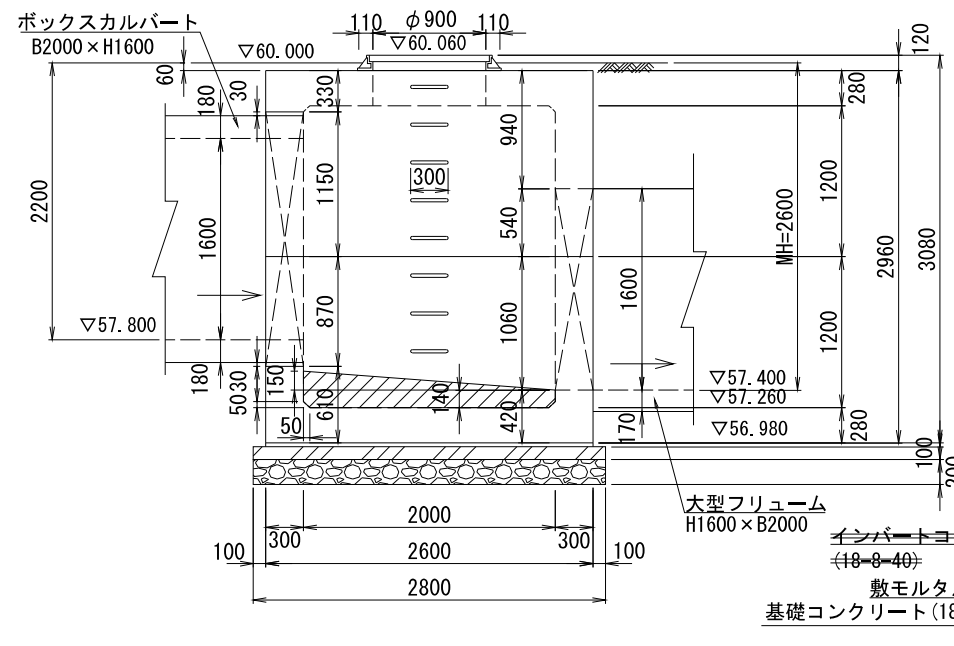
	高さ (mm)	質量 (ton)
頂版付直壁	1200	15.64
底板付管取付壁	1200	15.84

※ 製品質量は開口を考慮しない値とする。

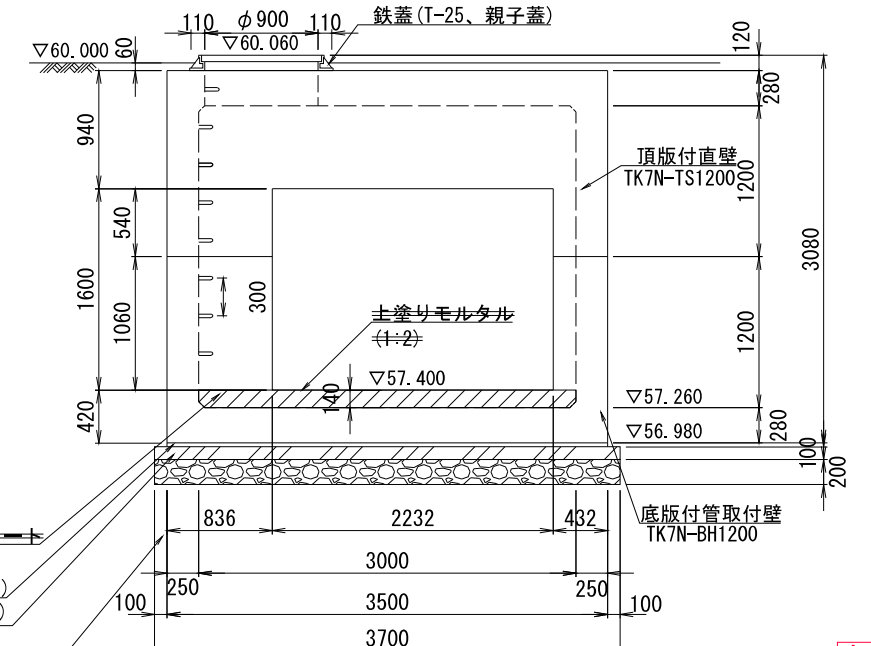
A-A



B-B



C-C



実施

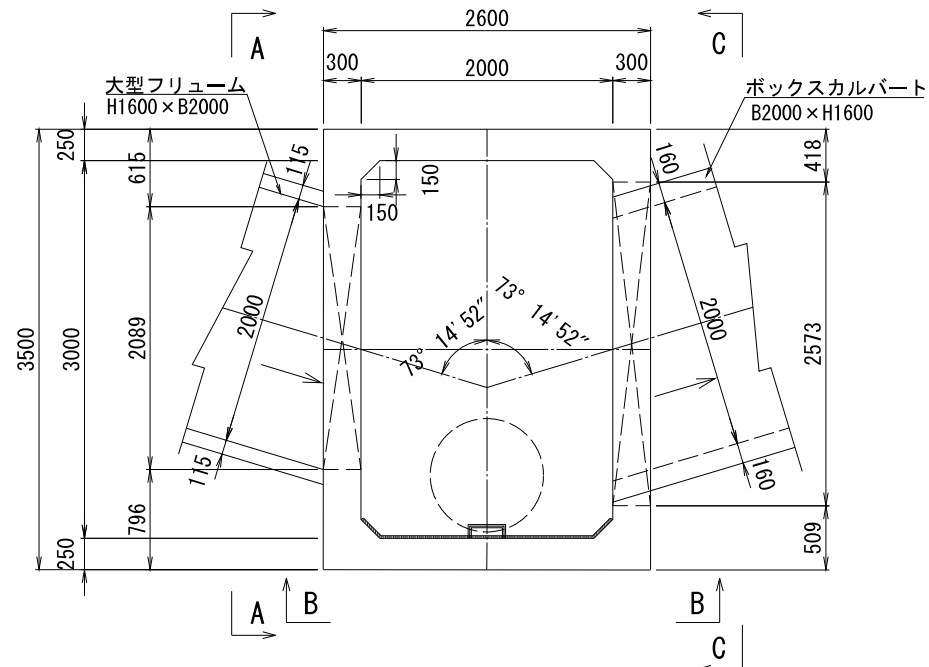
【1工区】		
工事番号	-	
路線名	-	
施工地名	白石市大平中目字南田 地内	
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線 ほか1路線道路整備工事	
図面名	NO.2宇当沢マンホール (矩形3000×2000)構造図	
縮尺	S=1:30	位置
設計者	設計年度	令和 年度
白石市	図番	23/30

NO.3 宇当沢マンホール(矩形3000×2000)構造図 S=1:30

設計条件 (タイプ別)

内空幅	3000×2000 mm
内空高	4290 mm
基礎形式	直接基礎
設計土被り厚	H' = 0.110 m
底板反力	71 kN/m ²

平面図



設計条件 (各タイプ共通)

鉛直荷重	土圧	鉛直土圧係数 α=1.0
	活荷重	T-25荷重
水平荷重	土圧	静止土圧係数 Ka=0.5
	過載荷重	q = 10 kN/m ²
単位体積重量	湿潤土	19.0 kN/m ³
	水中土	10.0 kN/m ³
	鉄筋コンクリート	24.5 kN/m ³
	水	10.0 kN/m ³
衝撃係数	i = 0.3 (h<4m)	

材料強度 (各タイプ共通) 単位(N/mm²)

コンクリート			
設計基準強度	σ _{ck}	40	
許容圧縮応力度	σ _{ca}	14	
基準の許容せん断応力度	τ _{al}	0.27	(角形ブロック本体)
許容せん断応力度	τ _a	0.55	(頂版、底板)
鉄筋 (SD295)			
許容引張応力度	σ _{sa}	160	

※ 施工時に平板載荷試験等を行い、支持地盤が必要地耐力を有することを確認すること。

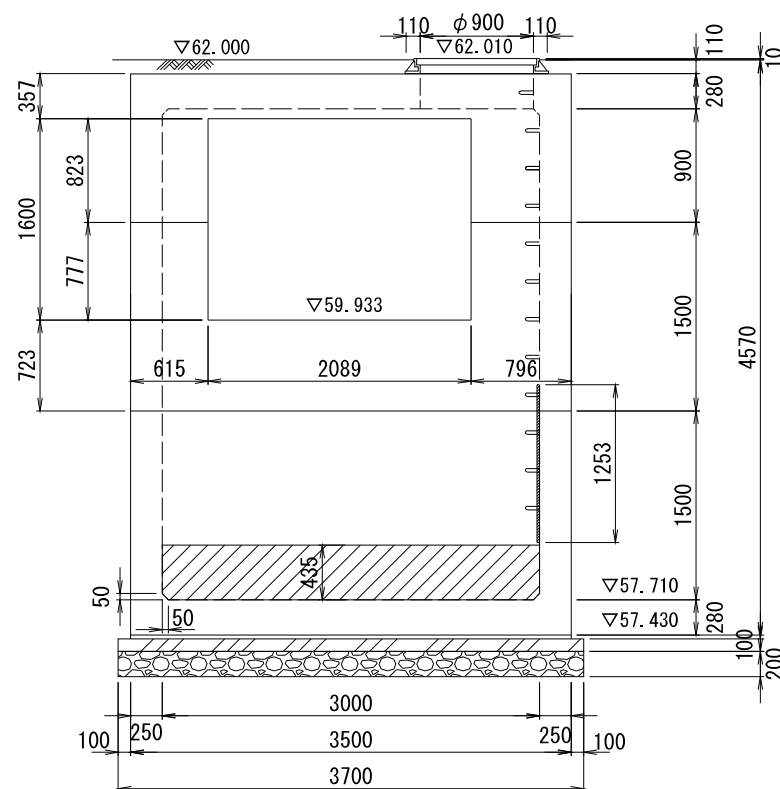
地下水位：考慮しない (地下水位位置▽55.530)

※流入・流出管の角度はCADより

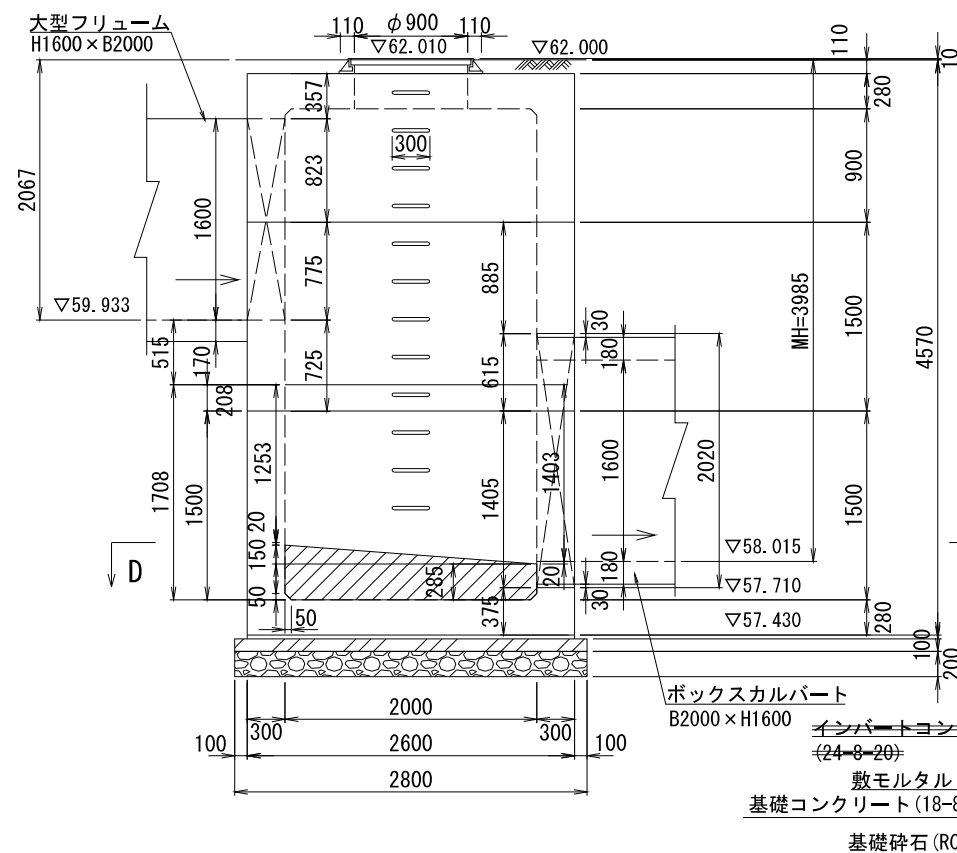
	高さ (mm)	質量 (ton)
頂版付直壁	900	13.28
直壁	1500	11.79
底板付管取付壁	1500	18.19

※製品質量は開口を考慮しない値とする。

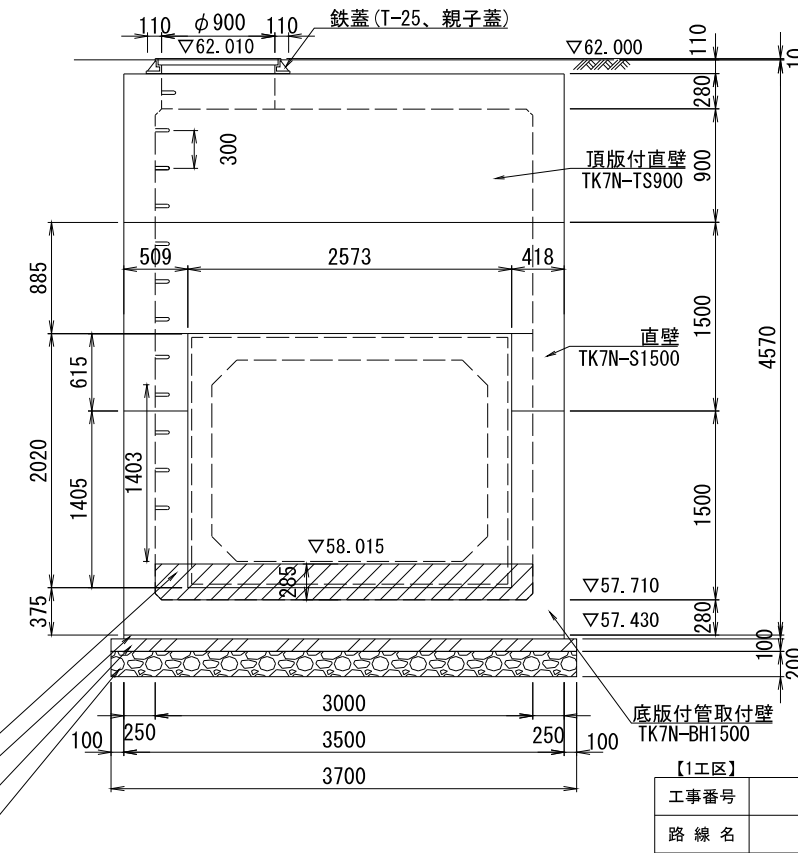
A-A



B-B



C-C

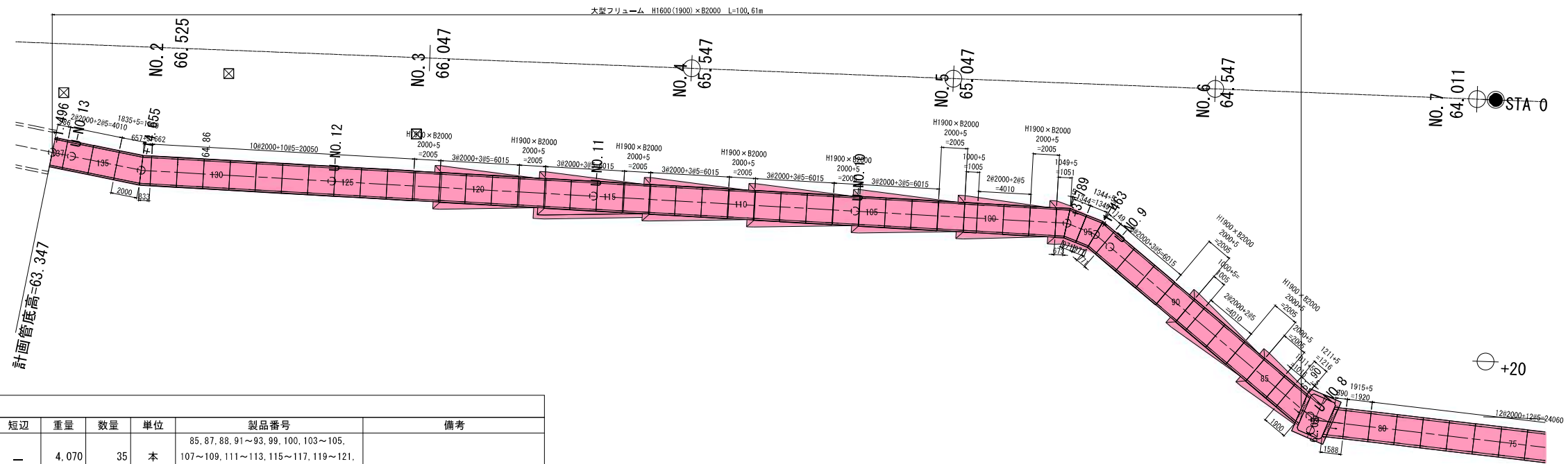


実施

【1工区】			
工事番号	-		
路線名	-		
施工地名	白石市大平中目字南田 地内		
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事		
図面名	NO.3宇当沢マンホール(矩形3000×2000)構造図		
縮尺	S=1:30	位置	
設計者		設計年度	令和 年度
白石市	図番	24/30	

宇当沢構造物割付図(1) S=1:250

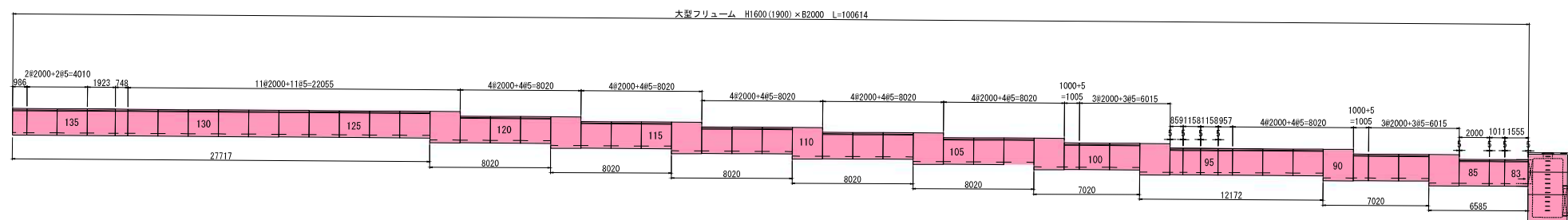
平面図



大型フリューム 数量表

名称・規格	種別	長辺	有効長	短辺	重量	数量	単位	製品番号	備考
B2000×H1600	標準品	—	2000	—	4,070	35	本	85, 87, 88, 91~93, 99, 100, 103~105, 107~109, 111~113, 115~117, 119~121, 123~132, 135, 136	
	短尺	—	986	—	—	1	本	137	
	短尺	—	1000	—	2,040	2	本	89, 101	
	短尺	—	1011	—	2,060	1	本	84	
	片斜切	1900	1556	1211	3,170	1	本	83	
	片斜切	1149	960	771	1,950	1	本	94	
	片斜切	1344	1158	971	2,360	2	本	95~96	
	片斜切	1049	861	673	1,750	1	本	97	
	片斜切	833	745	657	—	1	本	133	
	片斜切	2000	1918	1835	—	1	本	134	
						計			46 本
B2000×H1900	標準品	—	2000	—	4,960	9	本	86, 90, 98, 102, 106, 110, 114, 118, 122	落差工用、B2000×H2000加工品
						計			9 本
						合計			55 本

縦断図 (落差工)

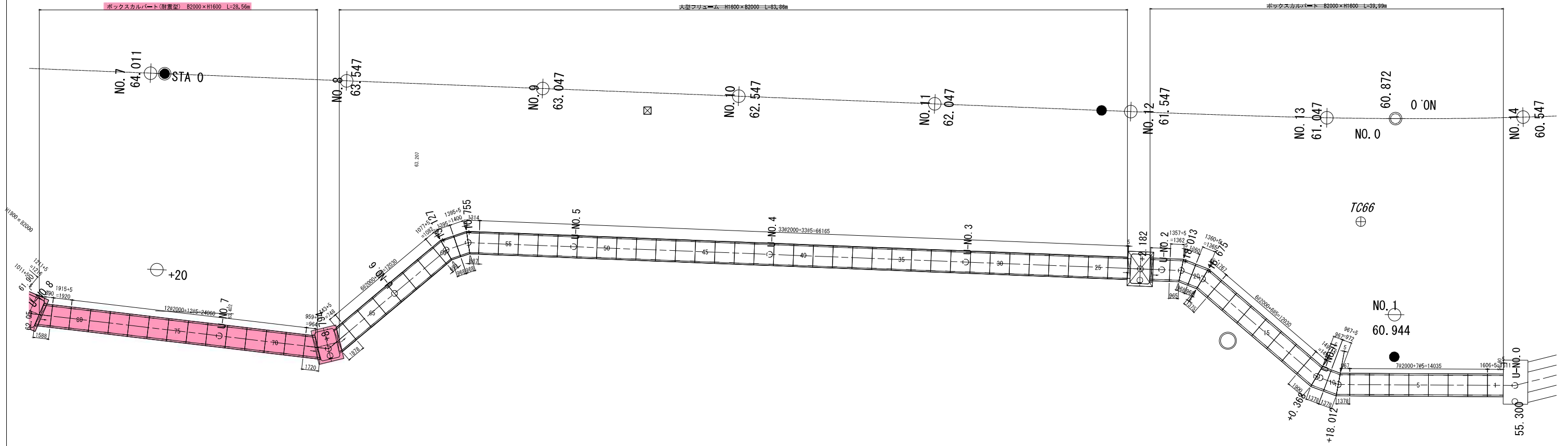


実施

【2工区】		
工事番号	-	
路線名	-	
施工地名	白石市大平中目字南田 地内	
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線ほか1路線道路整備工事	
図面名	宇当沢構造物割付図(1)	
縮尺	S=1:250	位置
設計者		設計年度
白石市	図番	令和 年度
		25/30

宇当沢構造物割付図(2) S=1:250

平面図



RCボックスカルバート 数量表

名称・規格	種別	長辺	有効長	短辺	重量	数量	単位	製品番号	備考
B2000×H1600	標準品	—	2000	—	7.140	12	本	69~80	
	短尺	—	1.915	—	6.840	1	本	81	
	片斜切	1720	1340	959	4.780	1	本	68	
	片斜切	1588	1239	890	4.420	1	本	82	
						計	本		

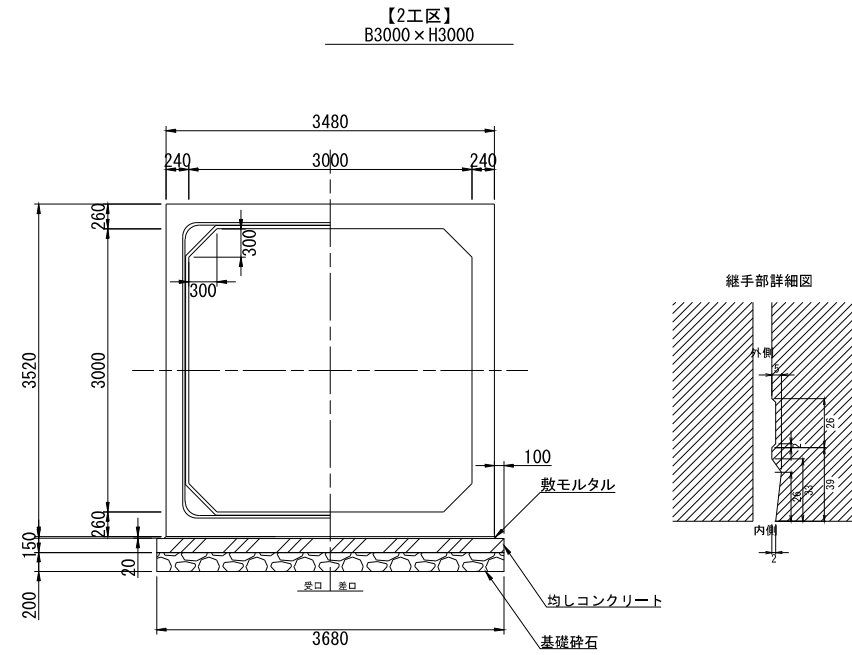
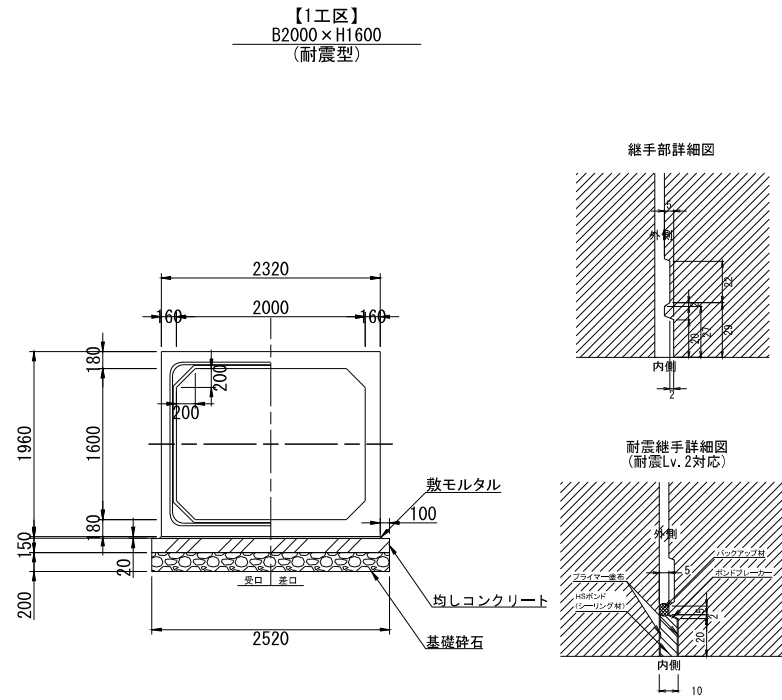
【1工区】

実施

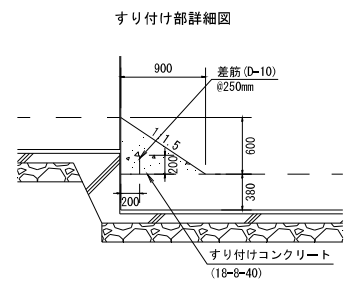
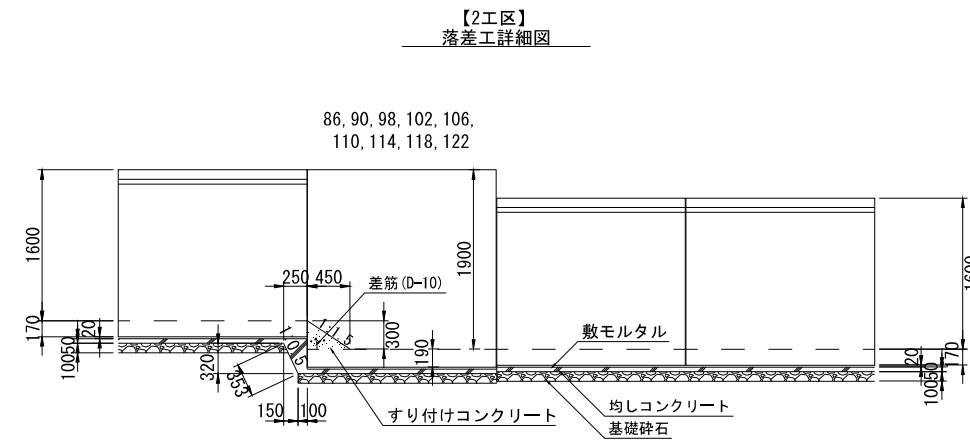
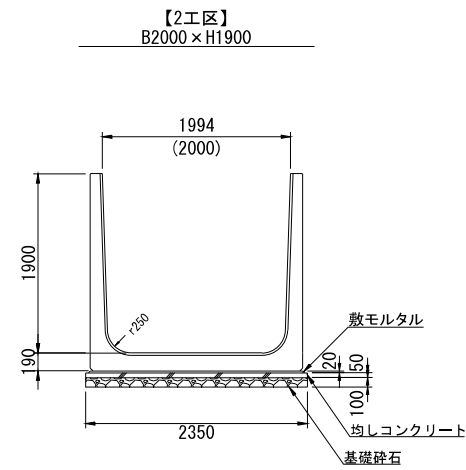
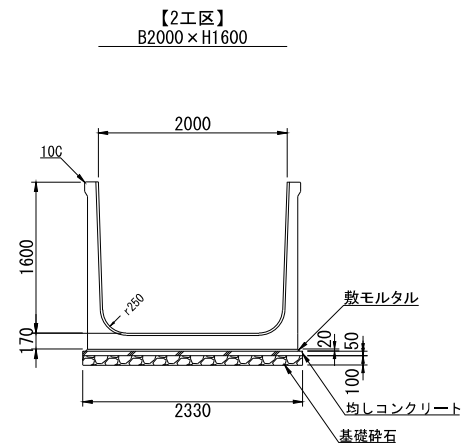
工事番号	-		
路線名	-		
施工地名	白石市大平中目字南田 地内		
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線 ほか1路線道路整備工事		
図面名	宇当沢構造物割付図(2)		
縮尺	S=1:250	位置	
設計者		設計年度	令和 年度
白石市	図番	26/30	

標準断面図

ボックスカルバート



大型フリーム

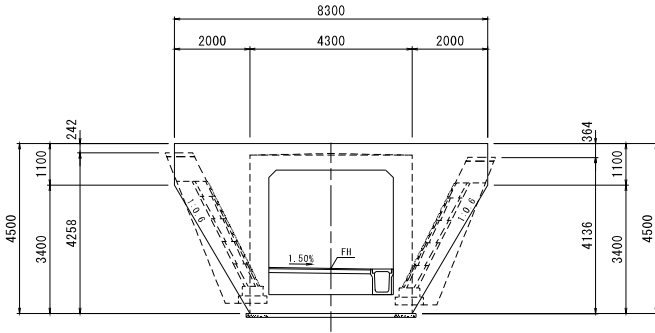


実施

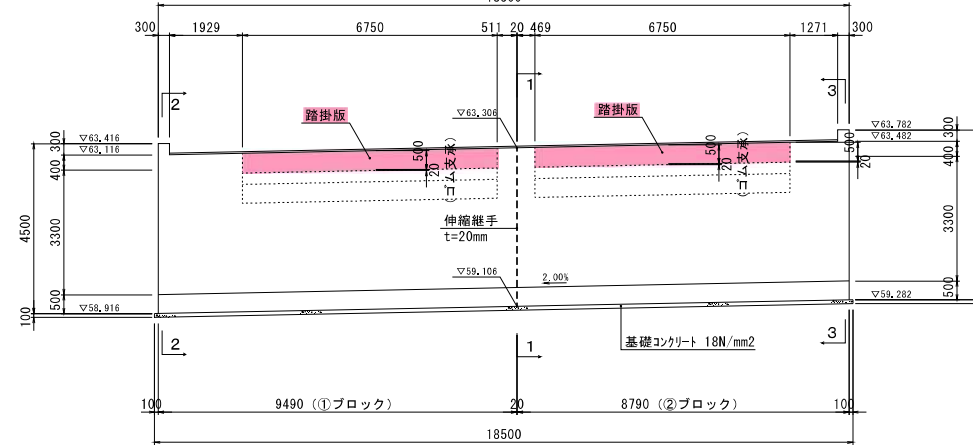
工事番号	-
路線名	-
施工地名	白石市大平中目字南田 地内
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線 ほか1路線道路整備工事
図面名	宇当沢構造物割付図(3)
縮尺	S=1:40
設計者	位置 令和 年度
白石市	図番 27/30

人道函渠工構造図 S=1:100

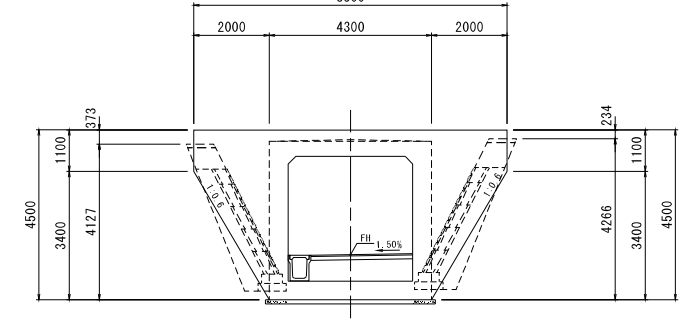
左口翼壁正面図
2-2



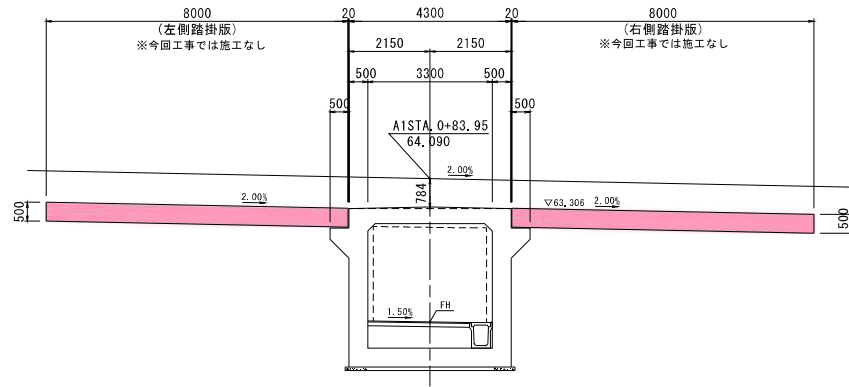
側面図



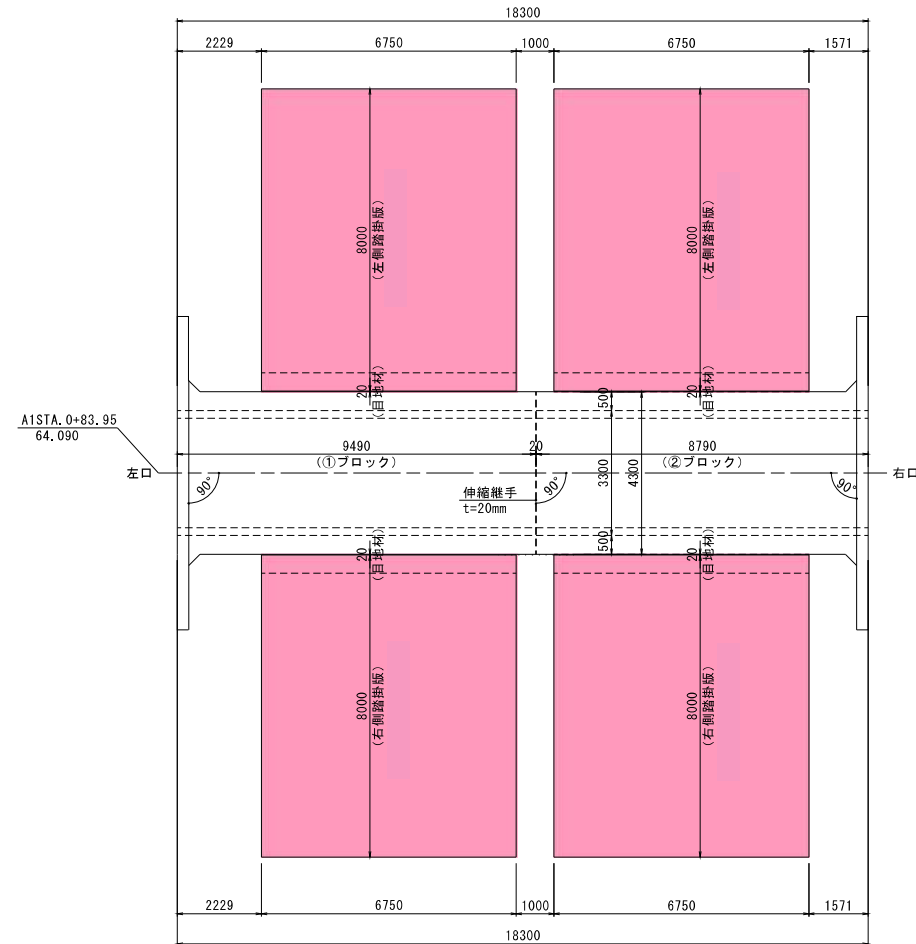
右口翼壁正面図
3-3



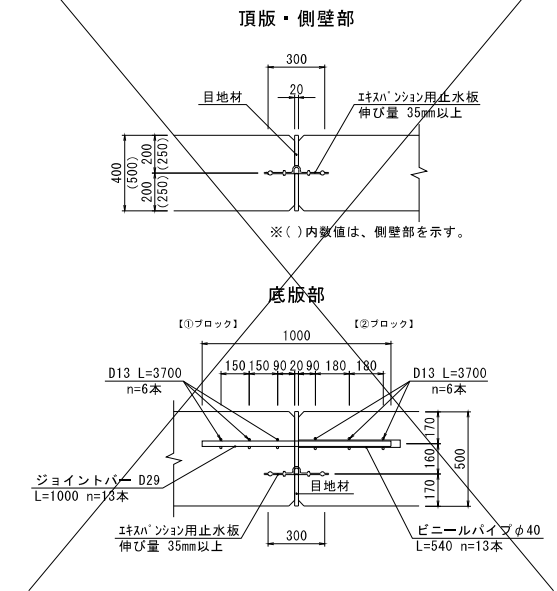
函渠断面図
1-1



平面図



伸縮継手詳細図 S=1:20



実施

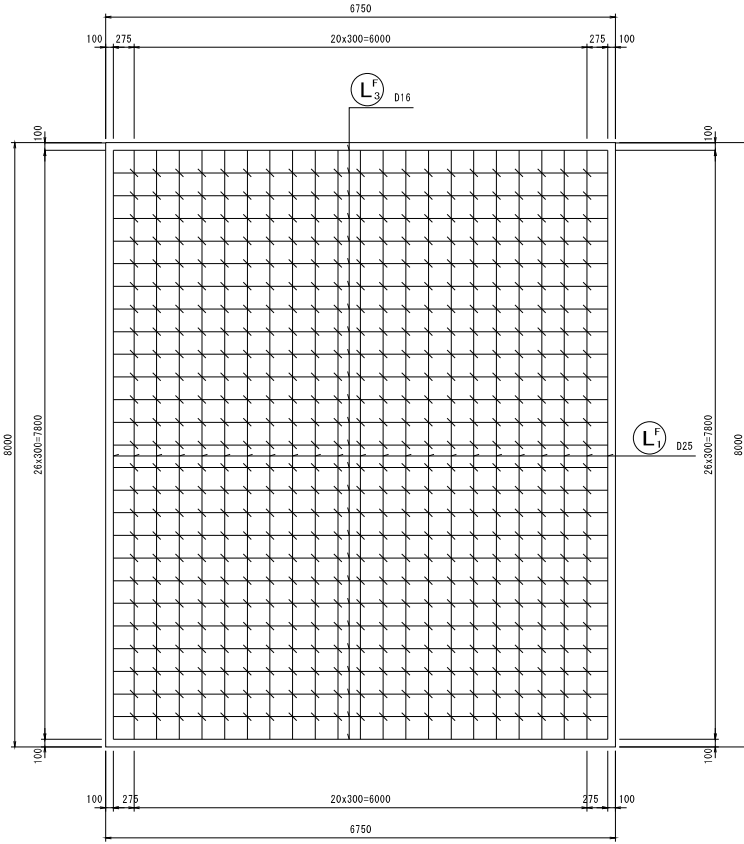
工事番号	-
路線名	-
施工地名	白石市大平中目字南田 地内
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線 ほか1路線道路整備工事
図面名	人道函渠工構造図
縮尺	S=1:100
設計者	位置
設計年度	令和 年度
白石市	図番 28/30

踏掛版配筋図(その1)

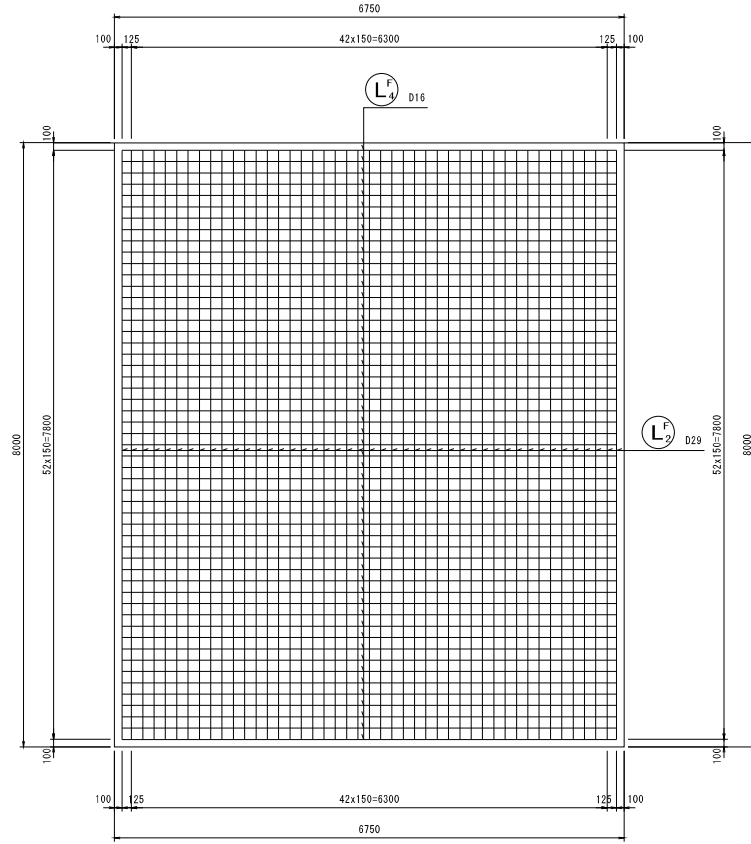
【左側踏掛版】

S=1:50

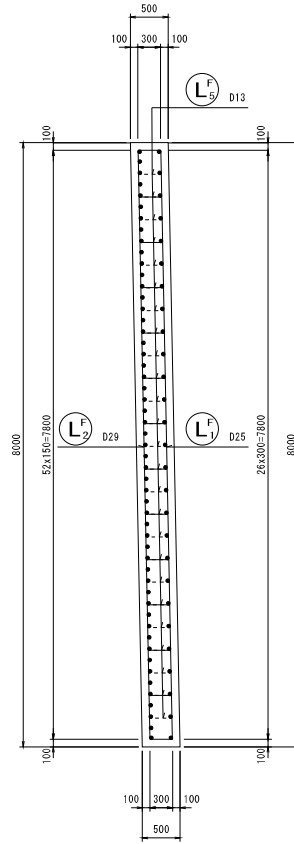
踏掛版上面図
1-1



踏掛版下面図
2-2



踏掛版側面図
4-4

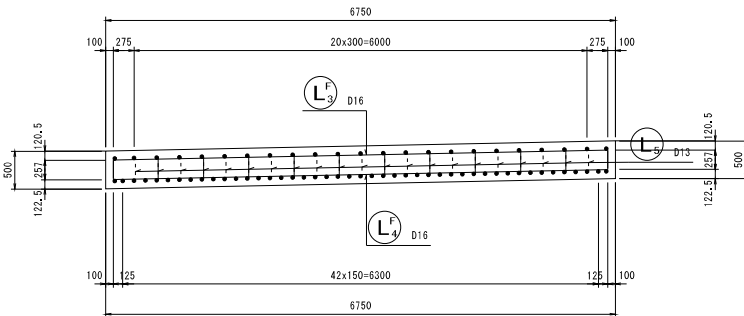


左側踏掛版鉄筋質量表 (SD345)

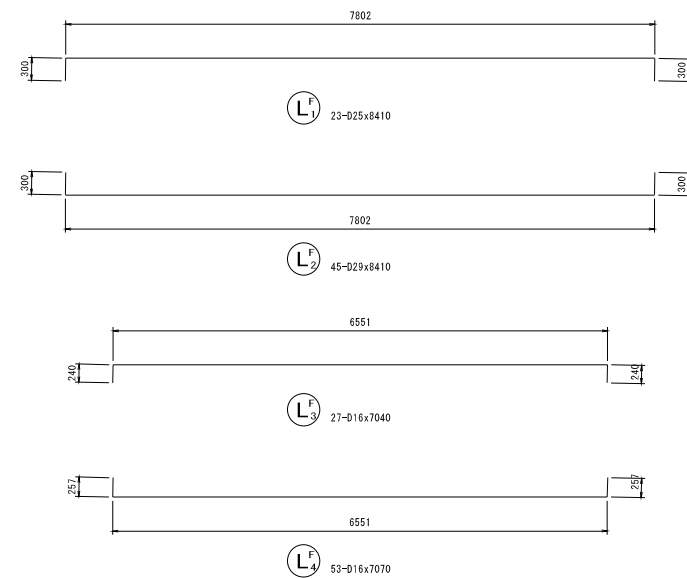
(一基当たり)

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	概要
LF-1	D25	8410	23	3.98	33.47	770	┌
LF-2	D29	8410	45	5.04	42.39	1908	┌
LF-3	D16	7040	27	1.56	10.98	296	┌
LF-4	D16	7070	53	1.56	11.03	585	┌
LF-5	D13	730	525	0.995	0.73	383	┌
						D29	1908 kg
						D25	770 kg
						D16	881 kg
						D13	383 kg
						合計	3942 kg

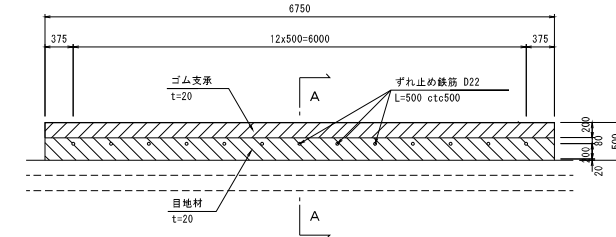
踏掛版断面図
3-3



加工図

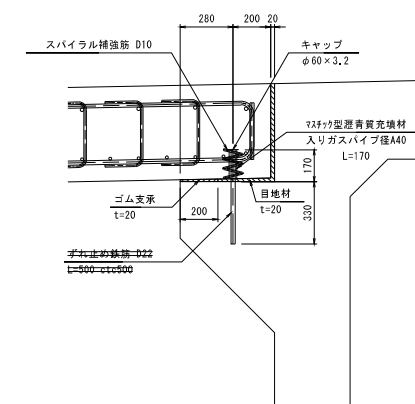


踏掛版受台平面図



踏掛版受台断面詳細図
(A-A)

S=1:20



【1工区】

工事番号	-		
路線名	A-1ランプ		
施工地名	白石市大平中目字南田 地内		
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線 ほか1路線道路整備工事		
図面名	踏掛版配筋図(その1)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	令和 年度
白石市	図番	29/30	

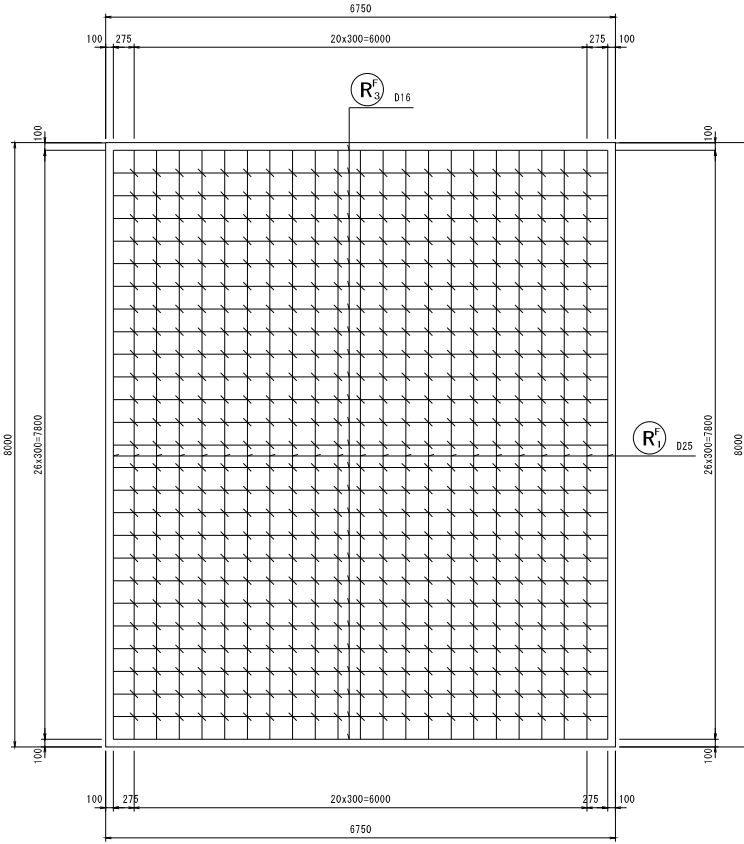
実施

踏掛版配筋図(その2)

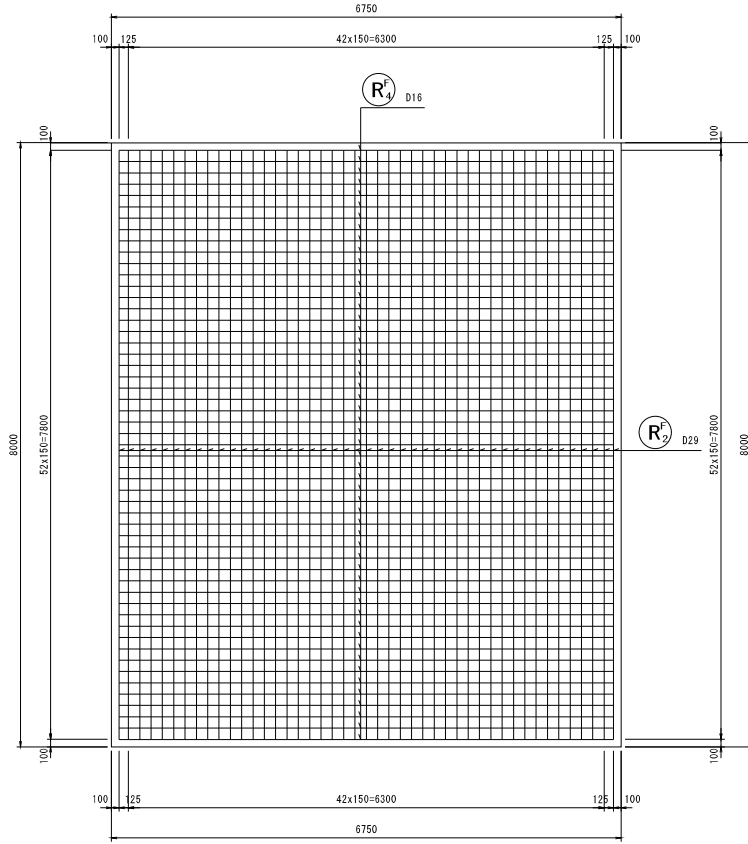
S=1:50

【右側踏掛版】

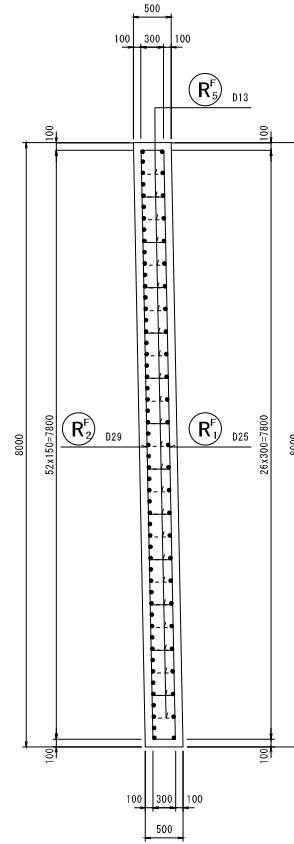
踏掛版上面図
1-1



踏掛版下面図
2-2



踏掛版側面図
4-4

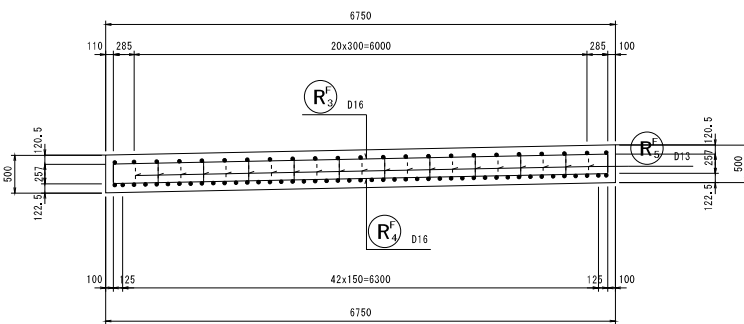


右側踏掛版鉄筋質量表 (SD345)

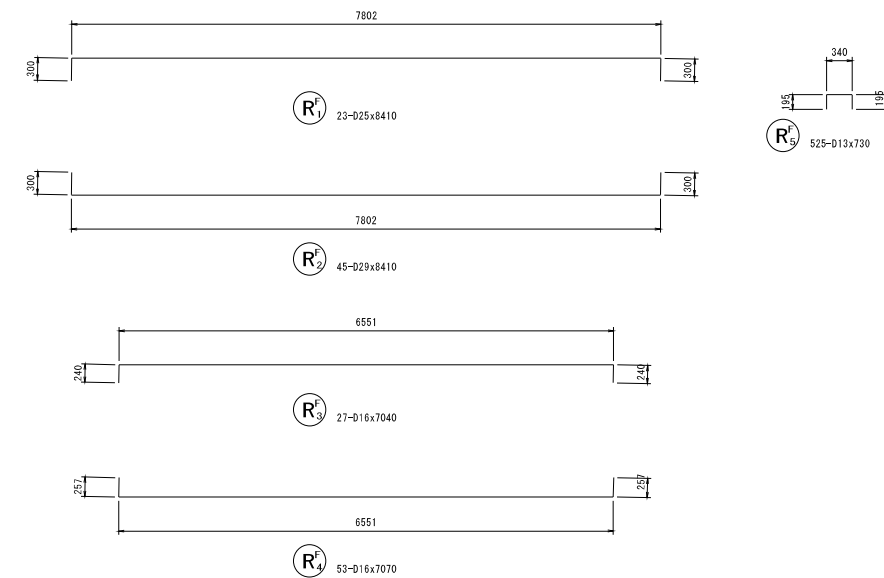
(一基当たり)

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	備考
RF-1	D25	8410	23	3.98	33.47	770	
RF-2	D29	8410	45	5.04	42.39	1908	
RF-3	D16	7040	27	1.56	10.98	296	
RF-4	D16	7070	53	1.56	11.03	585	
RF-5	D13	730	525	0.995	0.73	383	
						D29	1908 kg
						D25	770 kg
						D16	881 kg
						D13	383 kg
						合計	3942 kg

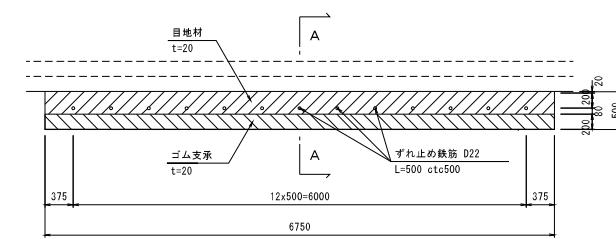
踏掛版断面図
3-3



加工図



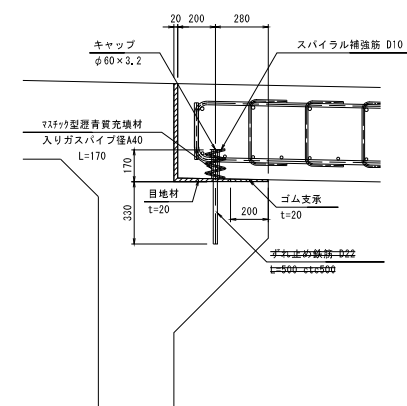
踏掛版受台平面図



踏掛版受台断面詳細図

S=1:20

(A-A)



【1工区】

工事番号	-		
路線名	A-1ランプ		
施工地名	白石市大平中目字南田 地内		
工事名	令和8年度 市道(仮称)白石中央スマートインター線 ほか1路線道路整備工事		
図面名	踏掛版配筋図(その2)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	令和 年度
白石市	図番	30/30	

実施